

The Tokushima Modern Art Museum

徳島県立近代美術館

年報

令和5年度

目次

1	沿革	1
2	基本理念と事業方針	2
3	展覧会事業	
3-1	常設展	4
3-2	特別展	27
3-3	フリースペース チャレンジとくしま芸術祭 2024	50
4	普及事業	
4-1	美術館教育	55
4-2	学校教育との連携	62
4-3	美術館ボランティア、地域との協働	73
4-4	社会教育、生涯教育への講師派遣	74
4-5	ユニバーサルミュージアム	75
5	資料収集保存事業	
5-1	新収蔵作品・資料	77
5-2	所蔵作品・資料の現状	80
5-3	寄託作品・資料	83
5-4	資料収集委員会・価格評価	83
5-5	作品修復	84
5-6	デジタルアーカイブ	84
6	広報活動	
6-1	広報用印刷物	86
6-2	ホームページ	87
6-3	サテライト・ギャラリー	87
6-4	ニュース会員	87
7	調査研究事業	
7-1	研究報告会	88
7-2	研究実績	89
7-3	文献資料の整理	99
8	管理運営	
8-1	組織及び職員一覧	100
8-2	美術館協議会	101
8-3	人権啓発展	101
8-4	入館者数	102
8-5	レファレンス業務	108
8-6	作品の貸出	108
8-7	ギャラリー、講座室の利用状況	108
8-8	運営計画	109
9	関係法規	112
10	建設概要	118
11	利用案内	120

1

沿革

昭和55年 1 月

文化の森構想発表

昭和56年 2 月

文化の森懇話会報告書提出

昭和57年 3 月

建設地を徳島市八万町向寺山及び寺山に決定

12月

美術館基本構想報告書提出

昭和59年 5 月

美術館資料収集委員会発足

昭和60年 8 月

施行式挙行

昭和61年 4 月

県企画調整部に文化の森建設事務局設置

昭和62年 7 月

建設工事着工

平成元年12月

建設工事竣工

平成 2 年 4 月

徳島県文化の森総合公園文化施設条例施行

県教育委員会に徳島県立近代美術館を設置

徳島県立近代美術館資料収集委員会発足

徳島県立近代美術館協議会発足

11月 3 日開館

平成 7 年 6 月

日本ブラジル修好100周年記念 開館 5 周年記念展

「サンパウロ美術館名品展」を開催

10月

開館 5 周年記念作品 パウル・クレー〈子供と伯母〉
(1937年)、フェルナン・レジェ〈美しい自転車乗り〉(1944
年)の 2 点を購入

平成12年11月

開館10周年記念展「近代徳島の美術家列伝 明治から
第二次世界大戦まで」を開催

平成22年10月

開館20周年記念展「徳島県立近代美術館名品ベスト
100」を開催

平成27年 4 月

この年度は、開館25周年記念展として、特別展では「美
の饗宴 西洋絵画の300年」、「フィギュア展 - ヒトガタ、
人形、海洋堂」を開催。所蔵作品展では「所蔵作品展
2015」、「人間表現を楽しむ25のとびら」、「同時代のアー
ティストたちの表現」を開催

令和 2 年 4 月

県教育委員会から知事部局(未来創生文化部)に移管

10月

特別展として、文化の森総合公園 開園30周年記念「ド
イツ 20世紀 アート」と「野外彫刻展」を開催。また、所蔵
作品では「開館30周年記念 未来に向けて」を開催

徳島県立近代美術館 基本理念

徳島県立近代美術館は、地域の文化活動の拠点である文化の森(※)の一員として、特に美術を中心とした県民文化の振興を図ります。

「先導し、発信する」

未来と世界に目を向け、豊かな人間性を育む場として、展示や教育普及事業などを通して、近代・現代美術を中心とした文化活動を先導し、芸術文化情報を発信します。

「研究し、還元する」

近代・現代美術、あるいは徳島にゆかりのある作品や関連資料を調査、研究し、あらゆる美術館活動に活かします。

「保存し、伝える」

資料収集方針に基づいて収集した貴重な作品や資料を良好な状態で保存し、後世に伝えます。

「地域に根ざし、連携する」

親しまれる美術館として、ボランティアをはじめとする県民との協働や県民の参加を進めます。

他の文化施設や大学・学校などの教育機関との連携を深め、相乗効果を図り、地域文化の創造性を高めます。

「安らぎ、体験する」

自然豊かな文化の森で、安らぎとゆとりを満喫し、実物の美術作品にふれる感動や体験のできる場を提供します。

※(注)文化の森総合公園

六つの文化施設(図書館、博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館)が一堂に会した総合公園

事業方針

1. 資料収集保存事業

資料収集方針

(1) 基本方針

- ① 現代美術の動向を国際的視野に立って把握し、二十一世紀への展望が開けることを課題に国内外の優れた現代絵画・彫刻を中心に収集する。
- ② 現代美術の背景を理解するために近代美術も併せて収集する。
- ③ 近代以降活躍した徳島ゆかりの作家の作品を収集する。
- ④ 一次資料を理解するために二次資料も併せて収集する。

(2) 具体的方針

- ① [人間]を主題とする作品を中心に収集する。
- ② 広い視野に立ち、現代版画を総合的に収集する。

2. 調査研究事業

調査研究事業は、全ての美術館活動の基盤であり、日常的、継続的に進めていくものである。なかでも、所蔵作品・作家についての調査研究や徳島ゆかりの作家・作品の基礎調査は、とりわけ重要であり、また、教育的な視点からのアプローチも欠かせない。

その成果は、論文や学会発表にとどまらず、収集、展示、教育普及のそれぞれの美術館事業に活かされていかなければならない。

3. 展示事業

- (1) 所蔵作品展では、定期的な展示替えを行いながら所蔵作品を公開する。できる限り多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供し、展示の新鮮さを維持すると同時に、作品の保護を図るためである。

また、収集方針への理解を容易にするため、原則として収集方針に即した展示とする。

- (2) 特別展では、原則として近代、現代美術を対象とし、所蔵作品展では紹介しきれない分野や作家、作品を紹介する。様々な美術愛好家の期待に応えるとともに、常に新しい美術館利用者を開拓し続けるため、近代・現代の美術展、日本・海外の美術展、徳島ゆかりの美術展、啓

蒙的な内容の美術展など多彩な内容の展覧会を時期にも配慮しながらバランスよく開催する。

4. 教育普及事業

- (1) 美術館での作品鑑賞をより豊かにすることを目的として、館事業への理解が深まり、幅広い角度で美術館に親しんでもらえるような催しを開催する。

一般向けの展示解説や講座、制作を体験するワークショップや作家によるトーク、子供向けの鑑賞教室などを行い、多様な学習機会を提供する。また、県内各地で移動展を行い、鑑賞の場を提供する。

- (2) 県内全ての児童生徒に鑑賞の楽しさを届けることを目的として、学校教育との連携を進める。

授業や遠足による美術館利用の促進、学芸員による解説や授業の実施、教員や大学との連携による鑑賞教材の開発と実践などを通じて、美術館と学校を結ぶ鑑賞教育の裾野を広げていく。

- (3) 子供から大人まで、より多くの人々が美術館で楽しく過ごすことのできる、親しめる美術館となることを目的として、美術館ボランティアによる県民との協働を推進する。

ボランティアが、独立した自主的な組織運営が可能になるようにサポートし、所蔵作品展に関連した独自のイベントの企画・実施をはじめとして、美術館を取り巻く多様化するニーズや課題に幅広く対応していく協働体制づくりを行う。

展 覧 会 事 業

3

3-1 常設展 令和5年度

「所蔵作品展2023年度」として、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3期に分けて開催した。展示室1、2、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径を会場に「20世紀の人間像(Ⅲから「人間像」に変更)」、「現代版画」、「徳島ゆかりの美術」のコーナーを設け、所蔵作品を紹介した。本年度は、企画内容のテーマを強く押し出すためそれぞれに「人のよそおい」「祈りと幻想」「物語をさがしに」という展覧会名をつけた。

また、近年開催ができていなかった常設展関連の作品制作ワークショップを企画し、新規顧客の開拓を試みた。

(出品リストの凡例)

国内作家は五十音順、国外作家はアルファベット順。作品データは、作家名、作品名、制作年、技法・材質、寸法(cm)。平面作品の寸法は縦×横。立体作品の寸法は高さ×幅×奥行きを原則とし、一部h.(高さ)で表したものがある。版画の寸法は原則としてイメージ・サイズだが、〒が付されたものはシート・サイズとした。

● 会期

令和5年4月15日[土]-7月17日[月・祝](81日間)

● 休館日

月曜日(7月17日を除く)

● 概要

(1) 「20世紀の人間像」

「よそおい(装い、粧い)」をテーマに、「見ること／見られること」「時代を映すよそおい」「不思議なよそおい」「華やかなよそおい」の4つの視点から作品を紹介した。「よそおい」は自分らしさを表現する重要な要素の一つである。しかし、外に出かけ、人に会うとなると、純粋に自分が好きだと思ふものを身に着けられないことがある。本展では、「見るもの」であるのと同時に「見られるもの」でもある私たちの身体を見つめなおすことを試みた。

出品作品は、ブランド品の子供用ワンピースが自立した太田千恵蔵の〈プリンセス・パーティー I〉や、和装と洋装が混在する昭和初期の都市の様子が描かれた山下菊二の〈高松所見〉、人民服を着た親子が不安げな表情を浮かべるジャン・シャオガンの〈ファミリー・ポートレート《全家福》〉などである。

(2) 「現代版画」

『ヴォーグ』などファッション雑誌のイラストレーターとしても活躍したりチャード・リンドナー、時計やトランプなどが擬人化されたユーモラスな作品を発表した泉茂、帽子やネックレスなどを身に着けたミステリアスな女性像で知られる斎藤カオルの作品を個展型式で紹介した。「人のよそおい」という全体テーマにも関連した内容になっている。

(3) 「徳島ゆかりの美術」

徳島ゆかり作家による風景画を紹介した。国内はもとより海外へたびたび出かけて風景を描いた三宅克己や、フランスに留学し西洋絵画を学んだ伊原宇三郎、女性洋画家の草分けとして活躍した島あふひらの作品を展示した。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 観覧料

一般	200円(160円)
高校・大学生	100円(80円)
小学・中学生	50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー 簡易印刷

出品リスト:A4判4ページ(A3判2つ折り1枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-9「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

3,301人

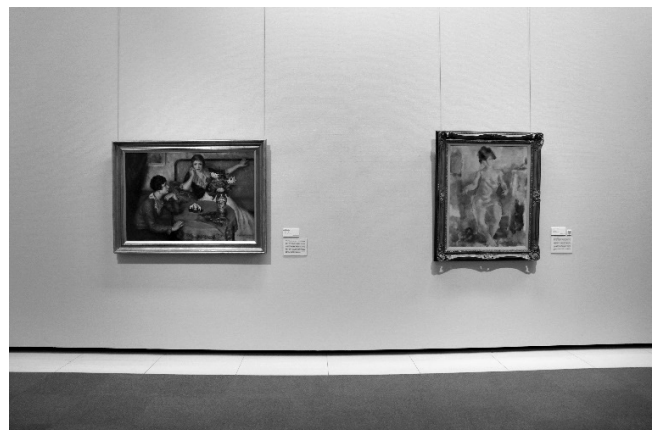
*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

- ・「“あい”ランドARTギャラリー 〈キキ・ド・モンパルナスのマスク〉パブロ・ガルガーリョ」『いのち輝く』103号 令和5年5月
- ・「美術館からのエッセイ 徳島県立近代美術館 所蔵作品展 2023年度 I「人のよそおい」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年4月
- ・「ステップ」テレビトクシマ、テレビ鳴門 令和5年5月17日
- ・「トレンドカフェ」ケーブルテレビあなん 令和5年6月28日

● 担当学芸員

久米千裕、三宅翔士



「20世紀の人間像」

●出品リスト 所蔵作品展 2023年度I「人のよそおい」

展示室1

■20世紀の人間像

おすすめの1枚

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
フェルナン・レジェ	美しい自転車乗り	1944年	油彩 キャンバス	112.0×127.0

「見ること／見られること」

澤田知子	TIARA	2008年	カラープリント	54.0×104.0* ^b
設楽知昭	目の服5	1995年	テンペラ 綿布	161.5×143.0
太郎千恵藏	プリンセス・パーティー I	1993年	衣服、金網、モーター付き台車	50.5×48.0×33.5 他9体組
パブロ・ガルガーリョ	キキ・ド・モンバルナスのマスク	1928年	ブロンズ	20.5×18.0×15.7
ロバート・ロンゴ	無題	1988年	木炭、黒鉛 紙	243.8×152.4* ^a
	無題	1988年	木炭、黒鉛 紙	243.8×152.4* ^b
シンディ・シャーマン	無題 #123	1983年	カラープリント	89.3×61.2* ^a
アンディ・ウォーホル	多色による4つのマリリン	1979-86年	アクリル絵具、シルクスクリーン キャンバス	92.0×70.8

「時代を映すよそおい」

山下菊二	高松所見	1936年	油彩 キャンバス	65.0×80.5
ユン・ソクナム(尹錫男)	ベンチ	1992年	ミクストメディア	116.0×151.0×45.0
ジャン・シャオガン(張曉剛)	ファミリー・ポートレート 《全家福》	1993年	油彩 キャンバス	99.7×129.3

「不思議なよそおい」

泉茂	逃げたスベード	1955年	油彩 キャンバス	100.1×80.4
大島哲以	さうびの宴	1968年	紙本着色	135.0×180.0* ^a
絹谷幸二	蒼空のある自画像	1977年	顔彩 キャンバス	194.3×259.5
谷川晃一	犀鳥	1965年	水彩 紙	129.3×161.0* ^b
山下菊二	襖を抜く	1972年	油彩 キャンバス	104.0×73.3
	わたしと鳥と音楽と (1) 木偶人形芝居	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2[山下昌子氏寄贈]
	わたしと鳥と音楽と (2) 恵比寿まわし	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2[山下昌子氏寄贈]
サルバドール・ダリ	女の胸像(回顧された)	1977年	ブロンズ、その他	74.0×67.0×27.0
ジョルジオ・デ・キリコ	孤独な詩人	1970年	ブロンズ	52.0×30.0×21.0

「華やかなよそおい」

舘嘔	Rainbow Venus	1966年	石膏に着色	h.215.0
----	---------------	-------	-------	---------

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
伊原宇三郎	婦人二人像	1920年	油彩 キャンバス	79.8×116.3
岡本神草	洗い髪	1925年	絹本着色	43.2×51.2*a
菊池契月	虫撰	1930年頃	絹本着色	93.5×89.0*a
津田亜紀子	繰り返される模様	1999年	樹脂、布	160.0×40.0×21.0
平賀敬	小磯夜桜	1986年	アクリル絵具 キャンバス	130.3×161.8
堀井香坡	童女	1925年	絹本着色	116.0×118.0*b
村上華岳	踊り之図	1917年	絹本着色	118.7×41.8*b
ジム・ダイン	版画集 〈11人のポップ・アーティストII〉 1. のど	1965年	シルクスクリーン 紙	76.1×61.0 † *b
	版画集 〈11人のポップ・アーティスト〉 5. 突き錐	1965年	シルクスクリーン 紙	60.7×50.1 † *a
	版画集 〈ドリアン・グレイの肖像〉 1. 虹色のスカーフをつけた ドリアン・グレイ	1968年	リトグラフ、コラージュ 紙	45.0×32.0 † *a
	版画集 〈ドリアン・グレイの肖像〉 3. 劇場のバジル	1968年	リトグラフ 紙	45.0×32.0 † *a
	版画集 〈ドリアン・グレイの肖像〉 4. 多色の細長いビニール・ ケープを着たドリアン・グレイ	1968年	リトグラフ 紙、ビニール・シート	45.0×32.0 † *b
	版画集 〈ドリアン・グレイの肖像〉 5. 楽屋のシビル・ヴェイン	1968年	リトグラフ 紙	45.0×32.0 † *b
ジュール・パスキン	下着の裸婦	1926年	油彩 キャンバス	92.0×73.0

■現代版画

リチャード・リンドナー 4月15日〔土〕- 5月14日〔日〕

リチャード・リンドナー	版画集 〈マリリンはここにいた〉1	1970年	リトグラフ 紙	23.8×17.6
	版画集 〈マリリンはここにいた〉2	1970年	リトグラフ 紙	18.0×14.7
	版画集 〈マリリンはここにいた〉3	1970年	リトグラフ 紙	18.5×16.0
	版画集 〈マリリンはここにいた〉4	1970年	リトグラフ 紙	18.0×15.3
	版画集 〈マリリンはここにいた〉5	1970年	リトグラフ 紙	18.2×16.7
	版画集 〈マリリンはここにいた〉6	1970年	リトグラフ 紙	18.3×15.5
	版画集 〈マリリンはここにいた〉7	1970年	リトグラフ 紙	18.6×15.5
	版画集 〈マリリンはここにいた〉8	1970年	リトグラフ 紙	20.9×12.9
	版画集 〈マリリンはここにいた〉9	1970年	リトグラフ 紙	18.3×15.2
	版画集 〈マリリンはここにいた〉10	1970年	リトグラフ 紙	18.5×15.4

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
リチャード・リンドナー	版画集 〈マリリンはここにいた〉11	1970年	リトグラフ 紙	18.5×15.7
	版画集 〈マリリンはここにいた〉12	1970年	リトグラフ 紙	18.3×15.5
	版画集 〈マリリンはここにいた〉13	1970年	リトグラフ 紙	18.3×15.8
	版画集 〈マリリンはここにいた〉14	1970年	リトグラフ 紙	18.5×15.7
	版画集 〈マリリンはここにいた〉15	1970年	リトグラフ 紙	18.0×15.5
	版画集 〈マリリンはここにいた〉16	1970年	リトグラフ 紙	17.9×15.6
	版画集 〈マリリンはここにいた〉17	1970年	リトグラフ 紙	18.2×15.5
	版画集〈無題1975〉 1. ニューヨークからの手紙	1975年	リトグラフ 紙	53.2×38.5
	版画集〈無題1975〉 2. 黄色い背景の女	1975年	リトグラフ 紙	53.6×39.2
	版画集〈無題1975〉3. 無題	1975年	リトグラフ 紙	56.0×42.2
	版画集〈無題1975〉 4. エース	1975年	リトグラフ 紙	47.2×50.2
	版画集〈無題1975〉 5. 黄色いハンドバックを持つ女	1975年	リトグラフ 紙	47.8×41.0
	版画集〈無題1975〉6. 雲	1975年	リトグラフ 紙	51.4×38.5
	版画集〈無題1975〉 7. 前からの顔と横からの顔	1975年	リトグラフ 紙	58.4×40.7
	版画集〈無題1975〉 8. アマゾン	1975年	リトグラフ 紙	52.7×39.4
	版画集〈無題1975〉9. 金髪	1975年	リトグラフ 紙	51.2×41.6
	版画集〈無題1975〉 10. アリゾナ	1975年	リトグラフ 紙	52.1×43.7

■現代版画

泉茂 5月16日[火]-6月18日[日]

泉茂	男と女	1953年	エッチング 紙	17.5×10.5
	嘆き	1953年	エッチング 紙	17.2×9.8
	コンパス	1954年	エッチング アクアチント 紙	18.0×12.1
	コンパス仲間	1954年	エッチング、アクアチント 紙	19.0×11.0
	深夜のセロ弾き	1954年	エッチング、アクアチント 紙	18.0×10.8
	ためいき	1954年	エッチング、アクアチント 紙	17.2×11.5
	ダンス	1954年	エッチング 紙	20.0×12.0
	逃げたスベード	1954年	エッチング、アンアチント 紙	18.0×13.5
	ほら吹き	1954年	エッチング 紙	17.7×10.7
	トラムベツト	1955年	エッチング、アクアチント 紙	35.7×27.0
	追われる人	1956年	リトグラフ 紙	35.0×25.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
泉 茂	黒いなげき	1956年	リトグラフ 紙	55.9×37.2 寸
	辻音楽師	1956年	リトグラフ 紙	63.6×48.6 寸
	テレホンマン	1956年	リトグラフ 紙	56.0×37.5 寸
	ポートレイト	1956年	リトグラフ 紙	63.6×45.9 寸
	若人	1956年	リトグラフ 紙	37.0×56.0 寸
	月光の曲 I	1957年	リトグラフ 紙	45.5×32.0 寸
	ひるね	1957年	リトグラフ 紙	48.0×39.0
	ベーシスト	1957年	リトグラフ 紙	46.0×32.5 寸
	炎の歌	1957年	リトグラフ 紙	45.8×32.1 寸
	夢路	1957年	リトグラフ 紙	51.5×41.5
	乱の曲	1957年	リトグラフ 紙	34.0×26.0
	ロックンロール	1957年	リトグラフ 紙	34.5×26.0
	ロマンス	1957年	リトグラフ 紙	38.0×23.5

■現代版画

斎藤カオル 6月20日[火]-7月17日[月・祝]

斎藤カオル	party is over(何処へ)	1971年	メゾチント 紙	20.6×27.8
	白い日に	1972年	メゾチント 紙	26.4×17.8
	置かれる手	1973年	メゾチント 紙	26.6×22.2
	風 I	1973年	メゾチント 紙	30.0×22.2
	風 II	1973年	メゾチント 紙	30.0×22.3
	白い日に V	1973年	メゾチント 紙	26.6×22.3
	それから	1973年	メゾチント 紙	26.7×22.2
	どうかしら	1973年	メゾチント 紙	26.5×22.1
	影のとなり	1974年	メゾチント 紙	31.7×17.6
	風(その優しいとき)	1974年	メゾチント 紙	26.6×21.5
	風(その装うもの)	1974年	メゾチント 紙	26.6×21.6
	黙って	1974年	メゾチント 紙	31.8×17.6
	細い飾り	1974年	メゾチント 紙	26.3×21.5
	目をつむって	1974年	メゾチント 紙	26.5×21.3
	かくれたプロウチ	1975年	メゾチント 紙	26.3×21.5
	ほうし I	1975年	メゾチント 紙	26.5×21.5
	白い襟	1976年	メゾチント 紙	29.4×24.2
	夕映え	1980年	メゾチント 紙	35.8×29.2[作家寄贈]
	紅幻想(落椿)	1984年	カラーメゾチント 紙	29.4×35.7[作家寄贈]
	紅幻想(花炎)	1984年	カラーメゾチント 紙	35.8×29.3[作家寄贈]
	紅幻想(鳴潮)	1985年	カラーメゾチント 紙	35.4×29.4[作家寄贈]
	紅幻想(爛舞)	1986年	カラーメゾチント 紙	35.5×29.3[作家寄贈]

■徳島ゆかりの美術

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
石丸一	山郷	1943年	油彩 キャンバス	72.0×90.0[浦上麗氏寄贈]
	街なみ(仮称)	1957年	油彩 キャンバス	51.0×43.0[浦上麗氏寄贈]
伊原宇三郎	バリ風景	1926年頃	油彩 キャンバス	46.0×54.3
	南仏 ヴァンスにて	1956-58年	油彩 キャンバス	45.6×55.6[嶋村富士美氏寄贈]
清原重以知	緑風	1969年	油彩 キャンバス	60.5×72.5[清原淳二氏寄贈]
日下八光	高原の春	1946年 (昭和21年)	紙本着色 額装	249.9×172.4
島あふひ	金子町二月	1960年	油彩 キャンバス	91.0×72.5[内藤弓弦氏寄贈]
	岡の上の教会堂	1970年	油彩 キャンバス	65.2×80.3[内藤弓弦氏寄贈]
	朝もやの瀬戸内	1971年	油彩 キャンバス	99.0×80.0[内藤弓弦氏寄贈]
林雲谿	剣山	1971年	紙本墨画着色	153.5×185.2
三宅克己	名張川の倒影	不詳	水彩 紙	34.4×50.7*a
	支那蘇州楓橋	1919年頃	水彩 紙	53.0×74.0*a
	箱根湯本附近の桜	昭和初期	水彩 紙	24.0×35.0*a
	伊太利ヴェロナの古橋	1920年頃	水彩 紙	49.7×66.5*b
	樹陰	1938年	水彩 紙	41.0×53.2* ^b [木下登与子氏寄贈]
	箱根	1940-50年代	水彩 紙	31.5×40.9* ^b [江川淑夫氏寄贈]
森堯之	ハルビン風景	1941年	油彩 板	21.1×27.1[寄贈作品]
	ハルビンの酒家	1941年	油彩 キャンバス	31.9×41.0[寄贈作品]
	ハルビンの洋品店	1941年	鉛筆、油彩 板(合板)	23.8×32.9[寄贈作品]

■美術館ロビー

ジョナサン・ポロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
アリストイード・マイヨール	着衣のボモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場

淀井敏夫	渚	1978年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	左(イヴ):217.0×92.0×79.0 右(アダム):219.0×108.0×65.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	左(女):193.0×94.0×142.0 右(男):180.0×84.0×122.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ペンガラ	45.0×115.0×70.0

※会期中展示替えを行った。*aを付したものは4月15日[土]から5月28日[日]まで、*bを付したものは5月30日[火]から7月17日[月・祝]まで展示した。

● 会期

令和5年7月22日[土]-11月26日[日](110日間)

● 休館日

月曜日(8月14日、9月18日、10月9日を除く)、8月15日[火]、9月19日[火]、10月10日[火]

● 概要

(1) 「20世紀の人間像」

「祈りと幻想」をテーマに仏教やキリスト教、あるいは特定の宗旨を持たず、その地域において独自に展開した土着の信仰にまつわる作品のほか、シュルレアリスムやアール・ブリュットに関連する作品を展示した。

明治から大正期にかけて、キリスト教の掲げる人道主義を背景に、美術や文学の方面で個性の尊重や生命の尊厳を謳う潮流が生まれた。そうした一派を代表する白樺派の画家、岸田劉生が同人の文学作品に寄せた表紙、見返し絵の刷りを担当した伊上凡骨や、劉生に師事した椿貞雄の作品を紹介した。

また、主にメキシコを拠点に活動した利根山光人や1960年代、生まれ故郷である徳島の風土に取材した作品を多く手がけた山下菊二といった日本の作家のみならず、ウィフレド・ラムやマッタなど南米にルーツを有する作家たちにも着目し、宗教や民俗を切り口に作品を鑑賞する視点を提示した。

(2) 「現代版画」

デザインや映像など多彩な創作活動を展開した田名網敬一、過酷な戦争体験を静謐な画面に昇華させた浜田知明、機械文明への関心から幾何学的なフォルムの構築へと向かった菅井汲の作品を、個展形式で紹介した。今展の総合テーマ「祈りと幻想」と連動した内容である。

(3) 「徳島ゆかりの美術」

明治維新前後に西洋美術に出会い、洋画を描いた原鵬雲や守住勇魚、大正から昭和期の美術教育史に足跡を残した富永勝重や久米福衛のほか、水墨画に彩色を取り入れた“墨彩画”を追求した河口楽土の作品などを展示した。

● 観覧料

一般	200円(160円)
高校・大学生	100円(80円)
小学・中学生	50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー 簡易印刷

出品リスト:A4判8ページ(A3判2つ折り2枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-9「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

8,108人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「美術館からのエッセイ」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年8月

・「“あい”ランドARTギャラリー 失題 利根山光人」『いのち輝く』第104号 令和5年9月

・「作家の宗教観に注目 徳島県立近代美術館『祈りと幻想』展」『中外日報』 令和5年9月27日

● 担当学芸員

三宅翔士、宮崎晴子



「20世紀の人間像」

展示室1

■20世紀の人間像

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
上野泰郎	地のむれ	1981年	紙本着色	144.0×188.6[上野淑子氏寄贈]
上村淳之	姉妹	1987年	紙本着色	236.0×152.0
小山田二郎	夜	1961年	油彩 キャンバス	116.6×91.1
鎗木昌弥	兄弟の父アダム	2012年	ガッシュ 紙	84.0×59.3[川妻さち子氏寄贈]
川島猛	Apollo	1972年	シルクスクリーン 紙	105.6×75.6* ^a
	Zeus	1972年	シルクスクリーン 紙	104.6×75.4* ^b
川端健生	この子らが	1969年	紙本着色	134.0×190.0[川端史子氏寄贈]
	稲荷	1987年	紙本着色	170.0×123.5[川端史子氏寄贈]
伊上凡骨	武者小路実篤(著) 『人間の生活』叢文閣 1920年 表紙絵	1921年刊	多色木版	19.2×28.0* ^a
	長與善郎(著)『或る人人』 春陽堂 1920年9月 表紙絵	1921年刊	多色木版	19.6×28.4* ^a
	白樺同人(著) 『白樺十周年記念集』白樺社 1920年6月 表紙絵	1921年刊	多色木版	24.2×34.0* ^b
	『白樺』第十周年記念号 (1919年4月号) 表紙絵	1921年刊	多色木版	21.0×29.8* ^b
北川民次	少女とキリギリス	1952年	油彩 キャンバス	130.0×162.2
幸田暁治	クロス	1975年	紙本着色	159.3×127.5[幸田隆子氏寄贈]
島あふひ	月光聖母子	1967年	油彩 キャンバス	100.0×72.7[内藤弓弦氏寄贈]
高橋秀	版画集〈日本神話〉 1. はぐくむ	1987年	アクアチント 紙	59.8×89.0
	版画集〈日本神話〉 2. うずまき起源	1987年	アクアチント 紙	59.8×88.8
	版画集〈日本神話〉 3. くにつくり	1987年	アクアチント 紙	59.0×88.5
	版画集〈日本神話〉 4. いわと	1987年	アクアチント 紙	59.8×89.0
高山辰雄	野辺	1982年	紙本着色	130.0×212.0
田中忠雄	ガリラヤ湖	1963年	油彩 キャンバス	72.0×53.3[佐野比呂志氏寄贈]
椿貞雄	弟茂雄像	1915年	油彩 板	45.5×33.4
利根山光人	失題	1991年	油彩 板	182.9×274.3
中西勝	盲の聖者たち	1974年	油彩 キャンバス	112.5×162.0[後藤勝美氏寄贈]
難波田龍起	不思議な国A	1984年	油彩 キャンバス	94.3×163.8
難波田史男	劇場	1963年	インク、水彩、コンテ 紙	54.8×76.7
秦テルヲ	自叙画譜	1937年	紙本着色 画帖装	各23.7×35.5* ^c [岩佐哲氏寄贈]
吹田文明	矢羽根飛ぶ	2003年	木版、紙版、金箔 紙	60.0×89.8* ^a
	悲しみのニケ	2003年	木版、紙版 紙	60.0×90.0* ^b
山下菊二	山犬さんのお獅子狩〔A〕	1961年	リトグラフ 紙	54.3×39.9* ^a [山下昌子氏寄贈]
	詩画集『沼の妖鳥たち』	1963年	リトグラフ 紙	各紙:32.0×24.2* ^a [山下昌子氏寄贈]
	氏神様のある風景	1965年	コラージュ 紙	48.6×40.5* ^b [山下昌子氏寄贈]

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
山下菊二	絵馬 白い顔たち	1981年頃	油彩 コラージュ 板	27.2×40.1* ^b [山下昌子氏寄贈]
	億那	1962年	リトグラフ 水彩 鉛筆 コラージュ 紙	14.5×22.9* ^b [山下昌子氏寄贈]
	黄泉を識る梟	1981年	リトグラフ 紙	35.4×49.8* ^b [山下昌子氏寄贈]
	死んだ人がわたしを産んでくれた(昭和40年7月27日母死す)	1966年	油彩 合板	88.2×173.5
ジャン・デュビュッフェ	版画集〈壁〉1. 絵解きの壁	1945年	リトグラフ 紙	38.0×28.5* ^a
	版画集〈壁〉2. 鳥のいる壁	1945年	リトグラフ 紙	36.0×28.5* ^a
	版画集〈壁〉3. 壁のなかで動けなくなった人間	1945年	リトグラフ 紙	36.0×28.5* ^a
	版画集〈壁〉5. 壁の前のダンス	1945年	リトグラフ 紙	34.5×28.5* ^a
	版画集〈壁〉7. 人間と壁	1945年	リトグラフ 紙	38.0×28.5* ^b
	版画集〈壁〉8. 壁の前で用を足す人たち	1945年	リトグラフ 紙	34.5×28.5* ^b
	版画集〈壁〉10. 壁の前で用を足す犬	1945年	リトグラフ 紙	38.0×27.5* ^b
	版画集〈壁〉11. 壁と横たわる人	1945年	リトグラフ 紙	37.0×27.0* ^b
	熱血漢	1955年	油彩 キャンバス	65.0×50.5
	8人の人物のいる風景	1981年	墨 紙	43.0×35.0
ウィフレド・ラム	我々はここにいる	1974年	油彩 キャンバス	130.2×97.6
マッタ	版画集〈ホメロス V〉1	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.6×37.6
	版画集〈ホメロス V〉2	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.1×37.3
	版画集〈ホメロス V〉3	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.7×37.7
	版画集〈ホメロス V〉4	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.8×38.0
	版画集〈ホメロス V〉5	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.6×37.9
	版画集〈ホメロス V〉6	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.3×37.4
	版画集〈ホメロス V〉7	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.3×37.4
	版画集〈ホメロス V〉8	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.7×37.7
	版画集〈ホメロス V〉9	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.7×38.0
	版画集〈ホメロス V〉10	1985年	エッチング、アクアチント 紙	49.7×38.0

■現代版画

田名網敬一 7月22日[土]-8月20日[日]

田名網敬一	版画集 〈版画集 森の祝福〉1-15	1991年	オフセット 紙	61.8×86.5 寸
-------	-----------------------	-------	---------	-------------

■現代版画

田名網敬一 8月22日[火]-9月18日[月・祝]

田名網敬一	版画集 〈版画集 森の祝福〉16-30	1991年	オフセット 紙	61.8×86.5 寸
-------	------------------------	-------	---------	-------------

■現代版画

浜田知明 9月20日[水]-10月22日[日]

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
浜田知明	風景	1953年	エッチング 紙	36.2×29.8
	初年兵哀歌(歩哨)	1954年	エッチング、アクアチント 紙	23.8×16.3
	愛の歌	1957年	エッチング 紙	20.0×19.5
	狂った男	1957年	エッチング 紙	28.8×19.7
	飛翔	1958年	エッチング、アクアチント 紙	35.8×44.6
	噂	1961年	エッチング、アクアチント 紙	36.2×23.6
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉 1. ややノイローゼ気味	1975年	エッチング、アクアチント 紙	22.4×14.5
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉2. 顔	1976年	エッチング、アクアチント 紙	22.0×15.2
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉3. お先真っ暗	1976年	エッチング、アクアチント 紙	23.4×12.1
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉4. かげ	1977年	エッチング、アクアチント 紙	21.7×15.3
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉5. 叫び	1975年	エッチング、アクアチント 紙	21.5×21.6
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉6. 心情不安定	1976年	エッチング、アクアチント 紙	21.8×16.1
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉 7. 気にしない気にしない	1976年	エッチング、アクアチント 紙	23.6×14.6
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉8. 何とかなるさ	1976年	エッチング、アクアチント 紙	21.6×16.5
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉9. 浮上	1977年	エッチング、アクアチント 紙	22.2×18.1
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉10. 家族	1977年	エッチング、アクアチント 紙	19.4×16.0
	教授達	1981年	エッチング、アクアチント 紙	18.3×25.6
	ある日…	1982年	エッチング、アクアチント 紙	21.9×16.0
	見られている…	1982年	エッチング、アクアチント 紙	20.5×23.5
	怯える人々…	1985年	エッチング、アクアチント 紙	24.8×21.2
	檻	1983年	ブロンズ	22.0×16.0×18.5
	情報過多の人間	1984年	ブロンズ	33.0×13.0×11.0

■現代版画

菅井汲 10月24日[火]-11月26日[日]

菅井汲	悪魔	1955年	リトグラフ 紙	53.3×38.7
	オトコ	1957年	リトグラフ 紙	47.8×41.6
	NAGASAKI	1957年	リトグラフ 紙	52.0×40.0
	雲	1961年	リトグラフ 紙	64.2×51.0
	紫	1962年	リトグラフ 紙	63.0×43.1
	作品	1971年	リトグラフ 紙	65.0×50.0†

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
菅井汲	版画集〈星座〉 1. BELIER(牡羊座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 2. TAUREAU(牡牛座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 3. GEMEAUX(双子座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 4. CANCER(蟹座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 5. LION(獅子座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 6. VIERGE(乙女座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 7. BALANCE(天秤座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 8. SCORPION(蠍座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 9. SAGITTAIRE(射手座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 10. CAPRICORNE(山羊座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 11. VERSEAU(水瓶座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 12. POISSONS(魚座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0

■撮影可能エリア

太田天洋	学教ノ始メ	1932年	絹本着色	244.5×169.3*b[株式会社ホテルサンパレー寄贈]
廣島晃甫	蓮	1939年 (昭和14年)	絹本着色 額装	124.1×185.5*a

展示室2

■徳島ゆかりの美術

市尾哲	ボンベイの街角	1970年	油彩 キャンバス	95.0×145.0
一原五常	風景	1930年	油彩 キャンバス	117.0×91.2
市原義之	初夏渡航	1992年	紙本着色	162.1×336.3*a
	温雅秋日	1992年	紙本着色	162.1×336.3*b
河口楽土	涼声	1977年	紙本着色	162.1×112.1*a[河口美智子氏寄贈]
	浄光	1985年	紙本着色	162.1×130.3*b[河口小波氏寄贈]
清原重以知	斜陽のグリヤ	1950年頃	油彩 キャンバス	80.5×100.1
久米福衛	婦人像	1918年	油彩 キャンバス	45.5×33.5[山本壽氏寄贈]
	軍人の肖像	1940年代	アート・クローム	40.5×32.0[山本壽氏寄贈]
富永勝重	水浴図	制作年不詳	油彩 キャンバス	50.1×61.1[富永加代氏寄贈]
	旗のある風景	制作年不詳	油彩 キャンバス	64.0×79.0[富永加代氏寄贈]
原鵬雲	楠公桜井駅図	1877年	油彩 綿布 和紙 板	57.0×77.0[為積隆史氏寄贈]

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
吹田文明	雨のあと	1970年	木版 紙	90.5×60.5
三宅克己	印度人の人足	1898年	水彩、鉛筆 紙	15.8×10.5
	印度洋上デッキパセンジャー (甲板旅客)	1898年	水彩、鉛筆 紙	12.4×18.7
守住勇魚	家のある風景	明治期	油彩 紙	24.3×32.2
	牡丹と木蓮	明治期	油彩 紙	25.1×34.7
山下菊二	ずれ落ちる顔	制作年不詳	コラージュ 紙	36.6×29.2[山下昌子氏寄贈]
	振り子のある目	1964年	油彩 コラージュ キャンバス	105.5×79.3[山下昌子氏寄贈]

■美術館ロビー

ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
アリスティード・マイヨール	着衣のボモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場

淀井敏夫	渚	1978年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	左(イヴ):217.0×92.0×79.0 右(アダム):219.0×108.0×65.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	左(女):193.0×94.0×142.0 右(男):180.0×84.0×122.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

※会期中、展示替えを行った。*aを付したものは7月22日[土]から9月24日[日]まで、*bを付したものは9月26日[火]から11月26日[日]まで展示した。なお、*cを付したものについては場面替えを行った。

● 会期

令和5年12月2日[土]-令和6年4月7日[日](105日間)

● 休館日

月曜日(1月8日、2月12日を除く)、1月9日[火]、2月13日[火]、
年末年始(12月29日[金]-1月4日[木])

● 概要

(1) 「人間像」

古来、西洋や東アジアの美術の歴史においては、神話や宗教そして歴史的事件を主題とした作品が制作され続け、それが美術の発展の中心をなしてきた。今回の所蔵作品展は、「物語をさがしに」と題し、当館のコレクションを注視することで、近代から現代においても「物語」を主題とする作品の系譜が続いていることを明らかにすることを主眼に企画した。

内容は「語り継がれる物語」、「個人的な物語」、「やがて物語になるもの」の3章に分かれる。「語り継がれる物語」では、社会的に広く受け継がれてきた神話や宗教などの物語を下敷きにした作品を、近代から現代までの時代順に展示することで、時代によって美術における「物語」のもつ機能が変化しつつ、それを主題とする作品が現代まで制作し続けられている内容を見つめる内容とした。アントワヌ・ブールデルやジョルジュ・ルオー、棟方志功、桂ゆき、唐仁原希らの作品を展示した。

「個人的な物語」では社会的に共有されてきた物語に対し、作家個人の心にある物語を作品化したと考えられるものを展示した。また、「やがて物語になるもの」では、当時の戦争や社会問題を主題とした作品を紹介し、それらがやがて歴史画となっていくという視点を提示した。

(2) 「現代版画」

全4回の会期で、萩原英雄〈ギリシャ神話〉を2回の会期に分け展示したほか、ベン・シャーン〈リルケ『マルテの手記』より 一行の詩のためには…〉、マツク〈薄暗いアーチのある時間〉を紹介した。

(3) 「徳島ゆかりの美術」

実景を描いた作品をテーマに、伊原宇三郎、三宅克己、石丸一、池田遙邨らの作品を展示した。

● 観覧料

一般	200円(160円)
高校・大学生	100円(80円)
小学・中学生	50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー 簡易印刷

出品リスト:A4判6ページ(A3判2つ折り1枚にA4判1枚挟み込み) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-9「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

3,150人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「美術館からのエッセイ 所蔵作品展 2023年度Ⅲ「物語をさがしに」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年12月

・「民話や史実 思い思い」『読売新聞』(徳島版) 令和5年12月7日

・「アート散策84 二つの視点 渦潮楽しむ」『徳島新聞』令和5年12月14日

・「渦を巻く潮流」『美術の窓』第285号 令和6年2月

・「“あい”ランドARTギャラリー 7点組木版画集「戦争」3. 両親」『いのち輝く』105号 令和6年1月

・「テレビミュージアム 所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」」AIテレビ 令和6年1月30日

● 担当学芸員

宮崎晴子、久米千裕



「人間像」



「徳島ゆかりの美術」

●出品リスト 所蔵作品展 2023年度Ⅲ「物語をさがしに」

展示室1

■人間像

おすすめの一枚

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0

「語り継がれる物語」

岡本信治郎	ミノートルの死	1974年	アクリル絵具 キャンバス	162.1×130.4
桂ゆき	さる・かに合戦	1948年	油彩 キャンバス	90.0×115.0
唐仁原希	a portrait of a boy	2013年	油彩 キャンバス	185.0×145.0
舟越保武	原の城 頭像	1964年	ブロンズ	h.32.0
棟方志功	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 1. アンデレ 案出禮の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 2. ヨハネ 世跳の柵	1953年	木版 紙	87.5×34.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 3. ペテロ 遍天呂の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 4. タダイ 多駄伊の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 5. フィリポ 邊梨保の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 6. バルトロマイ 波流戸呂舞の柵	1953年	木版 紙	88.0×34.0*a

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
棟方志功	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 7. ヤコブ 也胡武の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 8. マタイ 馬鯛の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.0*b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 9. アルバヨの子ヤコブ 或婆夜の子 屋仔舞の柵	1953年	木版 紙	88.0×33.5*b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 10. トマス 登増の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.5*b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 11. シモン 指聞の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.0*b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 12. マフテヤ 摩手也の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*b
エミール＝アントワヌ・ブールデル	アポロンの頭、台座付	1900-09年	ブロンズに鍍金	67.0×25.0×29.5
バリー・フラナガン	ニジンスキーの野兎	1989-90年	ブロンズ	168.9×88.9×58.4
バーバラ・ハップワース	トルソ I（ユリシリーズ）	1958年	ブロンズ	131.0×83.0×51.0
ジョルジュ・ルオー	版画集〈『悪の華』のため に版刻された14図〉 2. 辱しめを受けるキリスト	1926年	粒子エリオグラヴュール、シュガーアク アチント、ドライポイント 紙	35.0×25.0*a
	版画集〈『悪の華』のため に版刻された14図〉 3. キリスト	1927年	粒子エリオグラヴュール、シュガーアク アチント、ドライポイント 紙	35.0×25.4*b
	版画集〈『悪の華』のため に版刻された14図〉9. 骸骨	1926年	粒子エリオグラヴュール、シュガーアク アチント、エッチング 紙	35.0×25.5*a
	版画集〈『悪の華』のため に版刻された14図〉 13. 〈放蕩〉と〈死〉は…	1926年	粒子エリオクラヴュール、エッチング、 ドライポイント 紙	31.0×24.4*b

「個人的な物語」

熊弦一郎	鳥・猫・子供・魚	1954年	油彩 キャンバス	80.3×65.2
下村良之介	よろこび	1951年	顔料 板	120.0×120.0*a
	朝A	1952年	顔料 紙	91.0×91.0*b[下村直美氏寄贈]
福岡道雄	鮎になれるか	1984年	ブロンズ	11.0×24.0×26.0
アンソニー・グリーン	回顧作品その2ーピンボン・ ルーム, 1960ー	1986年	油彩 キャンバス	206.6×234.0
パブロ・ピカソ	ドラ・マールの肖像	1937年	油彩 キャンバス	55.0×38.0

「やがて物語になるもの」

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
宇佐美圭司	メナム河畔に出現する水族館	1967年	油彩 キャンバス	185.4×270.3
中村宏	戦争期	1958年	油彩 板	91.5×182.3
山下菊二	筑豊炭田地帯	1960年	油彩 合板	183.5×173.7
	父はは	1972年	油彩 キャンバス	73.0×91.3
アルフレッド・ジャール	シックス・セカンズ	2000年	ライトボックス(2個)、カラートランスペアレンシー	188.0×127.0×12.7、35.6×50.8×12.7
ケーテ・コルヴィッツ	版画集〈7点組 木版画集 戦争〉2. 志願兵たち	1921-23年	木版 紙	35.0×49.8*a
	版画集〈7点組 木版画集 戦争〉3. 両親	1923年	木版 紙	35.0×43.0*a
	版画集〈7点組 木版画集 戦争〉4. 寡婦I	1922-23年	木版 紙	37.2×23.3*b
	版画集〈7点組 木版画集 戦争〉6. 母親たち	1922-23年	木版 紙	34.2×40.2*b
郭徳俊(クワック・ドゥク=ジュン)	レーガンと郭(A)	1981年	シルクスクリーン 紙	53.5×37.0*a
	クリントンIと郭	1993年 (2003年刷り)	シルクスクリーン 紙	54.8×41.3*a[作家寄贈]
	ブッシュ2001と郭	2001年 (2002年刷り)	シルクスクリーン 紙	54.1×36.3*b[作家寄贈]
	オバマと郭	2009年 (2009年刷り)	シルクスクリーン 紙	51.7×36.7*b[作家寄贈]
ジャン・シャオガン(張暁剛)	ファミリー・ポートレイト《全家福》	1993年	油彩 キャンバス	99.7×129.3

■現代版画

萩原英雄1 2023年12月2日[土]-2024年1月8日[月・祝]

萩原英雄	版画集〈ギリシャ神話〉1. ゼウスの顔	1957-65年	木版 紙	53.5×38.0
	版画集〈ギリシャ神話〉2. 花籠と牧神	1957-65年	木版 紙	52.5×36.0
	版画集〈ギリシャ神話〉3. ミノートル	1957-65年	木版 紙	38.6×54.0
	版画集〈ギリシャ神話〉5. ヴイナス	1957-65年	木版 紙	38.3×54.1
	版画集〈ギリシャ神話〉6. ポセイドン	1957-65年	木版 紙	39.8×54.7
	版画集〈ギリシャ神話〉9. イリス	1957-65年	木版 紙	40.2×54.5
	版画集〈ギリシャ神話〉10. パン	1957-65年	木版 紙	53.5×38.0
	版画集〈ギリシャ神話〉11. エウロペ	1957-65年	木版 紙	38.8×54.5
	版画集〈ギリシャ神話〉13. イオ	1957-65年	木版 紙	38.3×53.9
	版画集〈ギリシャ神話〉14. レダ	1957-65年	木版 紙	38.8×53.9

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
萩原英雄	版画集〈ギリシャ神話〉 15. ヘラクレス	1957-65年	木版 紙	38.5×53.9
	版画集〈ギリシャ神話〉 18. アルテミス	1957-65年	木版 紙	53.5×38.0
	版画集〈ギリシャ神話〉 19. メデューサ	1957-65年	木版 紙	53.5×38.0
	版画集〈ギリシャ神話〉 20. ヘーパイトス	1957-65年	木版 紙	38.5×53.8
	版画集〈ギリシャ神話〉 21. ハーデス	1957-65年	木版 紙	38.4×53.9

■現代版画

萩原英雄2 1月10日[水]-2月12日[月・振休]

萩原英雄	版画集〈ギリシャ神話〉 23. アテネ	1957-65年	木版 紙	38.2×53.8
	版画集〈ギリシャ神話〉 24. ナルシッソス	1957-65年	木版 紙	53.8×38.3
	版画集〈ギリシャ神話〉 26. アリアドーネ	1957-65年	木版 紙	38.1×53.8
	版画集〈ギリシャ神話〉 27. プロメテウス	1957-65年	木版 紙	38.5×54.5
	版画集〈ギリシャ神話〉 29. パエトーン	1957-65年	木版 紙	38.5×54.4
	版画集〈ギリシャ神話〉 30. ベレロポン	1957-65年	木版 紙	38.9×54.0
	版画集〈ギリシャ神話〉 31. サティロス	1957-65年	木版 紙	38.3×54.1
	版画集〈ギリシャ神話〉 32. バッコス	1957-65年	木版 紙	54.3×38.5
	版画集〈ギリシャ神話〉 33. ダナエ	1957-65年	木版 紙	38.6×54.5
	版画集〈ギリシャ神話〉 34. エロスとプシケ	1957-65年	木版 紙	38.3×53.9
	版画集〈ギリシャ神話〉 35. アタランタ	1957-65年	木版 紙	39.1×54.2
	版画集〈ギリシャ神話〉 36. グラウコス	1957-65年	木版 紙	38.5×54.1
	版画集〈ギリシャ神話〉 38. パリス	1957-65年	木版 紙	39.3×54.5
	版画集〈ギリシャ神話〉 39. ケンタウロス	1957-65年	木版 紙	53.7×38.5
	版画集〈ギリシャ神話〉 42. ヴィナスとアドニス	1957-65年	木版 紙	38.5×53.8

■現代版画

ベン・シャーン 2月14日[水]-3月10日[日]

ベン・シャーン	版画集〈リルケ『マルテの手記』より: 一行の詩のためには…〉扉1	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3†
---------	----------------------------------	-------	---------	------------

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
ベン・シヤーン	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉扉2	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉1. 多くの都市	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉2. 多くの人々を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉3. 多くの事物を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉4. 禽獣を知らねばならぬ	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉5. 飛ぶ鳥のすがた	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉6. 小さな草花のたずまい	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉7. まだ知らぬ国々の道を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉8. 思いがけぬ邂逅	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉9. 遠くから近づいてくるのが見える別離	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉10. 少年の日の思い出を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉11. 心を悲しませてしまった両親を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉12. 少年時代の病気を	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉13. 静かなしんとした部屋で	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉14. 海辺の朝	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉15. 海そのものの姿	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉16. 星くずとともに消え去った旅寝の夜々	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
ベン・シャーン	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉17. 愛にみちた多くの夜の回想	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉18. 産婦の叫び	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉19. 白衣のなかに眠りに落ちて恢復を待つ産後の女	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉20. 死んでゆく人の枕もと	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉21. 死者の傍で	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸
	版画集〈リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには…〉22. 一篇の詩の最初の言葉	1968年	リトグラフ 紙	57.3×45.3 寸

■現代版画

マッタ 3月12日[火]-4月7日[日]

マッタ	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉1	1973年	エッチング、アクアチント 紙	49.1×68.6
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉2	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.9×70.5
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉3	1973年	エッチング、アクアチント 紙	49.3×68.8
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉4	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.8×70.5
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉5	1973年	エッチング、アクアチント 紙	49.4×68.5
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉6	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.8×70.5
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉7	1973年	エッチング、アクアチント 紙	49.3×69.0
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉8	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.8×70.5
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉9	1973年	エッチング、アクアチント 紙	48.3×68.0
	版画集 〈薄暗いアーチのある時間〉10	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.8×70.5
	魂－孤独	1983年	油彩 キャンバス	66.5×46.9
	海と結ばれるカップル	1983年	油彩 キャンバス	67.4×47.4
	皮肉な友情	1983年	油彩 キャンバス	65.1×47.6

展示室2

■徳島ゆかりの美術

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
池田遙邨	鳴門	1949年	紙本着色	218.5×139.7* ^a
石川真五郎	剣山	1948-72年頃	油彩 キャンバス	24.3×33.4[真美会氏寄贈]
	鳴門	1948-72年頃	油彩 板	24.3×33.4[真美会氏寄贈]
	吉野川	1948-72年頃	油彩 キャンバス	65.4×85.0[真美会氏寄贈]
石丸一	山	1942年	油彩 キャンバス	130.0×193.0[大西アヤ氏寄贈]
伊原宇三郎	パリ風景	1926年頃	油彩 キャンバス	46.0×54.3
	エトルタ風景	1927年	油彩 キャンバス	97.2×130.2
	南仏 ヴァンスにて	1956-58年	油彩 キャンバス	45.6×55.6[嶋村富士美氏寄贈]
河井清一	雪の都	1922年	油彩 キャンバス	60.8×49.8[河井慶清氏寄贈]
河野太郎	港の風景(仮称)	不詳	油彩 合板	70.0×89.0
清原重以知	京都渡月橋	1941年頃	油彩 キャンバス	37.8×45.5[大沼登志子氏寄贈]
日下八光	阿南の海	1927年	絹本着色 額装	165.0×175.0* ^b
久米福衛	富士遠望	不詳	油彩 キャンバス	78.0×115.0[山本壽氏寄贈]
	椿泊風景	不詳	油彩 キャンバス	44.0×110.0[山本壽氏寄贈]
三宅克己	倫敦市タワアブリッジ	1910年	水彩 紙	36.0×27.0* ^b
	ベルギー風景	1910年	水彩 紙	50.5×38.5* ^a
	伊太利ヴェロナの古橋	1920年頃	水彩 紙	49.7×66.5* ^b
	ハンプステッド・ヒース(ロンドン)	1930年	水彩 紙	45.2×60.0* ^a
山下菊二	高松所見	1936年	油彩 キャンバス	65.0×80.5

■美術館ロビー

ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
アリスティード・マイヨール	着衣のボモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場

淀井敏夫	渚	1978年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	左(イヴ):217.0×92.0×79.0 右(アダム):219.0×108.0×65.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	左(女):193.0×94.0×142.0 右(男):180.0×84.0×122.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
-----	-----	-------	-----	---------

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ペンガラ	45.0×115.0×70.0

※会期中、展示替えを行った。*aを付したものは12月2日[土]から2月4日[日]まで、*bを付したものは2月6日[火]から4月7日[日]まで展示した。

3-2 特別展 令和5年度

1 境界をこえる

令和5年4月29日[土・祝]-6月18日[日]

2 イロのひみつ ― なにいろに見る?

令和5年7月15日[土]-9月3日[日]

3 ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち

令和5年9月16日[土]-12月10日[日]

本年度は、常識や制限などの「境界」をこえることを試みた作家たちを紹介する「境界をこえる」展、オーストラリアの作家ディーン・ボーエンによる個展「ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」展を開催した。またユニバーサルミュージアム事業として、シリーズで開催してきた展覧会では、「カラーユニバーサル」をテーマに「イロのひみつ ― なにいろに見る?」展を開催した。

(出品リストの凡例)

国内作家は五十音順、国外作家はアルファベット順。作品データは、作家名、作品名、制作年、技法・材質、寸法(cm)。平面作品の寸法は縦×横。立体作品の寸法は高さ×幅×奥行きを原則とし、一部h.(高さ)で表したものがある。版画の寸法は原則としてイメージ・サイズだが、†が付されたものはシート・サイズとした。

● 会期

令和5年4月29日[土・祝]-6月18日[日](44日間)

● 休館日

月曜日

● 概要

本展は、「境界とは、その先にあるものとつながりたいという思いの表れである」という視点を基軸にして、当館の所蔵作品と、近畿・四国地方の美術館の名品などを併せて紹介したものである。作家たちがこれまで考えられていた美術の概念の外へと領域を広げていくことで、近代以降の美術が発展してきたことを作品によって示すことにより、鑑賞者に、生活の中で感じる「境界」の外へとつながる勇気を与えられたらという思いのもと企画された。

本展は4章構成である。第1章「時代の彼方」では、過去の名作を引用することで過去の時代とつながろうとした作品を紹介。第2章「キャンパスの外」では、「絵画とはキャンパスの上に絵の具をのせるもの」という概念を破ろうとした作品や、社会とのつながりを色濃く伝える作品を展示した。第3章「内面のその奥」では作家の心の奥にあるものとつながることで生まれた作品を、続く第4章「そこに在るもの」では、表現する対象そのものを深く見つめて制作された作品を紹介した。

出品作家は岸田劉生や坂本繁二郎などの日本近代を代表する人々から、元永定正や星野眞吾などの戦後から活躍した作家たち、現代日本の美術シーンを牽引する森村泰昌、福田美蘭、関西を拠点に活躍する新進気鋭の作家である林勇気、唐仁原希など多岐にわたった。それにより、多様な表現によって「境界をこえ」ようとした作家たちの試みを示すことができた。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 後援

徳島新聞社、四国放送株式会社、NHK徳島放送局、エフエム徳島、(公財)徳島県文化振興財団

● 観覧料

一般 800円(640円)

高校・大学生 600円(480円)

小学・中学生 400円(320円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

図録:A5判 カラー 64ページ

出品リスト:A4判4ページ(A3判2つ折り1枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-9「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

1,405人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「見えない「境界」の先へ」『徳島新聞』 令和5年4月25日

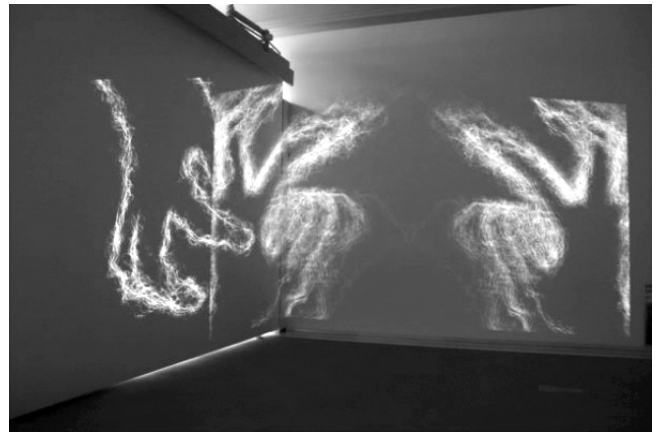
・「常識・制限こえれば」『朝日新聞』 令和5年6月9日(徳島版)

・「インタビュー 徳島県立近代美術館学芸員 宮崎晴子」『タウトク』 令和5年6月号

・「美術館からのエッセイ 特別展「境界をこえる」 こえることは、つながること。」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年5月

● 担当学芸員

宮崎晴子、森芳功



●出品リスト 境界をこえる

展示室3 はじめに

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者
福田美蘭	陶器	1992年	フィルムプリント キュラーレンズ	46.0×84.0	高松市美術館

第1章 時代の彼方

福田美蘭	ゼフィロスから見たクロリス とフローラと三美神	1992年	アクリル 合板	227.2×181.8	高松市美術館
小川信治	ラス・メニーナス	2002年	油彩 キャンバス	60.1×53.1	国立国際美術館
唐仁原希	a portrait of a boy	2013年	油彩 キャンバス	185.0×145.0	徳島県立近代美術館
森村泰昌	肖像(少年1)	1988年	写真、メディウム	210.0×120.0	徳島県立近代美術館
	肖像(少年2)	1988年	写真、メディウム	210.0×120.0	徳島県立近代美術館
	肖像(少年3)	1988年	写真、メディウム	210.0×120.0	徳島県立近代美術館
岡本信治郎	ヴァン・ゴッホの像	1967年	アクリル絵具 キャンバス	162.1×130.3	徳島県立近代美術館
	版画集〈GOGH TIME MACHINE〉1. 星夜	1969-71年	シルクスクリーン 紙	47.3×72.9* ^b	徳島県立近代美術館
	版画集〈GOGH TIME MACHINE〉4. 種まく人	1969-71年	シルクスクリーン 紙	50.0×62.8* ^a	徳島県立近代美術館
山下菊二	わたしと鳥と音楽と(4) 19歳〜良子の家	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2	徳島県立近代美術館
横尾忠則	芸術の浄化	1990年	油彩 キャンバス	162.0×130.0	徳島県立近代美術館
篠原有司男	女の祭り	1968年	シルクスクリーン、 コラージュ 紙	71.0×144.0* ^a	徳島県立近代美術館
	鏡の中の花魁	1969年	シルクスクリーン 紙	58.8×49.8* ^b	徳島県立近代美術館
幾嘯	レインボー・ルソー	1987年	シルクスクリーン 紙	59.7×45.4* ^b	徳島県立近代美術館
	虹使い	1987年	シルクスクリーン 紙	54.8×62.3* ^a	徳島県立近代美術館
下村良之介	〈百人一首〉在原業平朝臣	1982-83年頃	ミクストメディア	22.2×16.3* ^a	徳島県立近代美術館
	〈百人一首〉紫式部	1982-83年頃	ミクストメディア	22.2×16.3* ^a	徳島県立近代美術館

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者
下村良之介	〈百人一首〉右大將道綱母	1982-83年頃	ミクストメディア	22.2×16.3*b	徳島県立近代美術館
	〈百人一首〉壬生忠見	1982-83年頃	ミクストメディア	22.2×16.3*b	徳島県立近代美術館
	〈百人一首〉俊恵法師	1982-83年頃	ミクストメディア	22.2×16.3*a	徳島県立近代美術館
	〈百人一首〉良暹法師	1982-83年頃	ミクストメディア	22.2×16.3*b	徳島県立近代美術館
山口晃	大山崎交通乃圖	2008年	水彩、ペン 紙	56.0×75.5*a	高松市美術館
片岡球子	浮世絵師安藤広重	1981年	紙本着色	90.9×72.7*b	徳島県立近代美術館
黒崎彰	阿波の藍・とくしま	2000年	木版 紙	45.0×32.0*b	徳島県立近代美術館
横尾忠則	AWA	1983年	木版 紙	40.8×26.8*b	徳島県立近代美術館
	MUTSU	1983年	木版 紙	40.8×26.8*b	徳島県立近代美術館
	SURUGA	1983年	木版 紙	40.8×26.8*a	徳島県立近代美術館
	MIKAWA	1983年	木版 紙	40.8×26.8*a	徳島県立近代美術館

第2章 キャンバスの外

2-I 物質性につながる

今井俊満	夜の讃歌	1956年	油彩 キャンバス	113.2×195.5	高松市美術館
山下菊二	4人のパイロット	1962年	油彩 木板	54.0×80.0	徳島県立近代美術館
元永定正	作品5	1960年	油性合成樹脂塗料 キャンバス	142.0×108.0	兵庫県立美術館
	作品8	1960年	油性合成樹脂塗料 キャンバス	91.4×73.1	兵庫県立美術館
	作品10	1960年	油性合成樹脂塗料 キャンバス	118.2×91.3	兵庫県立美術館
白髪一雄	地威星百勝将韓滔	1961年	油彩 キャンバス	193.9×130.3	高松市美術館
名坂有子	UNTITLED	1963年	アクリル 板	182.5×137.0	芦屋市立美術博物館
松谷武判	WORK 65-1	1965年	水性・油彩絵具、ボンド ボード	200.3×150.0	高松市美術館
菊畑茂久馬	月光 三	1986年	油彩、木 キャンバス	259.1×194.1	徳島県立近代美術館
	月光 十	1988年	油彩、木 キャンバス	259.5×194.5	徳島県立近代美術館

2-II 私たちの生きる空間につながる

李禹煥	線より	1976年	岩彩 キャンバス	130.0×162.0	高松市美術館
郭徳俊	TIME APRIL 6 1981	1981年	アクリル、コラージュ キャン バス	130.0×163.0	徳島県立近代美術館
片瀬和夫	ホームレス	1992年	ダンボールに黒色シルクス クリーン、青い螢光灯、青 いフィルター	100.0×200.0×90.0	徳島県立近代美術館
太田三郎	〈Post war 50 私は誰です か〉01. 閻 喜鳳 女性 安東省 第1次〔昭和56 年3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰です か〉02. 田 富 男性 三江省 第1次〔昭和56 年3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者
太田三郎	〈Post war 50 私は誰ですか〉03. 張 秀英 女性 奉天省 第2次[昭和57年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉04. 高 世復 男性 奉天省 第2次[昭和57年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉05. 呂 濟玲 女性 東安省 第3次[昭和58年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉06. 馬 文林 男性 浜江省 第3次[昭和58年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉07. 呉 桂蘭 女性 奉天省 第4次[昭和58年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉08. 張 学彦 男性 吉林省 第4次[昭和58年12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉09. 張 桂雲 女性 牡丹江省 第5次[昭和59年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉10. 王 占山 男性 三江省 第5次[昭和59年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉11. 鄒 麗栄 女性 東安省 第6次[昭和59年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉12. 張 世良 男性 奉天省 第6次[昭和59年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉13. 張 喜玲 女性 吉林省 第7次[昭和60年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉14. 王 克印 男性 浜江省 第7次[昭和60年2-3月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉15. 王 秀蓮 女性 東安省 第8次[昭和60年9月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉16. 莊 立発 男性 奉天省 第8次[昭和60年9月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉17. 蘭 艶霞 女性 竜江省 第9次[昭和60年11-12月訪日]	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者
太田三郎	〈Post war 50 私は誰ですか〉18. 張 長瑞 男性 竜江省 第9次〔昭和60年11-12月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉19. 韓 来英 女性 竜江省 第10次〔昭和61年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉20. 楊 金有 男性 牡丹江省 第10次〔昭和61年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*a	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉21. 樊 淑珍 女性 竜江省 第11次〔昭和61年6月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉22. 王 家林 男性 関東州 第11次〔昭和61年6月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉23. 周 玉坤 女性 竜江省 第12次〔昭和61年9月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉24. 馬 長太 男性 浜江省 第12次〔昭和61年9月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉25. 張 淑雲 女性 東安省 第13次〔昭和61年10-11月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉26. 李 喜春 男性 牡丹江省 第13次〔昭和61年10-11月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉27. 紀 淑賢 女性 東安省 第14次〔昭和61年12月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉28. 賀 吉春 男性 三江省 第14次〔昭和61年12月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉29. 李 桂琴 女性 興安南省 第15次〔昭和62年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉30. 王 明遠 男性 吉林省 第15次〔昭和62年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉31. 陳 秀華 女性 東安省 第16次〔昭和62年11月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉32. 楊 立成 男性 竜江省 第16次〔昭和62年11月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者
太田三郎	〈Post war 50 私は誰ですか〉33. 鄒 春栄 女性 奉天省 第17次〔昭和63年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉34. 趙 立業 男性 奉天省 第17次〔昭和63年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉35. 麻 玉蘭 女性 興安北省 第18次〔昭和63年6-7月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉36. 王 祖君 男性 牡丹江省 第18次〔昭和63年6-7月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉37. 徐 立君 女性 吉林省 第19次〔平成元年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉38. 石 成玉 男性 三江省 第19次〔平成元年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	〈Post war 50 私は誰ですか〉39. 高 玉蘭 女性 吉林省 第20次〔平成2年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
林勇気	〈Post war 50 私は誰ですか〉40. 張 禄海 男性 興安北省 第20次〔平成2年2-3月訪日〕	1995年	再生紙にプリント	29.1×15.7*b	徳島県立近代美術館
	light/shadow	2019年	HDビデオ (Color/Silent) ー 7min7sec/7min11sec		徳島県立近代美術館

第3章 内面のその奥

浜田知明	初年兵哀歌(歩哨)	1954年	エッチング、アクアチント 紙	23.8×16.3*a	徳島県立近代美術館
	版画集〈曇後晴 浜田知明銅版画集〉 1. ややノイローゼ気味	1975年	エッチング、アクアチント 紙	22.4×14.5*b	徳島県立近代美術館
針生鎮郎	イチゴ畑	1965年	油彩 キャンバス	162.0×130.3	徳島県立近代美術館
三上誠	無題(灸点シリーズ)	1967-68年頃	紙本着色	121.0×91.5	徳島県立近代美術館
星野真吾	空しいポーズ	1980年	紙本着色	151.5×90.9	徳島県立近代美術館
八木一夫	出発	1974年	陶	28.3×28.0×23.5	兵庫県立美術館 (山村コレクション)
福岡道雄	石になれるか	1984年	ブロンズ	14.0×21.0×15.0	徳島県立近代美術館
奈良美智	UNTITLED (BROKEN TREASURE)	1995年	アクリル キャンバス	150.0×150.0	徳島県立近代美術館
坂井淑恵	間の人 (The man in Between)	1995年	油彩 キャンバス	227.3×363.6	徳島県立近代美術館
青木千絵	BODY 08-1	2008年	漆、麻布、発泡スチロール (乾漆技法)	317.0×50.0×55.0	徳島県立近代美術館

第4章 そこに在るもの

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者
岸田劉生	静物(湯呑と茶碗と林檎三つ)	1917年	油彩 キャンバス	38.0×45.5	大阪中之島美術館
坂本繁二郎	箱	1960年	油彩 キャンバス	38.0×45.7	三重県立美術館
森堯之	花と蝶	1941年	油彩 キャンバス	41.4×32.2	徳島県立近代美術館
松本竣介	駅の裏	1942年	油彩 キャンバス	50.0×60.6	三重県立美術館
須田国太郎	村	1937年	油彩 キャンバス	94.0×128.0	京都市美術館
麻生三郎	家族	1959年	油彩 キャンバス	130.3×162.0	徳島県立近代美術館
柳原義達	人	1960年	ブロンズ	118.0×40.0×70.0	徳島県立近代美術館
木内克	トルソ	1963年	テラコッタ	45.0×30.0×40.0	徳島県立近代美術館
熊谷守一	裸婦	1940年	油彩 キャンバス	65.2×53.0	徳島県立近代美術館
木村忠太	トスカナ風景(シエナ郊外)	1965年	油彩 キャンバス	114.0×146.0	高松市美術館
舟越桂	渴きとスピード	1988年	木(楠)、大理石	83.0×55.0×33.0	徳島県立近代美術館
小林孝亘	Dishes	1997年	油彩 キャンバス	60.0×90.0	高松市美術館
伊庭靖子	untitled	2012年	油彩 キャンバス	162.0×194.0	国立国際美術館
金田実生	彼の清らかな意思	2003年	油彩 キャンバス	53.5×53.5*a	徳島県立近代美術館
	真実の肌ざわり	2004年	油彩 キャンバス	53.5×53.5*b	徳島県立近代美術館
	夜空とおなじ	2022年	油彩 キャンバス	91.0×71.7	作家蔵
河合美和	APR-AUG 2022・I	2022年	油彩 板	162.0×130.5	作家蔵
	APR-SEP 2022・II	2022年	油彩 板	73.0×61.0	作家蔵

※会期中、展示替えを行った。*aを付したものは4月29日[土・祝]から5月21日[日]まで、*bを付したものは5月23日[火]から6月18日[日]まで展示した。

● 会期

令和5年7月15日[土]-9月3日[日](44日間)

● 休館日

月曜日(7月17日、8月14日を除く)、7月18日[火]

*8月15日[火]は台風の接近に伴い臨時休館

● 概要

誰もが楽しめるユニバーサル・ミュージアムを目標に、改善のアイデアを定着させる試みとして平成30年から展覧会をシリーズで開催。視覚障がい、聴覚障がい、外国人、幼児、肢体不自由、高齢者に続く6回目のテーマは「カラーユニバーサル」に設定した。

風景・心の色・遊びの3コーナーを設け、風景画の色づかいや、画家が色に込めたメッセージ、ものの色から自由な色彩、といった観点から色を通して美術作品を紹介。クイズや解説文などにより色の情報を充実させた。

導入プログラムとして、言葉に合う色紙を選んで貼るコーナーをロビーに設置。カラーチャート式のワークシートを会場受付で配布した。色の感じ方を交流する掲示コーナーや、色彩に関する図書の閲覧机を設けた。去年のユニバーサル展に引き続いて、話し声が気になりにくいようにするマスキングノイズを会場全体に流したり、作品キャプションを使わず紹介コメント入りの作品リストを配布したりすることで、交流しながら観覧しやすい環境づくりを目指した。

カラーユニバーサルを研究する徳島県立徳島科学技術高等学校の生徒や、カラーユニバーサルデザインをすすめる会など、地域の関係者の協力を得て、色覚バリアフリーに関するイベントを開催することができた。

多様な色覚の感じ方があることを大切に考え、作品の良さや感じ方について話しやすい展示会場づくりを試みた。色覚バリアフリーに関して美術館に何ができるのかを探る機会になったものの、これまでの交流型プログラムの方法論を活かし切れなかった点では課題を残した。色覚特性は障がいではなく、バリア対策を施す発想とは一線を画した美術鑑賞の場ならではの提案を引き続き研究する意義と可能性があると考えている。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 後援

徳島新聞社、四国放送株式会社、NHK徳島放送局、エフ

エム徳島、(公財)徳島県文化振興財団

● 協力

徳島県立徳島科学技術高等学校、カラーユニバーサルデザインをすすめる会

● 観覧料

一般 400円(320円)

高校・大学生 300円(240円)

小学・中学生 200円(160円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

出品リスト:A4判6ページ(A3判2つ折り1枚、A4判1枚差し込み) 簡易印刷

出品作家略歴:A4判6ページ(A4判横3枚) 簡易印刷

ワークシート「わたしだけに見えた色 名づけノート」99×210mm 片面カラー

*その他印刷物については、4-2-9「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

3,014人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「『色』自分なりに感じて あすから県立近代美術館特別展」『徳島新聞』 令和5年7月14日

・「美術館からのエッセイ イロのひみつ展へようこそ」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年7月

・「“美術作品の色”に着目した展覧会が徳島県立近代美術館で、マティスや河井清一など所蔵作品約120点」FASHION PRESS(Web) 令和5年7月5日

・「Compass」エフエム徳島(ラジオ) 令和5年7月12日

・「ステップ 自分らしいイロ感じて 多様な色覚で楽しむ特別展」テレビトクシマ(CATV) 令和5年8月18日

● 担当学芸員

竹内利夫、亀井幸子、笠井優



色に関する説明やクイズを掲示

●出品リスト イロのひみつーなにいろに見る?

展示室3

1 美しい風景

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者(記載のないものは当館蔵)
河井清一	夏の朝	1959年	油彩 キャンバス	145.4×69.7	
	明るい部屋	1962年	油彩 キャンバス	112.0×145.2	
三宅克己	ハンプステッド・ヒース(ロンドン)	1930年	水彩 紙	45.2×60.0	
	北米加州サンデゴの公園	1928年	水彩 紙	32.2×49.0	
	溪流(箱根底倉)	1941年	水彩 紙	68.0×101.0	
	甲州桂川風景	1951年頃	水彩 紙	32.2×41.1	
石丸一	灯台のある風景	1940年代前半	油彩 キャンバス	50.0×65.0	
市原義之	街の朝	1971年	紙本着色	164.0×214.5	
日下八光	秋	1943年	紙本着色 額装	186.0×102.0	
	藪蔭	昭和初期	紙本着色 額装	137.0×162.0	
久米福衛	椿泊風景	不詳	油彩 キャンバス	44.0×110.0	
三宅克己	あさやけ	1907年	水彩 紙	37.0×46.0	

身のまわりのこと

清原重以知	ダリヤ畑	1916年	油彩 キャンバス	100.2×65.0
廣島晃甫	赤装女	1941年	絹本着色 額装	165.0×105.0
	秋圃	1950年	絹本着色 額装	109.5×152.5
麻田浩	石の風景	1979年	メゾチント、アクアチント、 エッチング、ドライポイント 紙	39.6×39.6
	時の浸食	1979年	メゾチント、アクアチント、 エッチング、ドライポイント 紙	39.5×49.3

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者(記載のないものは当館蔵)
清原重以知	果ら	1920年	油彩 キャンバス	91.8×91.4	
清原重以知	牡丹	1966年	油彩 キャンバス	80.3×100.0	
長尾弘子	蓮	2005年	紙本着色	100.0×72.7	

かたちと色

中野嘉之	うず潮	2007年	紙本着色	59.9×187.6	
村山槐多	女の顔	1914年	木炭 紙	60.0×44.5	
高松次郎	影の自画像	1964年	ラッカー キャンバス	65.1×53.2	
ヴァシリイ・カンディンスキー	版画集〈響き〉 3. コンポジションII	1911年	木版 紙	14.8×21.0	
	版画集〈響き〉 21. 騎士の道	1911年	木版 紙	16.3×21.2	
	版画集〈響き〉27. 即興4	1911年	木版 紙	14.6×17.9	
	版画集〈響き〉37. 即興19	1911年	木版 紙	15.0×18.5	
フランツ・マルク	動物伝説	1912年	木版、インク 和紙	19.9×24.0	
長谷川潔	チューリップと三蝶	1960年	メゾチント 紙	35.7×26.2	
	狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ 寓話)	1963年	メゾチント 紙	35.4×26.4	
	水浴の少女と魚	1971年	ドライポイント 紙	20.7×13.8	
ジョージ・シーガル	タイルの壁にもたれる東 洋の女	1982年	紙	81.5×42.5×24.0	
アレクサンダー・アーキペ ンコ	白いトルソ	1916年	大理石	h.48.0	
アレクサンダー・コールドー	角ばった肩の生きもの	1974年	彩色メタル	190.5×96.5×68.6	
ケネス・アーミテジ	降りていく人	1973-76年	アルミニウム	44.1×11.5×21.5	
ジャン・フォートリエ	女	1940年	ブロンズ	19.2×17.0×20.0	
宮本光庸	布を持った女	1987年	ブロンズ	55.0×27.0×41.0	
小嶋悠司	人物デッサン	1971年	コンテ 紙	55.8×39.5	
	人物デッサン	1972年	コンテ 紙	39.6×55.8	
	人物デッサン	1988年	コンテ 紙	54.6×39.7	
	人物デッサン	1988年	コンテ 紙	39.3×54.6	

2 心の色 気持ちの色

佐野比呂志	ひとり	1970年	油彩 キャンバス	145.0×97.0	
山口薫	昔の顔	1958年	油彩 キャンバス	100.0×80.3	
林武	婦人像	1937年	油彩 キャンバス	72.8×60.6	
アントニ・クラヴァエ	子供と魚	1951年	油彩 板	100.2×73.5	

選ばれた色

イヴ・クライン	空気の建築:ANT 119	1961年	顔料、合成樹脂 紙、 キャンバス	262.0×200.0	
---------	---------------	-------	---------------------	-------------	--

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者(記載のないものは当館蔵)
ホルスト・アンテス	青いカーテンのある頭部	1981-82年	アクリル絵具、木 板	181.5×188.9	
岡本信治郎	ヴァン・ゴッホの像	1967年	アクリル絵具 キャンバス	162.1×130.3	
吹田文明	青の世界(C)	1974年	木版、紙版 紙	91.1×61.2	
黒崎彰	赤い闇9	1970年	木版 紙	77.4×77.5	
パブロ・ピカソ	赤い枕で眠る女	1932年	油彩 キャンバス	38.0×46.0	

3 色が遊ぶ 自由な色で

里見勝蔵	女	1933年頃	油彩 キャンバス	100.0×72.7	
元永定正	さいしよはぐりいん	1979年	シルクスクリーン 紙	31.0×45.0	
	のびるしろ	1981年	シルクスクリーン 紙	36.0×57.0	
	せのひくいおれんじはまん なかあたり	1984年	シルクスクリーン 紙	46.0×66.0	
	ぎざぎざのなかのきいろ	1986年	シルクスクリーン 紙	65.0×46.0	
村井正誠	人と小鳥	1950年	油彩 キャンバス	116.5×90.8	
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0	
瑛九	陽気な人	1954年	油彩 キャンバス	60.6×72.7	
谷川晃一	スイランの夏	1988年	アクリル絵具 キャンバス	130.3×162.1	
高橋秀	版画集〈8つの作品〉 1. 黒の遁走	1973年	シルクスクリーン、エンボス 紙	57.3×66.5	
	版画集〈8つの作品〉 2. 愛のはじめ－ピンク－	1973年	シルクスクリーン、エンボス 紙	57.8×51.2	
	版画集〈8つの作品〉 3. 処女－白－	1973年	シルクスクリーン、エンボス 紙	46.0×48.0	
	版画集〈8つの作品〉 4. 処女－緑－	1973年	シルクスクリーン、エンボス 紙	46.0×48.0	
	版画集〈8つの作品〉 5. 虚栄－ブロンド－	1973年	リトグラフ、シルクスクリーン、 エンボス 紙	53.5×49.3	
	版画集〈8つの作品〉 6. 熱－ローズ－	1973年	リトグラフ、シルクスクリーン、 エンボス 紙	64.7×48.5	
	版画集〈8つの作品〉 7. 蟹気楼	1973年	シルクスクリーン、エンボス 紙	63.3×32.0	
	版画集〈8つの作品〉 8. 金曜日	1973年	シルクスクリーン、エンボス 紙	44.0×63.7	

色が生まれる

加納光於	青ライオンあるいは《月・指》 I	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	
	青ライオンあるいは《月・指》 II	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	
	青ライオンあるいは《月・指》 III	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	
	青ライオンあるいは《月・指》 IV	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	
	青ライオンあるいは《月・指》 V	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者(記載のないものは当館蔵)
加納光於	青ライオンあるいは《月・指》VI	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	
	青ライオンあるいは《月・指》VII	1991-92年	カラーインタリオ 紙	71.0×56.5	
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.12	1984-85年	インタリオ 紙	41.9×56.6	
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.21	1984-85年	インタリオ 紙	59.7×42.0	
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.2	1984-85年	インタリオ 紙	42.3×34.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.14	1984-85年	インタリオ 紙	44.9×62.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.3	1984-85年	インタリオ 紙	45.5×42.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.4	1984-85年	インタリオ 紙	45.5×42.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.6	1984-85年	インタリオ 紙	61.5×47.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.7	1984-85年	インタリオ 紙	61.5×44.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.8	1984-85年	インタリオ 紙	51.0×31.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.9	1984-85年	インタリオ 紙	35.0×30.9	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.10	1984-85年	インタリオ 紙	42.4×57.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.13	1984-85年	インタリオ 紙	57.0×42.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.16	1984-85年	インタリオ 紙	60.0×42.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.17	1984-85年	インタリオ 紙	60.0×42.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.19	1984-85年	インタリオ 紙	44.5×58.3	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.22	1984-85年	インタリオ 紙	42.4×62.2	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.23	1984-85年	インタリオ 紙	44.9×62.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.24	1984-85年	インタリオ 紙	45.0×62.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.25	1984-85年	インタリオ 紙	29.9×50.0	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.26	1984-85年	インタリオ 紙	60.0×42.5	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.29	1984-85年	インタリオ 紙	61.9×44.9	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.5	1984-85年	インタリオ 紙	44.0×36.6	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.30	1984-85年	インタリオ 紙	72.5×51.6	作家蔵
	「波動説」-intaglioをめぐってNO.31	1984-85年	インタリオ 紙	62.0×31.2	作家蔵

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵者(記載のないものは当館蔵)
アンリ・マティス	版画集〈ジャズ〉1. 道化師	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉2. サークス	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 3. ロワイヤル氏	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 4. 白象の悪夢	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 5. 馬、曲馬師、道化	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉6. 狼	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉7. ハート	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉8. イカルス	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉9. フォルム	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 10. ピエロの葬式	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 11. 空中ブランコ	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 12. 水槽を泳ぐ女	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 13. サーベルを嚙む男	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 14. カウボーイ	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉 15. ナイフを投げる男	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉16. 運命	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉17. 干渴	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉18. 干渴	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉19. 干渴	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
	版画集〈ジャズ〉20. そり	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1	
幾 嘸	Mr. & Mrs. Rainbow Noppo R-V	1973年	シルクスクリーン 紙	141.5×50.5	

● 会期

令和5年9月16日[土]-12月10日[日](74日間)

● 休館日

月曜日(9月18日、10月9日を除く)、9月19日[火]、10月10日[火]

● 概要

オーストラリアのメルボルンを拠点に活動している現代アーティスト、ディーン・ボーエン(1957年-)の日本で初めての大規模な個展として、彼の創作活動を包括的に紹介した。人間・動物・昆虫・都市・自然などをテーマに、版画・油彩画・水彩画・ブロンズ彫刻・アサンブラージュなど様々な技法で制作された、海外からの借用品も含む約150点を紹介した。

章立ては次のとおりである。第1章「ディーン・ボーエンの作品世界へ旅立つ」、第2章「人間像～町の風景～私たちの暮らし」、第3章「オーストラリアの大自然(動物たちと鳥たちの大陸)」、第4章「オーストラリアの地平線のなかで」。

本展に関するアンケートから、ボーエン作品の親しみやすいモチーフや、ユーモアと想像力に溢れた作風に対する好感度の高さがうかがえた。本展を通して、敷居が高いと敬遠されがちな芸術や、オーストラリアの自然・文化に対する来館者の関心を深めることができた。さらに、ボーエンの作品だけではなく、その背景にあるアール・ブリュットや原始美術、またオーストラリアの風土についても、広く知ってもらう機会となった。

また、新たな取り組みとして、徳島大学環境防災研究センターと連携し、美術と防災の視点から町を観察し作品を制作するワークショップを二回開催した。内容は、防災レクチャーと展覧会の鑑賞、文化の森周辺のフィールドワークと作品制作である。第一回ではフィールドワークで採取した土や砂、植物や、鉛筆と紙による地面のフロッターージュを素材に作品を制作し、第二回では防災マップやハザードマップを元にフィールドワークを行い、防災すごろくを作成した。作品はロビーに展示し、防災すごろくは来館者が体験出来るようにした。

おおらかで多様性に富んだボーエンの作品によって、コロナ禍で閉鎖的になった人々の感性や価値観を広げ、ポストコロナ時代における美術の可能性を提示することができた。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 後援

オーストラリア大使館、徳島新聞社、四国放送株式会社、エフエム徳島、(公財)徳島県文化振興財団

● 助成

一般財団法人 地域創造

● 観覧料

一般 900円(720円)

高校・大学生 670円(530円)

小学・中学生 450円(360円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

図録:A4判変形 カラー 144ページ

出品リスト:A4判6ページ(A3判2つ折り、A4判両面はさみこみ)

簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-9「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

4,718人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「美術で学ぶ災害への備え」『徳島新聞』 令和5年8月30日

・「アート×防災 体験講座」『読売新聞』 令和5年8月30日

・「徳島で豪作家「ディーン・ボーエン展」コラボで防災ワークショップも」『徳島経済新聞』 令和5年8月31日

・「ディーン・ボーエンの世界を旅する」『版画芸術』No.201 令和5年9月

・「美術館からのエッセイ 特別展ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年9月

・「豪州の自然や動物雄大に」『徳島新聞』 令和5年9月14日

・「徳島新聞ニュース」四国放送 令和5年9月20日

・「B-step talking」FMびざん 令和5年9月20日

・「情報番組「ステップ」」ケーブルテレビ徳島 令和5年9月25日

- ・「トレンドカフェ」ケーブルテレビあなん 令和5年9月27日
- ・「ホットと四国」NHKラジオ第一 令和5年10月6日
- ・「とく6徳島」NHK徳島放送局 令和5年10月12日

● 担当学芸員

友井伸一、飯田恵実、浅田真珠



● 出品リスト ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち
 ＊出品作品の作者はすべてディーン・ボーエン。

展示室3

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
アニメーション・プロジェクト「ディーン・ボーエン」 Dean Bowen Animation Project	2005-2009年	アニメーション、カラー、 21分	製作:ギャルリー宮脇 アニメーター:佐々木あゆみ		

第I章 ディーン・ボーエンの作品世界へ旅立つ Journey into the world of Dean Bowen’s work
 1 アーティストブックの展開 Development of Artist’s Books

『壮大な旅』 That Big Journey	1993年刊	21.5×16.0×5.8	50枚のリトグラフ (うち6点が見開き)	ギャルリー宮脇蔵
『モーターワークス版画集』 Mortorworks Etchings	1994年刊	26.5×20.0×4.5	21枚のエッチング	ギャルリー宮脇蔵
『人物と動物』 Personnages et Animaux	1996年刊	26.5×19.5×4.2	24枚のエッチング	ギャルリー宮脇蔵
『小さな肖像』 Small Portraits	1999年刊	26.5×19.5×4.2	10枚のエッチング	ギャルリー宮脇蔵

第II章 人間像～町の風景～私たちの暮らし The human figure - the townscape - our lives

2 顔 The human figure - the townscape - our lives

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
風景になった頭部 II Head in Landscape II	1995年	67.0×88.0	モノタイプ 紙	作家蔵	
風景になった頭部 IV Head in Landscape IV	1995年	67.0×88.0	モノタイプ 紙	作家蔵	
トーテム・ヘッド II Totemic Head II	1996年	88.0×67.0	モノタイプ 紙	作家蔵	
子ども The Child	1997年	67.0×88.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	第1回神奈川国際版画トリ エンナーレ入選、1998年
小さな耳の男 Man with Small Ears	1997年	66.2×88.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	第4回さつぽろ国際現代版 画ビエンナーレ・特別賞、 1997年
ハッピー・マン The Happy Man	1998年	67.0×88.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ミスター・アイブロー - 日の 出(第2ステート) Mr. Eyebrows - Sunrise (2nd state)	1999年	66.8×88.1	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ムーン・ボーイ Moon Boy	2002年	67.0×88.8	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
テクトニック・ヘッド Tectonic Head	2002年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	第1回北京国際版画ビエン ナーレ・泰和マスターピース 賞、2004年

3 都市と郊外と自動車 Cities, Suburbs and Cars

父と息子 Father and Son	1993年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	個人蔵	第5回国際現代造形コンク ール大阪トリエンナーレ版画・ 特別賞、1994年
都会の喫煙者 Urban Smoker	1993年	42.5×44.5	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	個人蔵	
嫉妬と無邪気 Envy and Innocence	1997年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	第8回国際現代造形コンク ール大阪トリエンナーレ版画・ 特別賞、1997年
自動車のカオス Car Chaos	1993年	70.0×54.5	リトグラフ 紙	個人蔵	
オート・ポトレート(自動 車像) Auto Portrait	1994年	67.4×88.6	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
バスの停留所 Bus Stop	1994年	42.8×44.7	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	個人蔵	
駐車場 The Car Park	1994年	89.0×201.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	オーストラリア・フリマントル 版画賞、1994年
ワイルド・ライド Wild Ride	2004年	46.0×68.0	リトグラフ 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ブルースのユート Bruce's Ute	2004年	15.8×22.8	油彩 板	ギャルリー宮脇蔵	
ヤング・ドライバー The Young Driver	2004年	15.8×22.8	油彩 板	ギャルリー宮脇蔵	
車で待つ犬 Dog Waiting in a Car	1998年	37.9×45.5	油彩 カンヴァス	ギャルリー宮脇蔵	
アーバノロジー II(都会の ありさま) Urbanology II	1995年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	

作品名	制作年	寸法(cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
サブアーバノロジー (郊外のありさま) Suburbanology	1995年	44.5×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	タペストリーに再制作され、 メルボルン市庁舎に展示、 1995年
アーバン・バード Urban Bird	1994年	43.0×44.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ハイウェイ・バード (小) Highway Bird (Small)	1995年	43.8×44.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ハイウェイ・バード (大) Highway Bird (Large)	1995年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
郊外に住む母と子 Mother and Child in Suburbia	1997年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
町の眺め City View	2004年	91.0×116.6	油彩 カンヴァス	作家蔵	
住まい Abode	2004年	31.9×41.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
静かな郊外 Tranquil Suburb	2004年	91.0×116.6	油彩 カンヴァス	作家蔵	
田舎ぐらし Country Life	1995年	45.7×44.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
家路につく農夫 Farmer Returning Home	1995年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
家路 Almost Home	1995年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
星降る夜 Starry Night	2005年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	

4 アサンブラージュとアール・ブリュットの作用 Assemblage and the influence of Art Brut

イド・モンスター Id Monster	1992年	45.0×49.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	個人蔵	
オーストラリトピテクス人 Australithopitheque Man	1993年	76.0×56.0	リトグラフ 紙	ギャルリー宮脇蔵	
鍼灸男 Acupuncture Man	1993年	73.0×55.5	リトグラフ 紙	個人蔵	
裸で走る男 Naked Man Running	1995年	40.5×35.2	油彩 カンヴァス	個人蔵	
知りたがり屋 The Curious One	1996年	44.0×60.0	アクアティント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ミスター・マーヴェラス Mr. Marvellous	1996年	44.0×60.0	アクアティント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ミスター・ワンダフル Mr. Wonderful	2007年	76.0×114.0	アクアティント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
雨の中の子ども Child in the Rain	1997年	44.0×59.3	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
走るハート Running Heart	1998年	18.0×28.0	木版 紙	ギャルリー宮脇蔵	
曲馬師 IV Equestrian IV	1998年	44.0×59.7	モノタイプ 紙	作家蔵	
立っている曲馬師 Standing Equestrian	1998年	44.0×59.7	モノタイプ 紙	作家蔵	
スタイリッシュ・レディ The Stylish Lady	2017年	88.0×30.0×4.0	アサンブラージュ (木、鉄、ほか)	作家蔵	
ジェントル・ボーイ The Gentle Boy	2018年	71.0×46.0×3.0	アサンブラージュ (着色した金属、ほか)	作家蔵	

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
ブルー・ミャオ Blue Meow	2018年	97.0×119.0×4.0	アサンブラージュ (着色した木、鉄、ゴム)	作家蔵	
オレンジ・ドッグ (ハアハア 喘ぐ) The Orange Dog (Pant)	2018年	103.0×114.0×5.0	アサンブラージュ (着色した木、鉄、ほか)	作家蔵	

5 海と空と家と Sea, Sky and Home

海に降る雨 Rain at Sea	1993年	49.0×65.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
方舟 Ark	2015年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	ギャルリー宮脇蔵	
訪問者 The Visitor	1993年	49.5×64.5	エッチング、アクアティント、 ドライポイント、リノカット 紙	個人蔵	
屋根の上の怪物 Roof Monster	1993年	64.0×92.3	木版 紙	ギャルリー宮脇蔵	
丘の上の家 House on the Hill	1999年	15.8×22.8	油彩 板	ギャルリー宮脇蔵	
地球の夜 Night on Earth	2006年	67.0×88.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	韓国ドゥサン・アートセンター・ 国際版画フェア・招待、 2006年
ピナクル (尖塔) Pinnacle	2016年	61.0×24.0	リトグラフ 紙	作家蔵	
たくさんの窓のある家 The House on Many Windows	2021年	137.0×153.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	

6 愛の家 The House of Love

愛の家 (大) The House of Love (Large)	2016年	51.0×69.0×16.0	ブロンズ	作家蔵	
愛の家 (小) The House of Love (small)	2019年	21.5×17.5×9.5	ブロンズ	作家蔵	
ホーム・オブ・ラヴ The Home of Love	2022年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	作家蔵	

第三章 オーストラリアの大自然 (動物たちと鳥たちの大陸) Australian nature (Animalia and the Avian Continent)

7 人と鳥と昆虫と Man, Birds and Insects

贈りもの The Offering	1997年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
手をふる少女 Girl Waving	1997年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
座る女性 Seated Woman	1997年	44.0×59.3	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
手をふる少年 Boy Waving	1998年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
くしをもつ少年 Child with a Comb	1998年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ヤング・フィッシャーマン Young Fisherman	2001年	43.8×59.3	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
少女 Girl	2007年	38.5×56.5	水彩 紙	作家蔵	

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
少年 Boy	2007年	38.5×56.5	水彩 紙	作家蔵	
花をもつレディ Lady Holding a Flower	1999年	56.0×76.0	油彩 板	ギャラリー宮脇蔵	
手をふる子ども(青の長袖) Waving Child (Blue Jumper)	2020年	15.0×30.0	油彩 板	作家蔵	
子ども The Child	2006年	56.0×57.0×16.0	ブロンズ	作家蔵	
花をもつ少女 Girl with Flowers	2018年	22.0×37.0×12.0	ブロンズ	作家蔵	
ささやかなよろこび Small Pleasures	2019年	22.0×46.0×7.0	ブロンズ	作家蔵	
リトル・マン(第2ステート) The Little Man (2nd State)	2020年	31.5×27.0×7.0	ブロンズ	作家蔵	
太ったカナリア Fat Canary	1998年	56.0×76.0	油彩 カンヴァス	ギャラリー宮脇蔵	
カモフラージュした鳥 Camouflaged Bird	1998年	44.0×59.7	モノタイプ 紙	作家蔵	
マウンテン・バード Mountain Bird	2000年	66.8×88.3	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャラリー宮脇蔵	
月のマウンテン・バード Lunar Mountain Bird	2000年	67.0×88.5	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャラリー宮脇蔵	
闇夜の赤い鳥 Red Bird of the Night	2000年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャラリー宮脇蔵	
バランス The Balance	2002年	68.0×48.2	リトグラフ 紙	個人蔵	
雨に唄う大きな鳥 Giant Bird Singing in the Rain	2002年	49.5×70.2	リトグラフ 紙	個人蔵	
蛾を見る鳥 Bird Watching Moth	2010年	45.0×53.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
黒いオウムとてんとう虫 Black Parrot with Ladybird	2011年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	ギャラリー宮脇蔵	
ほほ笑むオウム Smiling Parrot	2014年	46.0×68.0	リトグラフ 紙	ギャラリー宮脇蔵	
黒いカナリア Black Canary	2015年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	ギャラリー宮脇蔵	
青い鳥 Blue Bird	2015年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	個人蔵	
オウムとてんとう虫の家族 Parrot with Ladybird Family	2016年	68.0×48.0	リトグラフ 紙	ギャラリー宮脇蔵	
ラブバード(つがいの鳥) Love Birds	2022年	30.0×61.0	油彩 板	作家蔵	
てんとう虫のいる大きなサ ボテン Large Cactus with Ladybirds	2010年	45.0×53.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
まだらのあるサボテン Speckled Cactus	2010年	45.0×53.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
てんとう虫の木のぼり Climbing Ladybird	2012年	22.5×20.0	油彩 板	作家蔵	
てんとう虫の風景 Ladybird Landscape	2018年	122.0×183.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
バッタの山 Grasshopper Mountain	2018年	122.0×183.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	

8 生命の光〜イリュミネーション Light of Life - Illumination

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
サン・フェイス(丸) Sun Face (Round)	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	ギャルリー宮脇蔵	
サン・フェイス(四角) Sun Face (Square)	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	作家蔵	
空たかく飛ぶ鳥 Soaring Bird	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	個人蔵	
鳥の親子 Adult Bird and Chick	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	作家蔵	
長い犬 Long Dog	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	ギャルリー宮脇蔵	
犬のいる形のない風景 Amorphous Landscape with Dog	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	作家蔵	
飛行機を見るカメ Turtle Watching Plane	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	作家蔵	
カメたちのいる川 River with Turtles	2007年	46.0×61.0	水彩 紙	作家蔵	
カメたちの旅 Journey of the Turtles	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	作家蔵	

9 実在と架空の動物たち Animals Real and Imagined

マダラ模様のネコ Spotted Cat	1998年	67.0×89.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
まっすぐな尻尾をもつネコ Cat with a Straight Tail	1998年	36.0×36.0	油彩 カンヴァス	個人蔵	
ネコ Cat	2004年	46.0×68.0	リトグラフ 紙	ギャルリー宮脇蔵	第6回高知国際版画トリエンナーレ、2005年
ネコ Cat	2006年	44.0×59.5	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	個人蔵	
ムーン・ドッグ Moon Dog	1998年	66.7×88.2	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	
ブッシュ・ドッグ Bush Dog	1998年	44.0×59.7	モノタイプ 紙	作家蔵	
赤鼻をもつ動物 Animal with Red Nose	1999年	20.0×45.0	木版 紙	ギャルリー宮脇蔵	
星空の下を歩く犬 Dog Walking under the Stars	1999年	57.0×76.0	油彩 カンヴァス	ギャルリー宮脇蔵	
犬のいる黄色い風景 Yellow Landscape with Dog	2001年	37.9×45.5	油彩 カンヴァス	作家蔵	
でぶつちよ犬と鳥 Obese Dog with Bird	2001年	30.2×44.7	木版 紙	個人蔵	
うろつきまわる犬 Prowling Dog	2012年	15.5×19.5	油彩 板	作家蔵	
ヘラジカの道 The Path of the Moose	1999年	44.0×59.7	モノタイプ 紙	作家蔵	
家に帰る牛 Cow Returning Home	1999年	44.0×59.7	モノタイプ 紙	作家蔵	
ハリモグラ Echidna	1998年	76.0×113.0	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャルリー宮脇蔵	

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
夜の風景とハリモグラ Nocturnal Landscape with Echidna	2007年	44.0×59.5	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	作家蔵	
ハリモグラとアリ Echidna with Ant	2007年	70.0×90.0	水彩 紙	作家蔵	
ハリモグラとアリ Echidna with Ant	2017年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	作家蔵	
アンテナの上の鳥 Bird on TV Antenna	1999年	37.9×45.5	油彩 カンヴァス	作家蔵	
ひと休みするドーデー Resting Dodo	1999年	37.9×45.5	油彩 カンヴァス	ギャラリー宮脇蔵	
ジャイアント・トゥーカン Giant Toucan	2000年	44.0×59.3	エッチング、アクアティント、 ドライポイント 紙	ギャラリー宮脇蔵	
黄色いトキとハチ Yellow Ibis with Bee	2002年	46.0×68.0	リトグラフ 紙	個人蔵	
小さなハイタカ Small Sparrow Hawk	2009年	45.0×53.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
得意気な鸕 The Proud Cormorant	2010年	53.0×45.0	油彩 カンヴァス	ギャラリー宮脇蔵	
おとなしいペンギン Passive Penguin	2010年	45.0×53.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
ミミズクの子 Owlet	2011年	45.0×53.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
ミミズク Cat Owl	2012年	20.5×25.0	油彩 板	作家蔵	
夜のミミズク Night Owl	2013年	75.0×106.0	木炭 紙	作家蔵	
アンテナに留まるカササギ フエガラス (西) Perching Magpie on Antenna (West)	2015年	30.0×30.0	油彩 板	作家蔵	
月を見るカササギフエガ ラス Magpie Watching the Moon	2016年	100.0×100.0	油彩 板	作家蔵	
アンテナに留まるカササ ギフエガラス Magpie on TV Antenna	2018年	48.0×68.0	リトグラフ 紙	作家蔵	
夜のワライカワセミ Nocturnal Kooka	2012年	20.5×25.0	油彩 板	ギャラリー宮脇蔵	
まだら模様のワライカワセミ Speckled Kooka	2013年	21.0×23.5	油彩 板	作家蔵	
ワライカワセミ (大) Smiling Kookaburra (Large)	2021年	109.0×118.0×43.0	ブロンズ	作家蔵	
ワライカワセミ (小) Smiling Kookaburra (Small)	2021年	58.0×62.0×23.0	ブロンズ	作家蔵	
ウォンバット (小) Wombat (Small)	2019年	32.0×63.0×26.0	ブロンズ	作家蔵	
ウォンバット (マケット) Wombat (Maquette)	2020年	12.5×14.0×9.5	ブロンズ	作家蔵	
コアラ Koala	2020年	27.0×16.0×20.0	ブロンズ	作家蔵	
ばくの頭にのるハリモグラ Echidna on my Head	2006年	72.0×26.0×20.0	ブロンズ	作家蔵	
ハリモグラと鳥 Echidna with Bird	2018年	17.0×22.0×10.0	ブロンズ	作家蔵	

作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・材質	所蔵者	国際コンクール受賞歴、パブリックアート委嘱 他
ハリモグラといたずら好き な鳥 Echidna with Playful Bird	2020年	20.0×48.0×13.0	ブロンズ	作家蔵	
ハリモグラの通り道 (ジェイ ドの森) Echidna Track (The Jade Forest)	2021年	122.0×183.0	油彩 カンヴァス	作家蔵	
ハリモグラと仲良しのワラ イカワセミ Echidna with Friendly Kookaburra	2022年	40.0×75.0×19.0	ブロンズ	作家蔵	
ハリモグラ Echidna	2013年	82.0×147.0×30.0	ブロンズ	作家蔵	

第Ⅳ章 オーストラリアの地平線のなかで

10 ランドスケープのなかの大型彫刻

美術館ロビー

花をもつレディ Lady with Flowers*	2011年	211.0×180.0×133.0	ブロンズ	ポイント・レオ・エステート 彫刻公園蔵
-------------------------------	-------	-------------------	------	------------------------

*当館では本作品の写真画像を原寸大に拡大して展示した。

Photograph:David Hannah

3-3 フリースペース

チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル

● 概要

様々な表現活動を行っている人や、あこがれを持っている人たちに、広く活動発表の場を提供し、未来へ羽ばたく徳島発のアーティストを発見・支援しようという事業。今回で15回目。近代美術館と二十一世紀館の共催。

「展示部門」と「パフォーマンス部門」の2部門で参加者を公募し、審査で受賞者が決定するコンクール。募集内容は、ジャンルを問わず、応募資格は、徳島県出身か在住であること。実績や年齢、国籍などは全て不問。

今回は「展示部門」に絵画、彫刻、工芸、写真など42組、「パフォーマンス部門」に音楽、ダンス、演芸など18組が参加した。また2024年3月に受賞者発表会を、5月には県南部で巡回展を実施した。

平成22(2010)年に始まり開催回数が15回を数え、アーティストの発掘と支援にも一定の成果を生んできたことから、この事業は今回で終了することとなった。来年度からは、コンクールだけではなく、アートに興味がある徳島の人たちの多様なニーズに対応した新たな発想の取り組みに生まれ変わる予定である。

1 フリースペース チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル

○「展示部門」

令和6(2024)年1月23日[火]-2月4日[日] 9:30-17:00

(1月29日[月]は休館。2月4日[日]は16:00まで)

徳島県立近代美術館展示室3(2F)

○「パフォーマンス部門」

令和6(2024)年1月28日[日] 9:45-16:40

※一組あたり15分 途中休憩をはさむ

徳島県立近代美術館ロビー(2F)

○「表彰式」

令和6(2024)年2月4日[日] 15:00-

徳島県立近代美術館講座室(3F)*関係者のみ

○「受賞者発表会」

展示部門:令和6(2024)年3月9日[土]、10日[日]

9:30-17:00(10日は16:30まで)

徳島県立近代美術館展示室3(2F)

パフォーマンス部門:令和6(2024)年3月10日[日]

13:30開場14:00開演(16:00終演)

● 観覧料

観覧無料、参加費無料

● 参加資格

・県出身者及び県内在住者、グループの場合は県出身者または在住者が含まれていること。

※年齢、経験は不問。

● 募集及び参加者数

(1) 募集期間 令和5(2023)年8月1日[火]-10月24日[火]
[必着]

(2) 参加者数

「展示部門」 42組:応募数85組 定員42組

「パフォーマンス部門」 17組(体調不良のため1組キャンセル):応募数30組 定員18組

※抽選(10月26日[木])により決定。

● 印刷物

募集要項:A3二つ折り 4ページ、A4挟み込み

チラシ:A4判 両面

プログラム(出品者・出演者紹介):A3二つ折り 8ページ

出品・上演リスト:A4 6ページ

発表会チラシ:A3二つ折り 4ページ

発表会出品・上演リスト:A4 2ページ

● 入場者数

2,506名、受賞者発表会404名

● 審査

(1) 審査方法(展示部門・パフォーマンス部門共通)

一次審査:各委員が個別に項目別に加点式に評価。

二次審査:二次審査はポイントの結果の上位者を対象に投票、及び審査員の合議制。

(2) 審査項目

「チャレンジ度」

作品から読み取れる、挑戦の度合い。その基準は審査委員に委ね、授賞理由として明文化。

各出品者または出演者に対し、1から10ポイント。小数点一位まで採点可能。

「表現力」「将来性」「個々の審査員による独自の観点」

各出品者または出演者に対し、各号について1から5ポイント。小数点一位まで採点可能。

(3) 賞の種類

「グランプリ」 部門ごとに 各1組

「準グランプリ」 部門ごとに 各1組

「チャレンジ奨励賞」 展示部門は3組まで、パフォーマンス部門は2組まで 該当者のある場合のみ。

将来性・チャレンジ精神において特に優れていると認められるもの。

「MIP(モーストインプレッシブプレイヤー)賞」 部門ごとに

各1組 該当者のある場合のみ。最も印象に残ったと認められるもの。

(4) 副賞(展示部門・パフォーマンス部門共通)

「グランプリ」〈各部門につき1組〉

①受賞者発表会(3月)への参加

②無料招待券:美術館主催の有料事業に限る。有効期間1年間。年間5回まで。

「準グランプリ」〈各部門につき1組〉

①受賞者発表会(3月)への参加

②無料招待券:美術館主催の有料事業に限る。有効期間1年間。年間5回まで。

「チャレンジ奨励賞/MIP(モーストインプレッシブプレイヤー)賞」

①受賞者発表会(3月)への参加

②無料招待券:美術館主催の有料事業に限る。有効期間1年間。年間3回まで。

(5) 審査員(順不同・敬称略)

○展示部門

島尾 竜介(近代美術館長)*審査委員長

内藤 隆(鳴門教育大学教授)

佐原 理(徳島大学准教授)

丸中登紀子(フランス語講師・翻訳通訳者)

竹内 利夫(近代美術館上席学芸員)

○パフォーマンス部門

新居美佐子(文化の森振興センター所長・二十一世紀館長)*審査委員長

森 恵子(公益財団法人 阿波人形浄瑠璃振興会 会長)

カタタチサト(ダンサー・演出家)

橋本 真味(徳島新聞社事業局 事業部)

丸山 貴成(スタジオソル代表)

● 受賞者・受賞作品

○展示部門

【グランプリ】

yoyoru(絵画)

[受賞理由]

一点ごとの作品の密度が高く、100点の作品を一堂に展示したチャレンジ精神と仕事量に圧倒された。作品数は多いが全体的なまとまりがあり、絵本のような物語性を感じさせる。見ていて楽しく、その世界に引き込まれた。見る人に作品タイトルを考えさせるなど、観覧者と共に作り上げようとする工夫も光る。これからの展開を大いに期待したい。

【準グランプリ】

山田百合愛(絵画)

[受賞理由]

擬人化された動物たちという舞台設定が面白く、一見楽しそうに見えるが、そこに社会的なメッセージ性が込められている。作品のクオリティも高く、夜空を見上げるように、高めの位置に展示した点にも工夫が見られる。自分が表現したい世界を描き切ろうという意気込みが伝わってきた。さらなる成長を目指して、制作を継続していくことを期待したい。

【チャレンジ奨励賞】

笠原あろは(自由創作)

[受賞理由]

中学生の自分自身とカラスを重ね、作品をつくることで自分をみつめている。模索しながら、造形を通じて生き物の生命観をしっかりと表現しようとしていることが伝わってくる。また、テンプルの色の反射がカラスの羽の色にも効果を与えている。自分の描き方を大切にして、自分に見えている世界を、作品を通じてこれからもっと見せてもらいたい。

【チャレンジ奨励賞】

SHOTA ISAWA(現代アート)

[受賞理由]

白と黒のコントラストが深刻な社会問題を明確に表現しており、ハートに向かう赤い糸は、その問題の方向性を示している。赤い糸の張り具合は、社会問題をめぐる緊張感を思わせ、壁面を広く使った展示構成も印象的である。シンプルな構成でメッセージがよく伝わってくる。これからも表現の幅をさらに広げていくことを期待したい。

【チャレンジ奨励賞】

ぴらぴた(漫画、イラスト)

[受賞理由]

壁面に展示した漫画であるが、見る者にしっかりと読ませる力があり、悩みが伝わってきた。ペンギンのキャラクターも魅力的で、作者の人間性を感じさせる。作品名の「うつむいて歩こう」に救われる人や、共感し勇気や希望をもらう人もいるだろう。チャレンジすることだけがいいのではなく、自分を肯定し、自分らしくいることの大切さを教えてくれた。

【MIP賞】

ひかる(絵画)

[受賞理由]

触れてはいけない内面の生々しく直接的な感情に触れてしまったようなインパクトと魅力を感じる。技法にもモチーフにも、既製の枠を感じさせない独学の良さがある。表現したいことを自分で探し、自分のフィルターを通して描いた世界は魅力的である。迷いながらもチャレンジを楽しんでいるように感じられる。今後もぜひ描き続けてもらいたい。

○パフォーマンス部門

【グランプリ】

山口和也(ダンスパフォーマンス《一人芝居含む》)

[受賞理由]

これまでこの芸術祭で挑戦してきた一人芝居、歌、ダンスの集大成であり、オーソックスだが強弱のある構成が、観客を物語の世界にスムーズに引き込んだ。独学で取り組んできた努力が、自分にしか出せない味わいのある表現力につながり、独特の世界観を生み出した。チャレンジとくしま芸術祭のファイナルにふさわしいパフォーマンスだった。

【準グランプリ】

Shota(ジャグリング、けん玉、ダンス)

[受賞理由]

身体全体を上手く使ったジャグリングであり、音楽とのあわせ方もダンスのように絶妙で、格好良さを感じた。観客にアピールするポイントを押さえて、会場を沸かせるエンターテインメント性もあり、センスの良さを感じる。これからも、さらに技術の向上や表現力の追求につとめ、大きな花を咲かすことを期待したい。

【チャレンジ奨励賞】

劇団まんまる(演劇)

[受賞理由]

タイトルの「いま。」にふさわしく、世の中で現在進行中の重大な事柄を取り上げた。この後どうなり、私たちはどうすればよいのかと、観客の気持ちを揺さぶり、リアルな感情を呼び起こした。絶妙なキャラクター設定やさりげない笑いの要素も光っていた。扱いの難しい時事ネタに短期間でチャレンジし、脚本も演技も上手くまとめあげた力量を評価する。

【チャレンジ奨励賞】

枝川詩音(サーカスパフォーマンス)

[受賞理由]

構成に安定感があり、コミカルな要素も取り入れた見せ方で、観客を引き込むパフォーマンスとなっていた。自分が作り上げ

たい世界観を持っていることが感じられるので、それを目指して、これからも技術力や構成力を追求し、レベルアップに努めて欲しい。

【MIP賞】

伊井ひとみ(舞踏)

[受賞理由]

独学であり、未熟なところもあるが、自分の表現したいことに真正面からぶつかっていくパワーを感じさせた。このチャレンジによって、自分を変えたいという強い気持ちが伝わった。年齢も経験も不問で、やりたい気持ちがあれば参加出来るという、この芸術祭ならではの挑戦者である。今回の受賞をきっかけにどのように成長していくのか楽しみにしたい。

● 受賞者発表会 出品・出演一覧

○展示部門

・グランプリ

yoyoru

〈星をつなぐ〉 2019-24年 アクリル画

・準グランプリ

山田百合愛

〈海底の忘れもの〉 2024年 アクリル絵具、コピック 板

〈創造世界〉 2023年 モノクロアート ボールペン、えんぴつ

〈Ma - jin・Pu - jin〉 2024年 アクリル絵具、コピック 板

〈You and me way of life CIRCUS〉 2023-24年 アクリル絵具、ボールペン ケント紙

・チャレンジ奨励賞

笠原あろは

〈ねこ〉 2024年 ねんど

SHOTA ISAWA

〈一生の後悔〉 2024年 アクリル画 + 刺繍

びらびた

〈「UTSUMUITE ARUKOU」とは?①〉 2023年 コンピューターグラフィックス／〈「UTSUMUITE ARUKOU」とは?②〉

2023年 コンピューターグラフィックス／〈記憶のフィルム〉

2023年 コンピューターグラフィックス／〈小さな別れ〉 2024年

コンピューターグラフィックス／〈ちょっとじゃなくなる〉 2024年

コンピューターグラフィックス／〈光の中のアドバルーン〉 2023

年 コンピューターグラフィックス／〈憧れハイ〉 2024年 コ

ンピューターグラフィックス／〈大丈夫、大丈夫、バナナミルク〉
2024年 コンピューターグラフィックス／〈ギタリスト・きょうめちゃん〉(オリエンタルブルー) 2024年 プラバン レジン／〈ギタリスト・きょうめちゃん〉(インディゴブルー) 2023年 プラバン レジン／〈ベースリスト・きょうめちゃん〉 2023年 プラバン レジン／〈ハーミット・きょうめちゃん〉 2024年 プラバン レジン／〈パティシエール・きょうめちゃん〉 2023年 プラバン レジン／〈アドベンチャー・きょうめちゃん〉 2023年 プラバン レジン

・MIP賞

ひかる

〈無題〉 2018年 鉛筆、色鉛筆、絵の具／〈私の全て〉
2020年 色鉛筆／〈おにやんま〉 2019年 ボールペン、
色鉛筆／〈掬えない〉 2020年 鉛筆、絵の具／〈食べた
物〉 2023年 クレヨン、絵の具 紐 紙粘土／〈吐いた
物〉 2023年 クレヨン、絵の具 紐／〈それから〉 2024
年 絵の具、ボンド、ポスカ、クレヨン／〈眞珠〉 2024年 絵
の具、ガラスビーズメディウム／〈柔〉 2021年 色鉛筆、クレ
ヨン、絵の具 紙粘土、和紙折紙、手芸用品／〈かくれんぼ〉
2018年 色鉛筆、アクリルガッシュ、クレヨン、鉛筆 消しゴム
はんこ 画用紙／〈透明人間 -その後-〉 2023年 絵
の具／〈泥濘〉 2023年 絵の具、油性ペン

○パフォーマンス部門

・グランプリ

山口和也

〈孤高のステージ〉 曲:Never Enough

・準グランプリ

Shota

コンタクトジャグリング・糸なしけん玉

・チャレンジ奨励賞

劇団まんまる

演劇 〈いま〉

脚本・演出:丸山裕介／出演:清水宏香、海月理奈、丸山
裕介／音響:上野晋作

枝川詩音

サーカスパフォーマンス

・MIP賞

伊井ひとみ

ムービング 東京巡礼歌

2 フリースペース チャレンジとくしま芸術祭2024ザ・ファイナル 県内巡回展

阿南市文化会館夢ホール

○[展示部門] 会期:令和6(2024)年4月20日[土]-4月27日[土]

*24日[水]休館、10:00-16:30 研修室(2F) 参加25組

○[パフォーマンス部門] 4月27日[土] 13:00-16:00、ホワイエ(1Fロビー) 参加9組

● 主催

阿南市文化会館、一般社団法人徳島新聞社／共催:徳島県立近代美術館、徳島県立二十一世紀館

● 入場者数

展示部門 241名、パフォーマンス部門 70名

● 印刷物

チラシ:A4判片面 出品・出演者リスト B4判二つ折り、A4判 片面

● 効果

平成22年に始まったこの事業は、平成23年度からは二十一世紀館との共催となって、受賞者発表会の開催も始め、また10回目を迎えた平成30年度からは、「県内巡回」を阿南市などで実施してきた。令和元年度の新型コロナウイルス感染症の拡大により受賞者発表会や巡回展の一部で中止となった時期もあったものの、本番については継続して開催してきた。

他県などの類似の芸術祭と比べると、応募資格や表現内容の制限が少ないために、プロを含む幅広い層からの参加者があり、表現内容もジャンルにこだわらないバラエティに富んだものとなっており、他にはほとんど例を見ない独自の芸術祭として定着してきた。

今回の応募者数は過去最高の115組を数えた。新型コロナウイルス感染症が第5類となったことや、今回が最終回であったことなども影響していると考えられる。最終回であることを知って久しぶりに応募された人や、終了を惜しむ声も多く寄せられた。

今回の受賞者の顔ぶれを見ると、独学の人も多く、チャレンジとくしま芸術祭ならではの顔ぶれになった。継続して応募するリピータも増え、参加者の中からは、プロとして活動を始めた人や、表現活動を継続して実績を上げている人も増えてきており、一定の成果を上げることが出来たと考えられる。来年度からは、新たな発想で、コンクールだけではなく、アートに興味がある徳島の人たちの多様なニーズに対応し、美術、アートの愛好者の裾野をさらに広げることを目的として、未来に向けた新企画へと生まれ変わることにしている。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

「徳島発のアーティスト発掘に成果 チャレンジ芸術祭 本年度で一区切り 15回目 10月24日まで募集」『徳島新聞』令和5年8月17日

「ニュース」NHK徳島放送局 令和6年1月(随時)

「Station×station 湯浅暎子のNow On Wave～」エフエム徳島 令和6年1月15日

「B-STEP TALKING」エフエムびざん 令和6年1月18日

「INTERVIEW フリースペース チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル」『タウトク』誌 令和6年1月号

「フォーカス徳島」(展示部門)四国放送 令和6年1月23日

「情報番組ステップ」テレビとくしま 令和6年1月24日

「チャレンジ芸術祭ザ・ファイナル 個性豊か 力作並ぶ」『徳島新聞』 令和6年1月24日

「チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル 展示部門」

日本中央テレビ 令和6年2月18、22、27日

「チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル パフォーマンス部門」日本中央テレビ 令和6年2月28、29、3月3日、4日

「ニュース」四国放送 令和6年1月28日

「フォーカス徳島」(パフォーマンス部門)四国放送 令和6年1月29日

「フォーカス徳島」(パフォーマンス部門)四国放送 令和6年1月29日

徳島県広報テレビ番組「旬感!あわだより」四国放送ほか 令和6年3月22日ほか

「情報番組ステップ」テレビとくしま 令和6年3月8日

「チャレンジ芸術祭 絵画や演劇 入賞者発表 来場者ら終了惜しむ」『徳島新聞』 令和6年3月11日

● 担当学芸員

友井伸一、久米千裕、飯田恵実、笠井優、浅田真珠



展示部門グランプリ yoyoru



パフォーマンス部門グランプリ 山口和也

4

普及事業

美術の鑑賞につながることを最大のテーマとして、講座やワークショップを行っている。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、感染対策は個人・事業者の判断が基本となった。一定の感染対策は継続しながら、事業を行った。

4-1 美術館教育

1 所蔵作品展に関連した催し

鑑賞者と展覧会を結ぶために、各展覧会担当者が中心となって催しを企画している。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
(1) 所蔵作品展 2023年度Ⅰ「人のよそおい」				
1 令和5年5月3日〔水・祝〕 14:00-14:45	展示解説「人のよそおい」	久米千裕(学芸員)	22人	展示室1、2
2 令和5年7月8日〔土〕 13:30-16:00	ワークショップ「しんぶんてへんしん」	近代美術館スタッフ	12人	展示室1 ギャラリー、ロビー
3 令和5年7月9日〔日〕 14:00-14:45	展示解説「人のよそおい」	久米千裕(学芸員)	7人	展示室1、2
(2) 所蔵作品展 2023年度Ⅱ「祈りと幻想」				
4 令和5年8月11日〔金・祝〕 11:00-11:20	展覧会ミニツアー1 2023年度Ⅱ 「祈りと幻想」	三宅翔士(主任)	3人	展示室1、2
5 令和5年8月11日〔金・祝〕 14:40-15:00	展覧会ミニツアー2 2023年度Ⅱ 「祈りと幻想」	三宅翔士(主任)	12人	展示室1、2
6 令和5年11月3日〔金・祝〕 11:00-11:20	展覧会ミニツアー3 2023年度Ⅱ 「祈りと幻想」	三宅翔士(主任)	7人	展示室1、2
7 令和5年11月3日〔金・祝〕 14:40-15:00	展覧会ミニツアー4 2023年度Ⅱ 「祈りと幻想」	三宅翔士(主任)	2人	展示室1、2
8 令和5年11月12日〔日〕 14:00-15:00	学芸員によるスライドトーク	三宅翔士(主任)	10人	美術館講座室
(3) 所蔵作品展 2023年度Ⅲ「物語をさがしに」				
9 令和5年12月3日〔日〕 14:00-14:45	学芸員による展示解説「物語をさがしに」	宮崎晴子(主任学芸員)	6人	展示室1、2
10 令和6年2月3日〔土〕 14:00-14:30	ゆるゆるおしゃべり鑑賞会	近代美術館スタッフ	5人	展示室1、2
11 令和6年2月10日〔土〕 14:00-14:45	学芸員による展示解説「物語をさがしに」	宮崎晴子(主任学芸員)	1人	展示室1、2
12 令和6年2月11日〔日・祝〕 11:00-11:30	ものがたりツアー	近代美術館スタッフ	22人	展示室1、2
13 令和6年2月11日〔日・祝〕 15:00-15:30	ものがたりツアー	近代美術館スタッフ	19人	展示室1、2
				合計 128人

2 特別展に関連した催し

鑑賞者と展覧会を結ぶために、各展覧会担当者が中心となって催しを企画している。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
(1)境界をこえる				
1 令和5年5月7日[日] 14:00-15:00	学芸員による展示解説「境界をこえる」	宮崎晴子(主任学芸員)	21人	展示室3
2 令和5年5月21日[日] 14:00-16:00	作家とつながるトーク1「河合美和 自然と自分のあいだ」	ゲスト:河合美和(作家) 聞き手:宮崎晴子(主任学芸員)	19人	美術館ロビー 展示室3
3 令和5年6月4日[日] 10:00-11:30	手話通訳付き展示解説「境界をこえる」	宮崎晴子(主任学芸員)	8人	展示室3
4 令和5年6月4日[日] 14:00-15:00	学芸員による展示解説「境界をこえる」	宮崎晴子(主任学芸員)	9人	展示室3
5 令和5年6月11日[日] 14:00-15:30	作家とつながるトーク2「林勇気 像と映像」	ゲスト:林勇気(作家) 聞き手:宮崎晴子(主任学芸員)	15人	美術館ロビー 展示室3
(2)イロのひみつーなにいろに見る?				
6 令和5年7月16日[日] 14:00-16:00	交流トーク「美術館でミーティング色んなキャラがあつていい」	進行:美術館スタッフ 特別ゲスト:徳島県立徳島科学技術高等学校 SSH 課題研究デザセン班の皆さん	20人	展示室3
7 令和5年7月17日[月・祝] 14:00-15:00	展覧会ツアー	竹内利夫(上席学芸員)	8人	展示室3
8 令和5年7月23日[日] 13:30-16:00	セミナーと相談アワー「子どもの色覚バリエーションと美術」	伊賀星史[カラーユニバーサルデザイン機構、CUDコンサルタント]	38人	美術館ギャラリー
9 令和5年8月6日[日] 14:00-16:00	物語ワークショップ「その色の名を」	仙石桂子(四国学院大学准教授・即興演劇シーズンズ、劇団オムツかぶれ主宰)	16人	展示室3
10 令和5年8月13日[日] 14:00-15:00	展覧会ツアー	竹内利夫(上席学芸員)	19人	展示室3
11 令和5年8月20日[日] 14:00-16:30	あの手この手で交流トーク	ナビゲーター:聞こえない鑑賞人、見えない鑑賞人(アートイベントサポーター)	31人	展示室3
12 令和5年8月27日[日] 14:00-16:00	おしゃべり鑑賞アワー「色の名前を忘れてアートに出会う」	伊賀公一[カラーユニバーサルデザイン機構副理事長、阿波グローバルネットワーク、近代美術館スタッフ]	33人	展示室3
13 令和5年9月3日[日] 14:00-16:30	音楽と色彩のワークショップ	高木夏奈子[植草学園大学(千葉県)]	24人	展示室3
(3)ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち				
14 令和5年9月23日[土・祝] 14:00-15:00	学芸員の見どころ解説「ディーン・ボーエン展」	友井伸一(課長)	34人	展示室3
15 令和5年9月30日[土] 10:00-15:00	土曜ワークショップ「ディーン・ボーエン探検隊」①	徳島大学環境防災センター、近代美術館スタッフ	13人	展示室3
16 令和5年10月21日[土] 10:00-15:00	土曜ワークショップ「ディーン・ボーエン探検隊」②	徳島大学環境防災センター、近代美術館スタッフ	9人	展示室3
17 令和5年10月29日[日] 14:00-15:00	学芸員の見どころ解説「ディーン・ボーエン展」	友井伸一(課長)	31人	展示室3
18 令和5年11月19日[日] 10:00-11:30	手話通訳付き展示解説「ディーン・ボーエン展」	友井伸一(課長)	13人	展示室3
19 令和5年11月19日[日] 14:00-15:00	学芸員の見どころ解説「ディーン・ボーエン展」	友井伸一(課長)	14人	展示室3
20 令和5年11月25日[土] 10:00-15:00	スペシャル・ワークショップ「集めてつくろう! ~ ディーン・ボーエンさんと一緒に ~」	ディーン・ボーエン(作家)、近代美術館スタッフ	19人	展示室3
				合計 394人

3 レクチャー、ワークショップ

様々なテーマで行う講座。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和6年3月16日[土] 14:00-15:30	美術館講座「徳島の作家に気づかされたこと－伊原宇三郎と山下菊二」	江川佳秀(主席)	23人	美術館講座室
2 令和6年3月17日[日] 13:00-15:30	半分彫刻ワークショップ	近代美術館スタッフ	9人	アトリエ2
3 令和6年3月20日[水・祝] 14:00-15:30	美術館講座「徳島で生まれた水彩画・アマチュア写真の開拓者－三宅克己の生涯について」	森芳功(主席)	17人	美術館講座室
4 令和6年3月24日[日] 10:30-12:00	ヤッピーネの宝もの	近代美術館スタッフ	6人	展示室1、2
5 令和6年3月30日[土] 13:00-15:30	半分なんだ?粘土でつくろう	近代美術館スタッフ	11人	アトリエ2
				合計 66人



展示解説「人のよそおい」



作家とつながるトーク2「林勇気 像と映像」



スペシャル・ワークショップ
「集めてつくろう! ～ディーン・ポーエンさんと一緒に～」



美術館講座「徳島で生まれた水彩画・アマチュア写真の開拓者－三宅克己の生涯について」

4 とくしま近美 こども鑑賞クラブ 「君こそアートの名探偵」

講師との対話やクイズなどのメニューを通して、鑑賞の楽しさを体験する講座。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和5年6月3日[土] 14:00-14:45	クラブに集まれ	竹内利夫(上席学芸員)、 亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)、 久米千裕(学芸員)	児童 20人 保護者 8人	展示室3
2 令和5年7月1日[土] 14:00-14:45	なに着ていこう	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	児童 25人 保護者 4人	展示室1,2
3 令和5年8月5日[土] 14:00-14:45	心はなにいろ	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任学芸員)、 久米千裕(学芸員)	児童 17人 保護者 4人	展示室3
4 令和5年10月7日[土] 14:00-14:45	見えないちから	竹内利夫(上席学芸員)、 亀井幸子(主席)	児童 17人 保護者 2人	展示室1,2
5 令和5年11月18日[土] 14:00-14:45	コアラのまち	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	児童 14人 保護者 5人	展示室3
6 令和5年12月23日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞物語	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	児童 11人	展示室1,2
7 令和6年1月27日[土] 14:00-14:45	チャレンジ度100点	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	児童 13人 保護者 3人	展示室3
8 令和6年3月9日[土] 14:00-14:45	お絵かきすきすぎ	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	児童 12人 保護者 4人	展示室3
児童 129人、保護者 30人/合計 159人				

5 共催事業

文化の森6館による共催事業、外部団体とのコラボ企画。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和5年5月5日[金・祝] 09:30-16:00	こどもの日フェスティバル	近代美術館スタッフ	350人	美術館ロビー 展示室1,2
2 令和5年6月13日[火]-6 月16日[金] 09:30-20:00ほか	子どもたちと美術館をつなぐ「アートの日」 活動発表展	近代美術館スタッフ、 徳島県男性保育者会	341人	美術館ギャラリー
3 令和5年6月25日[日] 13:30-16:00	徳島県博物館協議会連携企画 博物館 アワカルト講座第1回 共通テーマ「技」 作品が長生きできるようにー保存・修復ー	飯田恵実(学芸員)ほか	17人	海陽町立博物館 (海部郡)
4 令和5年8月11日[金・祝] 09:30-16:00	文化の森 サマーフェスティバル	近代美術館スタッフ	476人	美術館ロビー 展示室1,2 アトリエ2
5 令和5年8月20日[日] 13:30-16:00	徳島県博物館協議会連携企画 博物館 アワカルト講座第2回 共通テーマ「水」 水を描く糸譜	宮崎晴子(主任学芸員)ほか	16人	徳島市立考古資 料館(徳島市)
6 令和5年10月22日[日] 13:30-16:00	徳島県博物館協議会連携企画 博物館 アワカルト講座第3回 共通テーマ「歩く」 奉安殿遺構を訪ねて	三宅翔士(主任)ほか	18人	美術館講座室
7 令和5年11月3日[金・祝] 09:30-16:00	文化の森 秋祭り	近代美術館スタッフ	348人	美術館ロビー 展示室1,2
8 令和6年2月11日[日・祝] 09:30-16:00	文化の森 ウインターフェスティバル	近代美術館スタッフ	449人	美術館ロビー 展示室1,2

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
9 令和6年2月18日[日] 13:30-16:00	徳島県博物館協議会連携企画 博物館 アワカルト講座第4回 共通テーマ「祈り」 祈りの彫刻	久米千裕(学芸員)ほか	12人	鳴門市ドイツ館 (鳴門市)
10 令和6年2月23日[金・祝] 10:00-12:00	コラボ企画 視覚障害者をつくる美術鑑賞 ワークショップ	「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワーク ショップ」代表・林建太・衛藤宏章[主催: ムギちゃん村実行委員会]	17人	展示室1、2
11 令和6年2月23日[金・祝] 14:00-16:00	コラボ企画 レシピ持ち寄り座談会	林建太・衛藤宏章・和田美砂子(視覚 障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)、 竹内利夫(上席学芸員)、亀井幸子(前・ 徳島県立近代美術館)[主催:ムギちゃん 村実行委員会]	27人	美術館講座室
12 令和6年2月24日[土] 10:00-12:00	コラボ企画 視覚障害者をつくる美術鑑賞 ワークショップ	「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワーク ショップ」代表・林建太・衛藤宏章[主催: ムギちゃん村実行委員会]	13人	展示室1、2
13 令和6年3月3日[日] 13:00-16:00	コラボ企画 極秘任務 ～怪盗からの挑戦 状～	N*CAP(鳴門教育大学子ども向け美 術ワークショップサークル)	15人	展示室1、2 アトリエ2
				合計 2,099人

6 関係機関による美術館利用

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和5年11月3日[金・祝] 12:55-16:30	第9回徳島県中学校総合文化祭ふれあい ワークショップ	桧垣健(竹灯り作家)	16人	講座室 アトリエ2
2 令和5年11月10日[金]- 11月12日[日] 09:30-17:00/ほか	第9回徳島県中学校総合文化祭美術作 品展	徳島県中学校文化連盟スタッフ	905人	美術館ギャラリー
				合計 921人

7 団体鑑賞(学校関係以外)での解説

団体名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
1 介護老人福祉施設 ヤマモモ荘有志	令和5年4月25日[火] 14:00-14:45	竹内利夫(上席学芸員)	所蔵作品展 2023年度Ⅰ「人 のよそおい」を鑑賞。	一般 13人
2 視覚障がい者有志	令和5年5月10日[水] 10:30-11:30	宮崎晴子(主任学芸員)	特別展「境界をこえる」を鑑 賞。	一般 1人
3 視覚障がい者有志	令和5年6月2日[金] 15:00-16:00	宮崎晴子(主任学芸員)	特別展「境界をこえる」を鑑 賞。	一般 2人
4 福祉セミナー有志	令和5年11月10日[金] 10:40-12:10	竹内利夫(上席学芸員)	所蔵作品展 2023年度Ⅱ「祈 りと幻想」、特別展「ディーン・ ポーエン展」を鑑賞。	一般 6人
				一般 22人/合計 22人

8 単独の団体鑑賞(学校関係以外)

団体名	開催日時	展覧会名	参加者
1 キッズステーションこばと	令和5年7月27日[木] 10:20-10:30	特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	幼児 9人 引率 3人
2 いつもここから	令和5年8月17日[木] 14:25-14:45	所蔵作品展2023年度Ⅱ期「祈りと幻想」と、特別展「イロの ひみつ」を鑑賞。	児童 3人 生徒 3人 引率 3人
3 ルキーナうだつ	令和5年9月7日[木] 13:20-13:30	所蔵作品展2023年度Ⅱ期「祈りと幻想」と、特別展「イロの ひみつ」を鑑賞。	一般 4人 引率 3人
4 徳島シーガルクリニック	令和5年10月6日[金] 10:45-11:10	所蔵作品展2023年度Ⅱ期「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ ポーエン展」を鑑賞。	一般 8人 引率 4人

団体名	開催日時	展覧会名	参加者
5 エトワール	令和5年10月9日[月・祝] 11:50-12:10	所蔵作品展2023年度Ⅱ期「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 4人 生徒 1人 引率 4人
6 障害者支援施設あゆみ園	令和5年12月1日[金] 10:20-10:45	特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	一般 5人 介助者 2人
7 障害者支援施設あゆみ園	令和5年12月1日[金] 14:30-15:12	特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	一般 5人 介助者 3人
8 医療法人医学生会宮内クリニック デイケア	令和5年12月6日[水] 11:00-11:30	特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	一般 6人 引率 1人
幼児 9人、児童 7人、生徒 4人、一般 28人、引率・介助者 23人/合計 71人			

9 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得のための博物館実習の受け入れを行った。

● 期間

令和5年8月28日[月]-令和5年9月1日[金]の5日間

● 学校名及び人数

徳島大学 1人
四国大学 4人
鳴門教育大学 4人
計 9人

● カリキュラム

	開催日	時間	内容	担当	参加者
1	令和5年8月28日[月]	09:00-10:30	ガイダンス、施設見学	友井伸一（課長）、笠井優（主任学芸員）	9人
2		10:30-12:00	講義:美術館業務について	友井伸一（課長）	
3		13:00-16:00	演習:美術館教育、学校教育との連携	友井伸一（課長）、笠井優（主任学芸員）	
4	令和5年8月29日[火]	09:00-12:00	講義:保存/災害対策	安達一樹（主席）、飯田恵実（学芸員）	
5		13:00-16:00	演習:作品取扱	森芳功（主席）、宮崎晴子（主任学芸員）	
6	令和5年8月30日[水]	09:00-12:00	演習:資料整理	江川佳秀（主席）、浅田真珠（学芸員）	
7		13:00-16:00	演習:二次資料整理	久米千裕（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	
8	令和5年8月31日[木]	09:00-12:00	演習:ユニバーサルミュージアム	竹内利夫（上席学芸員）	
9		13:00-16:00	演習:展示	友井伸一（課長）	
10	令和5年9月1日[金]	09:00-10:30	講義:収集	三宅翔士（主任）	
11		10:30-12:00	演習:グループワーク	笠井優（主任学芸員）	
12		13:00-16:00	演習:総括	友井伸一（課長）、森芳功（主席）、笠井優（主任学芸員）	
12:00-13:00昼休み　16:00-16:30事務連絡・レポート作成（担当:笠井）					

10 学芸員養成科目開講への協力

徳島県と徳島大学、鳴門教育大学、四国大学との間の協定にもとづき、学芸員資格の取得を希望する学生のために、科目開講に協力した。博物館職員を中心に大学教員、近代美術館・文書館職員が共同で講義を担当した。
(会場:博物館講座室)

	科目	テーマ	内容	担当	開催日時	参加者
1	博物館資料保存論	美術館における資料の保存と管理1	現状と課題1	飯田恵実(学芸員)	令和5年9月7日[木]	40人
2	博物館資料保存論	美術館における資料の保存と管理2	現状と課題2	飯田恵実(学芸員)	令和5年9月7日[木]	40人
3	博物館展示論	美術館展示の意義	歴史と課題	友井伸一(課長)	令和6年2月29日[木]	24人
4	博物館展示論	美術館展示の実際と課題	美術館の展示にかかわる諸要素の整理と紹介	竹内利夫(上席学芸員)	令和6年3月1日[金]	23人
5	博物館展示論	美術館展示の実際と展望1	所蔵作品展	宮崎晴子(主任学芸員)	令和6年3月1日[金]	24人
6	博物館展示論	美術館展示の実際と展望2	特別展	三宅翔士(主任)	令和6年3月1日[金]	24人
7	博物館展示論	美術館展示の実際と展望3	現代アートと美術館	久米千裕(学芸員)、浅田真珠(学芸員)	令和6年3月2日[土]	25人
8	博物館教育論	美術館と学校教育	学校教育との連携	笠井優(主任学芸員)	令和6年3月6日[水]	23人
9	博物館教育論	美術館教育	美術館教育事業の実際と展望	笠井優(主任学芸員)	令和6年3月6日[水]	24人
10	博物館教育論	ユニバーサルミュージアム	実際と展望	竹内利夫(上席学芸員)	令和6年3月8日[金]	24人
11	博物館教育論	地域連携	ボランティア、コラボ企画等	友井伸一(課長)	令和6年3月8日[金]	24人
						合計 295人

11 オンラインプログラム・デジタルコンテンツ

美術館教育では、様々な人を対象に体験的な催しを開催し、多様な学びの機会を提供しているが、コロナ禍をきっかけにオンラインプログラムの作成・発信を継続している。学芸員によるコンパクトな所蔵作品の解説「90秒の鑑賞タイム(1作品)」、視覚障がいの有無に関係なく、学芸員による作品解説をあえて音声のみで楽しんでもらう「絵のない鑑賞タイム(3作品)」を新たに作成した。

(1) 90秒の鑑賞タイム

・三宅克己「伊太利ヴェロナの新橋」 2分2秒 令和5年6月21日公開 担当: 森芳功(主席)、レイアウト等: 横田勝典(会計年度任用職員)

(2) 絵のない鑑賞タイム

・パブロ・ピカソ「赤い枕で眠る女」 8分43秒 令和5年5月22日公開 担当: 友井伸一(課長)、レイアウト等: 横田勝典(会計年度任用職員)

・奈良美智「UNTITLED(BROKEN TREASURE)」 12分30秒 令和6年3月26日公開 担当: 浅田真珠(学芸員)、レイアウト等: 横田勝典(会計年度任用職員)

・堀内正和「箱は空に帰ってゆく」 6分42秒 令和6年3月26日公開 担当: 久米千裕(学芸員)、レイアウト等: 横田勝典(会計年度任用職員)

(3) 関連記事等

・「近代美術館 HPで『絵のない鑑賞』『徳島新聞』 令和5年6月11日

4-2 学校教育との連携

1 学校の授業等による美術館利用

図工、美術、総合的学習の時間などを利用して来館した小学校・中学校・高等学校に対して、作品鑑賞や見学で学芸員など職員が講師をつとめるだけでなく、鑑賞活動後に美術館アトリエで造形活動を行ったり、ディスカッションをしたりした。今後も学校や園のニーズに応じた対応に努め、美術館を活用したプログラムを学校や園、大学等と協同で計画・実施していく。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	徳島県立総合看護学校 第一看護学科 1年生	令和5年5月19日[金] 13:00-16:15	「阿波の探求」の授業の一環として、所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」、特別展「境界をこえる」を鑑賞。	宮崎晴子(主任学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	学生 40人 引率 3人
2	徳島大学総合科学部 2-4年生	令和5年5月28日[日] 14:00-15:35	授業の一環として特別展「境界をこえる」を鑑賞。	江川佳秀(主席)、 宮崎晴子(主任学芸員)	学生 5人
3	徳島文理大学 人間生活学部 児童学科 2、3年生	令和5年6月17日[土] 10:00-11:30	「図画工作教育法」の授業の一環として、所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」、特別展「境界をこえる」を鑑賞。対話鑑賞や勝手に審査員などを体験。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	学生 27人 引率 1人
4	鳴門教育大学 大学院 美術科教育 コース 1年生、大学院 生	令和5年6月17日[土] 13:00-16:30	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」の彫刻作品を中心に鑑賞。講座室で作品に関するディスカッションを行った。	亀井幸子(主席)、 久米千裕(学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	学生 6人 引率 1人
5	徳島市立名東 保育所 5歳児	令和5年9月14日[木] 09:35-11:40	所蔵作品展2023年度II「祈りと幻想」を鑑賞後、アトリエ2にて水彩絵具を使った絵葉書の作成体験を行った。	亀井幸子(主席)、 森芳功(主席)、 三宅翔士(主任)	園児 21人 引率 3人
園児 21人、学生 78人、引率 8人/合計 107人					

2 学校行事(遠足など)による美術館利用

学校の求めにより学芸員など美術館職員が展覧会を案内する鑑賞支援活動を行っている。事前に学校側と打ち合わせをして、学校の事情や児童生徒の学年に応じた効果的な対応ができるように努めている。なお、学校教育活動による観覧は、小・中・高等で、特別展・所蔵作品展(常設展)いずれも無料としている。

(1) 学芸員等が鑑賞支援活動を行った団体鑑賞

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
1	さぬき市立長尾中学校(香川県) 2年生	令和5年4月19日[水] 10:00-11:05	亀井幸子(主席)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」を鑑賞。	生徒 93人 引率 7人
2	徳島市沖洲小学校 5年生	令和5年5月12日[金] 09:30-11:20	亀井幸子(主席)、宮崎晴子(主任学芸員)、飯田恵実(学芸員)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」と、特別展「境界をこえる」を鑑賞。	児童 104人 引率 4人
3	みつぼしこどもえん(徳島市) 4歳児	令和5年5月17日[水] 09:40-10:35	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」と特別展「境界をこえる」を鑑賞。	園児 11人 引率 2人
4	みつぼしこどもえん 4歳児	令和5年5月18日[木] 09:35-10:35	友井伸一(上席学芸員)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」と、特別展「境界をこえる」を鑑賞。	園児 11人 引率 2人
5	みつぼしこどもえん 3歳児	令和5年5月24日[水] 09:45-10:35	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」と、特別展「境界をこえる」を鑑賞。	園児 11人 引率 2人 サポーター 3人
6	みつぼしこどもえん 3歳児	令和5年5月25日[木] 09:35-10:40	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」と、特別展「境界をこえる」を鑑賞。	園児 11人 引率 2人 サポーター 3人
7	阿波市立久勝小学校 5年生	令和5年5月26日[金] 09:45-11:40	笠井優(主任学芸員)、久米千裕(学芸員)	所蔵作品展2023年度I「人のよそおい」と、特別展「境界をこえる」を鑑賞。 ロビーにて「人のよそおい」に関連した造形活動を行った。	児童 22人 引率 2人 サポーター 1人
8	きつざサポートげんきの森(徳島市)	令和5年8月2日[水] 14:05-14:45	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 1人 児童 6人 生徒 3人 引率 9人 サポーター 2人
9	みつぼしこどもえん 4歳児	令和5年8月9日[水] 09:45-10:30	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 12人 引率 2人
10	みつぼしこどもえん 4歳児	令和5年8月10日[木] 09:45-10:30	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)、浅田真珠(学芸員)	特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 9人 引率 2人 サポーター 3人
11	みつぼしこどもえん 5歳児	令和5年8月16日[水] 09:45-11:15	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度II「祈りと幻想」と、特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 10人 引率 2人
12	みつぼしこどもえん 5歳児	令和5年8月17日[木] 09:40-10:40	亀井幸子(主席)、久米千裕(学芸員)	特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 11人 引率 2人
13	みつぼしこどもえん 3歳児	令和5年8月30日[水] 09:45-10:30	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度II「祈りと幻想」と、特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 10人 引率 2人
14	みつぼしこどもえん 3歳児	令和5年8月31日[木] 09:35-10:30	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)、浅田真珠(学芸員)	所蔵作品展2023年度II「祈りと幻想」と、特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	園児 11人 引率 2人 サポーター 2人
15	放課後等デイサービスいちごいちえ(徳島市)	令和5年8月31日[木] 14:48-15:32	亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度II「祈りと幻想」と、特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	児童 1人 引率 1人
16	北島町立北島南小学校 3年生	令和5年10月12日[木] 09:45-12:00	友井伸一(課長)、亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)、浅田真珠(学芸員)	所蔵作品展2023年度II「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーン展」を鑑賞。	児童 71人 引率 5人

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
17	海陽町立穴喰小学校 5年生	令和5年10月13日〔金〕 10:20-11:00	久米千裕（学芸員）	特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 16人 引率 3人
18	徳島県立池田高等学校 本校、辻校 1、2年生美術部	令和5年10月14日〔土〕 13:45-15:55	三宅翔士（主任）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	生徒 20人 引率 2人
19	徳島市助任小学校 2年生	令和5年10月25日〔水〕 09:30-11:15	友井伸一（課長）、三宅翔士（主任）、宮崎晴子（主任学芸員）、笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 137人 引率 7人
20	徳島市千松小学校 2年生	令和5年10月26日〔木〕 09:45-12:15	友井伸一（課長）、宮崎晴子（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 151人 引率 8人
21	鳴門教育大学附属小学校 3年生	令和5年10月27日〔金〕 12:30-14:05	宮崎晴子（主任学芸員）、笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。所蔵作品展では、鑑賞活動「賞をプレゼント」を実施した。	児童 91人 引率 5人 サポーター 1人
22	佐那河内村立佐那河内保育所 5歳児	令和5年10月27日〔金〕 09:40-10:50	森芳功（主席）、笠井優（主任学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	園児 16人 引率 3人 サポーター 2人
23	徳島市川内北小学校 2年生	令和5年11月7日〔火〕 09:30-11:45	笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 79人 引率 6人
24	八万南ひまわり認定こども園（徳島市） 4歳児	令和5年11月8日〔水〕 10:20-11:15	笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	園児 25人 引率 3人 サポーター 1人
25	阿南市立見能林小学校 1、2年生	令和5年11月9日〔木〕 09:50-11:30	友井伸一（課長）、三宅翔士（主任）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 126人 引率 8人
26	阿南市立羽ノ浦小学校 1年生	令和5年11月10日〔金〕 10:30-12:10	宮崎晴子（主任学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 99人 引率 6人
27	美馬市立江原南小学校 5年生	令和5年11月15日〔水〕 10:10-11:45	笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。所蔵作品展では、鑑賞活動「勝手に審査員」を実施。	児童 41人 引率 4人
28	徳島市佐古小学校 3年生	令和5年11月16日〔木〕 09:40-11:45	友井伸一（課長）、森芳功（主席）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 86人 引率 6人
29	鳴門教育大学附属特別支援学校 5、6年生	令和5年11月16日〔木〕 09:55-10:25	宮崎晴子（主任学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	児童 5人 引率 3人
30	ステラプリスクール徳島（徳島市） 3-5歳児	令和5年11月17日〔金〕 10:30-11:30	宮崎晴子（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	園児 21人 引率 5人
31	徳島県立聴覚支援学校幼稚部 3-5歳児	令和5年11月22日〔水〕 10:00-11:10	笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ボーエン展」を鑑賞。	園児 7人 引率 6人 サポーター 1人

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
32	吉野川市立鴨島小学校 3年生	令和5年11月24日[金] 09:55-11:40	笠井優(主任学芸員)、久米千裕(学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ポーエン展」を鑑賞。	児童 70人 引率 4人
33	国立大学法人徳島大学あゆみの森保育園(徳島市) 5歳児	令和5年12月8日[金] 11:00-11:20	飯田恵実(学芸員)、浅田真珠(学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」と、特別展「ディーン・ポーエン展」を鑑賞。	園児 17人 引率 2人
34	徳島市内町小学校(支援学級) 1-4,6年生	令和6年1月26日[金] 10:15-11:30	宮崎晴子(主任学芸員)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。鑑賞活動「賞をプレゼント」と「お気に入りのみつげよう」を実施。	児童 11人 引率 4人
35	徳島市立城西保育所 5歳児	令和6年2月8日[木] 10:10-11:10	宮崎晴子(主任学芸員)、笠井優(主任学芸員)、浅田真珠(学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。鑑賞活動「お気に入りのみつげよう」を実施。	園児 33人 引率 5人
36	神山町立神領小学校 2年生	令和6年2月14日[水] 10:50-11:25	宮崎晴子(主任学芸員)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	児童 8人 引率 2人
37	神山町立広野小学校 2年生	令和6年2月14日[水] 10:50-11:25	宮崎晴子(主任学芸員)、笠井優(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	児童 3人 引率 2人
38	徳島市昭和小学校 6年生	令和6年2月22日[木] 10:30-12:00	宮崎晴子(主任学芸員)、笠井優(主任学芸員)、浅田真珠(学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	児童 73人 引率 5人
39	徳島県立徳島学院 中学2,3年生	令和6年2月24日[土] 14:25-14:50	浅田真珠(学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	生徒 3人 引率 2人
40	佐那河内村立佐那河内保育園 5歳児	令和6年2月27日[火] 09:30-10:30	笠井優(主任学芸員)、久米千裕(学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	園児 16人 引率 3人 サポーター 1人
41	おおぎ認定こども園(徳島市) 5歳児	令和6年3月6日[水] 10:10-11:10	三宅翔士(主任)、宮崎晴子(主任学芸員)	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	園児 21人 引率 2人
園児 264人、児童 1,200人、生徒 119人、引率 154人/合計 1,737人(サポーター20人。合計数には含まず。)					

(2) 学校単独の団体鑑賞

	学校名	開催日時	展覧会名	参加者
1	徳島県立城ノ内中等教育学校	令和5年8月25日[金] 11:28-12:40	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「イロのひみつ」を鑑賞。	生徒 4人 引率 1人
2	徳島市八万南小学校	令和5年10月15日[日] 15:50-16:25	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ポーエン展」を鑑賞。	児童 32人
3	四国大学	令和5年10月31日[火] 10:47-11:49	特別展「ディーン・ポーエン展」を鑑賞。	学生 5人 引率 1人
4	石井町立石井中学校美術部	令和5年11月12日[日] 10:30-10:55	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、特別展「ディーン・ポーエン展」を鑑賞。	生徒 8人 引率 2人
5	徳島県立阿南支援学校中学部	令和5年11月17日[金] 10:00-13:00	所蔵作品展2023年度Ⅱ「祈りと幻想」と、「ディーン・ポーエン展」を鑑賞。	生徒 41人 引率 25人
6	徳島県立みなと高等学園	令和6年2月23日[金・祝] 13:15-13:25	所蔵作品展2023年度Ⅲ「物語をさがしに」を鑑賞。	生徒 7人 引率 5人
児童 32人、生徒 60人、学生 5人、引率 34人/合計 131人				

3 学校の授業等による講師派遣(出前授業)

美術館職員が学校等に出向く「出前授業」は、小学校だけでなく保育所やこども園でも行っている。出前授業の多くは、掛図(所蔵作品を印刷して作成した教材)や鑑賞シートを使った鑑賞授業である。コロナ禍をきっかけに広がった、オンラインでの授業も実施した。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	みつばしこどもえん(徳島市) 5歳児	令和5年5月10日[水] 09:30-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した後、色水遊びを行った。	亀井幸子(主席)	園児 21人 保育士 2人
2	徳島市立上八万児童館 0-3歳児	令和5年5月16日[火] 10:30-11:15	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどを話した後、かたくり粘土で感触や色を楽しむ活動を行った。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	乳幼児 9人 保育士 3人 保護者 9人
3	徳島市南井上小学校 4年1組	令和5年5月23日[火] 08:40-10:25	三宅克己作品および木の描かれた作品の掛図による鑑賞活動を行った後、画用紙で水彩画の技法を実験。三宅克己作品の塗絵を水彩絵具で行い、掲出して他の人の作品を鑑賞しあった。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	児童 35人 教員 1人
4	徳島市南井上小学校 4年2組	令和5年5月23日[火] 10:40-12:15	同上	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	児童 35人 教員 1人
5	徳島文理大学 2年生	令和5年6月7日[水] 13:00-14:30	幼児教育を学ぶ学生の授業で、保育所等の実践事例(3例)を現場の保育者から聞き、美術館連携の鑑賞プログラム「お気に入りの作品を見つけよう」と「勝手に審査員」を行った。	亀井幸子(主席)、 ほか男性保育者会	学生 29人 教員 1人
6	おおぎ認定こども園(徳島市) 5歳児	令和5年6月8日[木] 09:30-10:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	園児 25人 保育士 2人
7	阿南市立岩脇小学校 6年生	令和5年6月9日[金] 13:50-15:30	掛図による鑑賞活動を行った後、鑑賞シート「模写して発見!芸術家の技」を活用した授業を実施した。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	児童 31人 教員 1人
8	徳島聴覚支援学校幼稚部(徳島市) 3-5歳児	令和5年6月16日[金] 09:30-10:30	スチレンボードを用いた版画遊びを行った。	亀井幸子(主席)、 久米千裕(学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	園児 9人 教員 9人
9	徳島市立八万東保育所 5歳児	令和5年6月28日[水] 10:00-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。	久米千裕(学芸員)、 飯田恵実(学芸員)	園児 21人 保育士 5人
10	那賀町立鷺敷小学校 1年生	令和5年6月28日[水] 13:30-14:15	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。作品に「賞をプレゼント」して理由を発表した。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	児童 20人 教員 2人
11	鳴門教育大学 1年生	令和5年7月5日[水] 09:00-10:30	美術館と学校教育との連携について講義を行った。	亀井幸子(主席)	学生 98人 教員 3人
12	徳島市南井上小学校 1-6年生	令和5年7月6日[木] 08:40-9:25	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。グループに分かれて作品になりきり、クイズを出し合った。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	児童 32人 教員 6人
13	徳島聴覚支援学校幼稚部(徳島市) 3-5歳児	令和5年7月11日[火] 09:30-10:30	緩衝材や紐・リボンなど身近な素材を使って版画遊びを行った。	久米千裕(学芸員)、 飯田恵実(学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	園児 9人 教員 9人
14	徳島市立内町児童館 0-4歳児	令和5年8月19日[土] 10:30-11:30	掛図を使って親子で鑑賞したあと、赤・黄・青の色かんでんを触って感触を味わったり、色の混ざる様子を見て楽しんだ。	亀井幸子(主席)	乳幼児 8人 保育士 3人 保護者 5人
15	佐那河内村立佐那河内保育所 5歳児	令和5年8月24日[木] 09:30-11:00	掛図を鑑賞して、お気に入りの作品を見つけて、いいなあと思ったところや見つけたものを発表し合った。	亀井幸子(主席)、 久米千裕(学芸員)	園児 13人 保育士 1人
16	徳島聴覚支援学校幼稚部 3-5歳児	令和5年9月20日[水] 09:30-10:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。ローラーに隙間テープを貼り、様々な模様を制作して、大きな紙にみんなで描画した。	久米千裕(学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	園児 8人 教員 9人

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
17	徳島県立池田高等学校辻校1年生	令和5年9月27日〔水〕 10:45-11:35	同校図書館にて実施。芸術（音・美・書）を選択している生徒が参加。鑑賞シート（えのほんをつくろう）を使い、4枚の絵で絵本を制作した。	亀井幸子（主席）、 笠井優（主任学芸員）	生徒 39人 教員 4人
18	徳島市立内町児童館 0-4歳児	令和5年10月7日〔土〕 10:30-11:30	掛図を使って親子で鑑賞したあと、ゆびえのぐを触って感触を味わったり、指で絵を描いたりして楽しんだ。	亀井幸子（主席）	乳幼児 9人 保育士 3人 保護者 6人
19	おおぎ認定こども園（徳島市） 0、1、4-5歳児	令和5年10月13日〔金〕 10:00-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、4歳児・5歳児は気に入ったところや見つけたことなどをお話した。	亀井幸子（主席）、 笠井優（主任学芸員）	園児 49人 保育士 9人
20	徳島市立国府保育所 2-5歳児	令和5年10月18日〔水〕 09:30-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。	亀井幸子（主席）、 笠井優（主任学芸員）	園児 89人 保育士 9人
21	徳島市立八万東保育所 5歳児	令和5年10月19日〔木〕 09:30-11:30	事前に園で染めたランチョンマットを脱色させることで描画した。掛図を鑑賞して線や模様を描く動きに注目した後、キッチンハイターとせんたくのりを混ぜたものを絞り袋に入れて形や模様を描いた。	亀井幸子（主席）、 笠井優（主任学芸員）、 久米千裕（学芸員）	園児 21人 保育士 6人
22	徳島県立池田高等学校 2年生 オンライン実施	令和5年10月20日〔金〕 11:05-11:20	オンラインで教室と美術館をつなぎ、講義を実施。美術・立体デザインの授業内容を踏まえ、映像やモーターなど工学分野と関連のある美術作品について所蔵品を交えて紹介した。	笠井優（主任学芸員）	生徒 20人 教員 1人
23	徳島文理大学 1、2年生	令和5年10月24日〔火〕 14:40-16:10	「保育内容（表現）」「乳児保育」の授業で、保育所と美術館連携の鑑賞プログラムとして「アートカード」と「ヤッピーネとお話づくり」を実施した。	亀井幸子（主席）、 笠井優（主任学芸員）	学生 26人 教員 4人
24	東みよし町立三庄小学校 3年生	令和5年10月26日〔木〕 10:35-12:15	三宅克己作品および徳島ゆかり作家の作品を掛図で鑑賞したのち、画用紙で水彩画の技法を実験。三宅克己作品の塗絵を水彩絵具で行い、掲出して他の人の作品を鑑賞し合った。オープンスクールの授業として3・4時間目に実施。	亀井幸子（主席）、 笠井優（主任学芸員）	児童 24人 教員 2人
25	徳島市立上八万児童館	令和5年11月14日〔火〕 10:30-11:10	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。アルミホイルを使って造形活動を行った。	笠井優（主任学芸員）、 久米千裕（学芸員）	乳幼児 9人 保護者 8人 保育士 3人 ボランティア 2人
26	徳島市南井上小学校 6年1組	令和5年11月29日〔水〕 08:40-10:25	鳥獣戯画と鑑賞シート「墨と紙の魅力」掲載作品の掛図を使った対話による鑑賞を実施。墨で線を描く練習ののち、鳥獣戯画を模写し、持参した「自分が描きたいもの」を描いた。	森芳功（主席）、 笠井優（主任学芸員）	児童 27人 教員 1人
27	徳島市南井上小学校 6年2組	令和5年11月29日〔水〕 10:40-12:20	同上	森芳功（主席）、 笠井優（主任学芸員）	児童 29人 教員 1人
28	徳島市国府小学校 6年4組	令和5年12月5日〔火〕 13:45-14:30	墨で描かれた作品の掛図を使い、対話による鑑賞を実施。視で墨をすり、線やにじみの面白さを体験した。	飯田恵実（学芸員）、 笠井優（主任学芸員）	児童 31人 教員 2人
29	徳島市国府小学校 6年3組	令和5年12月5日〔火〕 14:40-15:25	同上	飯田恵実（学芸員）、 笠井優（主任学芸員）	児童 28人 教員 2人
30	徳島市国府小学校 6年2組	令和5年12月6日〔水〕 13:45-14:30	同上	飯田恵実（学芸員）、 浅田真珠（学芸員）	児童 30人 教員 1人
31	徳島市国府小学校 6年1組	令和5年12月6日〔水〕 14:40-15:25	同上	飯田恵実（学芸員）、 浅田真珠（学芸員）	児童 32人 教員 1人
32	鳴門教育大学大学院	令和5年12月7日〔木〕 09:00-10:30	「授業デザインと学習指導」の授業内で当館コレクション概要、鑑賞プログラムの体験（お気に入りの作品を探そう、賞をプレゼント）、鑑賞シート等の教材紹介をおこなった。	笠井優（主任学芸員）	学生 3人 教員 1人
33	佐那河内村立佐那河内保育所・佐那河内村立佐那河内小学校 5歳児、小学1年生	令和5年12月14日〔木〕 09:30-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたところなどをお話した。生まれた季節で班に分かれてアートカードで季節に合いそうなカードを探して遊び、その後カレンダーをつくった。	笠井優（主任学芸員）、 浅田真珠（学芸員）	園児 15人 保育士 2人 児童 3人 教員 2人

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
34	四国大学 4年生	令和5年12月15日[金] 13:00-14:30	生活科学部児童学科「保育実践演習」の授業内で当館コレクション概要、鑑賞プログラムの体験(賞をプレゼント)、筆談鑑賞の体験をおこなった。	笠井優(主任学芸員)ほか	学生 61人 教員 2人
35	四国大学短期 大学部 2年生	令和6年1月22日[月] 13:00-14:30	幼児教育保育科「教職実践演習(幼)」の授業内で保育所・こども園と美術館連携の概要について説明し、鑑賞プログラムの体験(ヤッピーネの宝もの)の体験をおこなった。	笠井優(主任学芸員) ほか男性保育者会メンバー	学生 34人 教員 2人
36	徳島市南井上 小学校 1年1組	令和6年1月23日[火] 09:35-10:20	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。伊原宇三郎作品を比べて鑑賞した。	笠井優(主任学芸員)、 浅田真珠(学芸員)	児童 31人 教員 1人
37	徳島市南井上 小学校 1年2組	令和6年1月23日[火] 10:40-11:25	同上	笠井優(主任学芸員)、 浅田真珠(学芸員)	児童 37人 教員 1人
38	東みよし町立加 茂小学校 3年生	令和6年1月31日[水] 10:35-12:15	人物画を中心に掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話したり、「賞をプレゼント」したりした。後半は自分の手や顔をよく観察し、鏡や手を使って大きさを確かめながら描いた。	飯田恵実(学芸員)、 笠井優(主任学芸員)	児童 31人 教員 2人
39	徳島市南井上 小学校 2年2組	令和6年2月20日[火] 08:40-10:20	鑑賞シート(えのほんをつくろう)を使い、4枚の絵で絵本を制作した。	笠井優(主任学芸員)、 浅田真珠(学芸員)	児童 29人 教員 1人
40	徳島市南井上 小学校 2年1組	令和6年2月20日[火] 10:40-12:15	同上	笠井優(主任学芸員)、 浅田真珠(学芸員)	児童 19人 教員 2人
41	徳島市南井上 小学校 5年1組	令和6年2月21日[水] 09:35-10:20	墨で描かれた作品の掛図を使い、対話による鑑賞を実施。硯で墨をすり、線やにじみの面白さを体験した。	久米千裕(学芸員)、 飯田恵実(学芸員)	児童 29人 教員 1人
42	徳島市南井上 小学校 5年2組	令和6年2月21日[水] 10:40-11:25	同上	久米千裕(学芸員)、 飯田恵実(学芸員)	児童 30人 教員 1人
乳幼児 35人、園児 280人、児童 563人、生徒 59人、学生 251人、保育士 46人、教員 79人、保護者 28人、その他 2人 /合計 1,343人					

4 学校の授業等への協力

(1) 授業

鑑賞シートを活用した授業に関連した資料の提供や教材の貸し出し、鑑賞の授業や教員研修に関する相談等を行った。(59件)

・就学前施設(2件)

みつばしこどもえん(徳島市)、佐那河内村立佐那河内保育所

・小学校(27件)

神山町立神領小学校、徳島市南井上小学校(2件)、阿南市立岩脇小学校、那賀町立鷺敷小学校、つるぎ町立貞光小学校、三好市立王地小学校、東みよし町立加茂名小学校、東みよし町立三庄小学校(2件)、勝浦町立横瀬小学校、上勝町立上勝小学校、勝浦町立生比奈小学校、徳島市千松小学校(2件)、吉野川市立高越小学校、徳島市沖洲小学校、海陽町立海部小学校、阿南市立羽ノ浦小学校、阿波市久勝小学校、北島町立北島北小学校、石井町立石井小学校、石井町立高原小学校、加古川市立氷丘小学校(兵庫県)、徳島市八万南小学校、鳴門教育大学附属小学校(2件)

・中学校(12件)

那賀町立鷺敷中学校、徳島市加茂名中学校、徳島市加茂名中学校、牟岐町立牟岐中学校、勝浦町立勝浦中学校、愛知県知立市立竜北中学校(愛知県)(2件)、美馬市立美馬中学校、阿南市立阿南中学校(3件)、美馬市立三島中学校

・高等学校(3件)

徳島県立徳島商業高校、徳島県立池田高等学校辻校、徳島県立脇町高等学校

・大学、その他(15件)

小松島市小学校教育研究会 図工部会、徳島文理大学(3件)、全国私立保育研究大会、鳴門教育大学(5件)、栃木市立美術館(栃木県)、四国大学(2件)、学芸員養成講座、美術館協議会

(2) 鑑賞シート

鑑賞シートは、当館の鑑賞教育推進プロジェクトで開発した鑑賞教材で、①学校の授業で使う、②鑑賞のきっかけをつかみ深める、③学校での授業と美術館における鑑賞を結びつける、という特徴をもっている。広報的送付の他、必要部数を各学校に送り活用してもらっている。

鑑賞シートの配布数

鑑賞シートの種類	配布数
1 日下八光〈阿南の海〉	52
2 メッツアンジェ〈自転車乗り〉	23
3 ピカソ〈ドラ・マールの肖像〉	0
4 クレー〈子供と伯母〉	81
5 三宅克己の風景画	184
6 シーガルの人間像	34
7 吹田文明の色と光	156
8 大久保英治さんとメヂからスコープ!	24
9 屏風のなかのお話	208
10 よーいアクション!	111
11 えのほんをつくろう	738
12 彫刻EYE(アイ)	48
13 墨と紙の魅力	350
14 不思議の世界	398
15 色いろいろ探求バトル	320
16 模写して発見!芸術家の技	230
17 ART CARD	1,022
18 ART CARD	788
19 白と黒の秘密を探ろう	422
20 伊原さんの絵でおしゃべり鑑賞	2
合計	5,191

※3ピカソ〈ドラ・マールの肖像〉は在庫切れのため配布せず。

5 中高大学生の職場体験・インターンシップ

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高大学生の職場体験・インターンシップ」の受け入れを行った。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	徳島県立徳島聴覚支援学校 中学部 2年生	令和5年6月21日[水] 10:30-15:00	事務連絡、美術館の仕事について・施設見学、展覧会撤収作業見学・鑑賞プログラム体験、広報作業、反省会	亀井幸子(主席)、宮崎晴子(主任学芸員)、笠井優(主任学芸員)、飯田恵実(学芸員)、横田勝典(会計年度任用職員)	生徒 1人
2	徳島市立高等学校 2年生	令和5年8月8日[火] 09:30-16:00	オリエンテーション・美術館の仕事について、特別展「イロのひみつ」について、特別展「デューン・ボーエン展」ワークショップ準備、反省会	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任学芸員)、浅田真珠(学芸員)	生徒 1人

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
2	徳島市立高等学校 2年生	令和5年8月9日〔水〕 09:30-16:00	こども園の見学サポート、資料整理、特別展「イロのひみつ」関連事業準備、反省会	亀井幸子（主席）、笠井優（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、長尾明子（会計年度任用職員）、大和田涼央（会計年度任用職員）	
3	徳島大学 2年生、3年生	令和5年8月24日〔木〕 09:30-17:00	美術館の仕事について・施設見学、所蔵作品展・特別展について、美術館における教育普及活動、資料整理、反省会	亀井幸子（主席）、宮崎晴子（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、飯田恵実（学芸員）、梶本真木子（会計年度任用職員）、長尾明子（会計年度任用職員）	学生 2人
4	徳島市上八万中学校 3年生	令和5年10月11日〔水〕 09:30-16:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の仕事について、美術館の学校連携について、反省会	宮崎晴子（主任学芸員）、笠井優（主任学芸員）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	生徒 3人
		令和5年10月12日〔木〕 09:30-16:00	小学校の見学サポート、資料整理、反省会	笠井優（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、梶本真木子（会計年度任用職員）、長尾明子（会計年度任用職員）	
5	徳島県立徳島聴覚支援学校 中学部 1年生	令和5年11月9日〔木〕 09:30-15:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の学校連携について、美術館の仕事について、鑑賞プログラムの体験、反省会	宮崎晴子（主任学芸員）、笠井優（主任学芸員）	生徒 3人
6	徳島県立城ノ内中等教育学校 2年生	令和5年11月9日〔木〕 09:30-15:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の学校連携について、美術館の仕事について、鑑賞プログラムの体験、反省会	宮崎晴子（主任学芸員）、笠井優（主任学芸員）	生徒 2人
		令和5年11月10日〔金〕 09:30-15:00	小学校の見学サポート、資料整理、反省会	笠井優（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、梶本真木子（会計年度任用職員）、長尾明子（会計年度任用職員）	
7	徳島県立那賀高等学校 2年生	令和5年11月16日〔木〕 09:30-16:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の仕事について、学校見学のサポート、資料整理、反省会	笠井優（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、梶本真木子（会計年度任用職員）、長尾明子（会計年度任用職員）	生徒 1人
		令和5年11月17日〔金〕 09:30-16:00	収集活動・所蔵作品展について、特別展ワークショップ準備、反省会	三宅翔士（主任）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	
8	徳島県立阿南光高等学校 2年生	令和5年11月16日〔木〕 09:30-16:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の仕事について、学校見学のサポート、資料整理、反省会	笠井優（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、梶本真木子（会計年度任用職員）、長尾明子（会計年度任用職員）	生徒 5人
		令和5年11月17日〔金〕 09:30-16:00	収集活動・所蔵作品展について、特別展ワークショップ準備、反省会	三宅翔士（主任）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	
9	徳島県立城南高等学校 2年生	令和5年12月13日〔水〕 09:30-16:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の仕事について、普及事業について・関連作業、反省会	三宅翔士（主任）、笠井優（主任学芸員）、渡部哲也（会計年度任用職員）、大和田涼央（会計年度任用職員）	生徒 3人
		令和5年12月14日〔木〕 09:30-16:00	展示・所蔵作品展について、ユニバーサルミュージアムについて、資料整理、反省会	竹内利夫（上席学芸員）、宮崎晴子（主任学芸員）、笠井優（主任学芸員）、久米千裕（学芸員）、梶本真木子（会計年度任用職員）、長尾明子（会計年度任用職員）	
生徒 19人、学生 2人/合計 21人					

6 クラブ活動への講師派遣

美術クラブの発表展で、自作について助言を求めてきた生徒に対して指導を行った。

	クラブ活動	開催日時	講師	場所	参加者
1	徳島県立城ノ内中等教育学校文化部展	令和6年2月25日[日]	安達一樹(主席)	四国大学交流プラザ(徳島市)	美術部 生徒 2人
生徒 2人/合計 2人					

7 教員研修会などへの講師派遣

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため研修会の規模を縮小し、試みにオンラインでも研修会を企画した。

	研修会名	開催日時	内容	講師	場所	参加者
1	小松島市小学校園 工部会教員研修	令和5年6月1日[木] 14:00-16:30	児童向けプログラム体験のために 掛図による鑑賞活動を行った後、 画用紙で水彩画の技法を実験。三 宅克己作品の塗絵を水彩絵具で 行い、掲出して他の人の作品を鑑 賞しあった。鑑賞シートを活用した 授業について情報交換した。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	小松島市児 安小学校 (小松島市)	教員 12人
2	令和5年度フレッシュ 研修Ⅱ 企業等研修 1日目	令和5年7月26日[水] 09:45-16:00	学校教育との連携についての講義、 特別展「ディーン・ポーエン展」ワー クショップ準備、鑑賞シートの模擬 授業を実施した。	亀井幸子(主席)、 飯田恵実(学芸員)、 浅田真珠(学芸員)	美術館アト リエ2	教員 4人
	令和5年度フレッシュ 研修Ⅱ 企業等研修 2日目	令和5年7月27日[木] 09:45-17:00	特別展「イロのひみつ展」およびカ ラーユニバーサルについての講義、 2グループに分かれて活動プログラ ムの考案・体験を実施した。	竹内利夫(上席学芸員)、 亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	美術館アト リエ2、展示 室	
3	令和5年度フレッシュ 研修Ⅱ 企業等研修 1日目	令和5年8月2日[水] 09:45-16:00	学校教育との連携についての講義、 鑑賞シートの模擬授業、団体鑑賞 の補助を行った。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	美術館アト リエ2、展示 室	教員 4人
	令和5年度フレッシュ 研修Ⅱ 企業等研修 2日目	令和5年8月3日[木] 09:45-17:00	特別展「イロのひみつ展」およびカ ラーユニバーサルについての講義、 2グループに分かれて活動プログラ ムの考案・体験を実施した。	竹内利夫(上席学芸員)、 亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	美術館アト リエ2、展示 室	
4	勝浦郡図工・美術 部会 夏季研修	令和5年8月23日[水] 14:00-16:00	鑑賞シートを参考にしながら透明水 彩絵の具の特徴や技法について 説明した。空の表現を体験したり、 三宅作品(風景画)の塗絵カードに 着彩した。その後それらの試作品 を時間や季節に並べながら鑑賞し た。終わりに展示室でも作品を鑑賞 した。	亀井幸子(主席)	美術館アト リエ2、展示 室	教員 4人
5	吉野川市立高越小 学校 教員研修	令和5年9月21日[木] 15:15-16:40	掛図を鑑賞してお気に入りの作品 を見つけ、気に入ったところや行っ てみたい景色・世界などをお話した。 三宅克己塗り絵を使って水彩画の 授業を体験。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	吉野川市立 高越小学校 (吉野川市)	教員 15人
6	徳島市立八万東保 育所職員研修	令和5年10月12日[木] 17:00-18:00	藍染について、事前準備の説明と 染め終わったものの脱色での描画 実践を行った。	亀井幸子(主席)、 笠井優(主任学芸員)	徳島市立八 万東保育所 (徳島市)	保育士 2人
7	「アートの日」勉強会 ナイト・アート・ミュージ アム研修会 特別展「ディーン・ポー エン展」	令和5年10月25日[水] 19:00-21:00	展示室で対話鑑賞の実践を行った。	友井伸一(課長)、 亀井幸子(主席)	美術館アト リエ2、展示 室	教員・保 育者・学 生 11人 ボランティア 5人
8	四国中学校美術教 育連盟 研修会	令和5年11月16日[木] 15:00-16:30	四国の中学校美術家担当教員に 向け、ユニバーサル美術館につい て、中学校で使用できる近代美術 館のデジタルコンテンツについて講 座を行った。	竹内利夫(上席学芸員)	美馬市地域 交流センター ミライズ (美馬市)	教員 22人
保育士・教員等 74人、ボランティア 5人/合計 79人						

8 鑑賞教育推進プロジェクト

学校と美術館を結ぶ鑑賞教育を実践的に研究するための研究会。平成14年7月の発足以来、「鑑賞シート」や「鑑賞シート指導の手引き」の検討、シートを使った実践とその普及に取り組んでいる。鑑賞教育を幅広く研究し、美術館における鑑賞教育に学校現場の意見を取り入れる場ともなっている。メンバーは、小学校、中学校等の教員、大学の研究者、当館職員などである。コロナ禍以降は現地参集とオンラインのハイブリッドで打合せ会を行っている。

(1) 打ち合わせ会(研究会)の記録

● 日時

第162回 令和5年9月17日[日] 14:00-16:00 7人(Zoomでの参加1人を含む)

第163回 令和5年11月26日[日] 14:00-18:00 5人(Zoomでの参加2人を含む)

第164回 令和6年2月12日[月・振休] 13:30-17:00 8人(Zoomでの参加1人を含む)

● 会場

徳島県立近代美術館(アトリエ2)/オンライン

● 参加者(メンバー)

岩佐宣之(藍住町立藍住南小学校教頭)、脇本正久(吉野川市立川島小学校指導教諭)

小浜かおり(阿南市立阿南中学校指導教諭)

岡田三千代、川真田心、齋藤友紀子(鳴門教育大学附属小学校教諭)、井上三月(徳島市富田中学校)

植田仁美(藍住町立藍住東中学校)、森裕二郎(徳島県立総合教育センター指導主事)

家崎萌(鳴門教育大学大学院准教授)、森芳功(主席)、亀井幸子(主席)、笠井優(主任学芸員)

(2) 作成したワークシート、指導の手引き

・鑑賞シートの手引き 鑑賞シートno.19 「白と黒の秘密を探ろう活用の手引き」 令和5年11月16日(暫定版)発行、令和6年1月5日(改訂版)発行

レイアウト:大和田涼央(会計年度任用職員)

・鑑賞シートの手引き 鑑賞シートno.20 「伊原さんの絵でおしゃべり鑑賞」 A4判横4ページ 令和6年3月27日発行

レイアウト:大和田涼央(会計年度任用職員)

9 展覧会ごとのワークシート作成

所蔵作品展、特別展ごとに子どもワークシートを作成している(対象年齢はその都度検討)。学校の団体鑑賞でセルフガイド的に用いたり、グループ鑑賞の教材として活用したりしている。また、個人来館した子どもが自由に手に取れるよう展覧会場の入り口などに置いている。

展覧会場では、関心のある来館者が自由に手に取ることができるようにしている。

・所蔵作品展 2023年度I「人のよそおい[トクコレ]」 A4判両面刷二つ折り 簡易印刷 令和5年4月発行

・所蔵作品展 2023年度II「祈りと幻想」 A4判両面刷二つ折り 簡易印刷 令和5年7月発行

・所蔵作品展 2023年度III「物語をさがしに」 B5判両面刷三つ折り 簡易印刷 令和6年1月発行

・特別展 「境界をこえる」 A4判両面刷二つ折り 簡易印刷 令和5年4月発行

・特別展 「ディーン・ボーエン展[ボーエン探検ブック]」 A4判両面刷二つ折り 簡易印刷 令和5年9月発行

● 担当

各展覧会担当者 レイアウト等:大和田涼央(会計年度任用職員)



所蔵作品展 2023年度I「人のよそおい[トクコレ]」

10 学校へのポスター、美術館ニュース、展覧会図録等の送付

(1) ポスター、美術館ニュース等

学校行事や授業などで当館を利用するときに役立つ印刷物を送付。「展覧会案内」や展覧会のポスター・チラシ(3回)などを送付している。

● 送付先

直接送付(小学校164校、中学校78校、高等学校・特別支援学校等50校)

(2) 展覧会図録

学校図書館や授業で活用できるよう、送付可能なものについて図録を送付している。

● 送付先

小学校161校、中学校78校、高等学校・特別支援学校等50校(1種類289冊)

4-3 美術館ボランティア、地域との協働

美術館活動への県民の参加を促し、地域に根ざした、開かれた美術館になるための取り組みとして平成15年度から、美術館ボランティアを導入している。自主的で創造的な活動を目指すボランティアグループ「ビボラボ」(～平成29年3月:活動休止中)の活動を経て、現在は、平成23年度より取り組む「アートイベントサポーター」の活動が中心となっている。

「アートイベントサポーター」は、近代美術館が実施する事業の運営をサポートするボランティアであり、サポートの対象となる事業と日時を美術館が設定して、その中から希望の日時を選べる仕組みとしている。イベントサポーターは年々増加傾向にあり生涯学習の場としての美術館への期待が窺える。新型コロナウイルス感染症拡大を機に一般的となったオンラインミーティングを引き続き併用し、柔軟に参加できるようにしている。

また、N*CAP(鳴門教育大学子ども向け美術ワークショップサークル)、徳島県男性保育者会等の地域の団体などと協働するコラボ企画にも取り組んでいる。いずれも内容は4.1 美術館教育 5共催事業に記載の通り。

次年度以降も、幅広い県民参加を促すとともに、従来の枠にとらわれない地域の団体・グループとの協働について積極的に取り組んでいく。

1 「アートイベントサポーター」の実績

対象事業数 3種類 活動期間4月-3月 登録会員数 計63名。

対象事業別実績

- (1) 美術館ユニバーサル事業の運営:活動期間4月-3月、会員数26名
- (2) 子どものアート活動サポート事業:活動期間5月-3月、会員数18名
- (3) 「チャレンジとくしま芸術祭 2024」の運営:活動期間7月-3月、会員数19名

2 コラボ企画として協働した地域の団体・グループ

- N*CAP(鳴門教育大学子ども向け美術ワークショップサークル)
- 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ
- 徳島県男性保育者会
- ムギちゃん村実行委員会

4-4 社会教育、生涯教育への講師派遣

	講座名	講師	会場	開催日時	対象	参加者
1	いろいろカルチャー講座 お花見ウォーキングin近代美術館「タングラム体験会」	竹内利夫(上席学芸員) 亀井幸子(主席) 山中仁(鳴門教育大学数学科教育コース准教授)	アトリエ2、文化の森芝生広場	令和5年4月8日[土] 10:00-12:00	視聴覚障がい者支援センター受講生	20人
2	だれもが文化でつながるサマーセッション2023 セッション4 「来館しやすい美術館」	竹内利夫(上席学芸員) 亀井幸子(主席)ほか	東京都美術館講堂(東京都)	令和5年7月30日[日] 13:30-15:00	一般	118人
3	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	亀井幸子(主席)	国立国際美術館(大阪府)	令和5年8月7日[月] 14:10-18:00	教員、学芸員	10人
4	トークイベント 「ディーン・ボウエンの魅力」	友井伸一(課長) 宮脇豊(ギャルリー宮脇代表) 太田佳鈴(群馬県立近代美術館学芸員)	群馬県立近代美術館(群馬県)	令和5年8月12日[土] 14:00-15:30	一般	67人
5	第56回全国手話通訳問題研究会サマーフォーラムinとくしま こども企画	亀井幸子(主席) 笠井優(主任学芸員)	展示室、アトリエ2	令和5年8月18日[金] 14:00-16:00	こども企画参加者およびスタッフ	12人
6	第56回全国手話通訳問題研究会サマーフォーラムinとくしま	竹内利夫(上席学芸員)	アステいとくしま(徳島市)	令和5年8月19日[土] 14:45-16:45	手話通訳者等	76人
7	シルバー大学 牟岐校 「近代美術館について」	三宅翔士(主任)	牟岐町役場大集会室(海部郡)	令和5年10月2日[月] 13:00-13:50	一般	6人
8	福祉セミナー	竹内利夫(上席学芸員)	ふれあい健康館(徳島市)	令和5年10月23日[月] 11:00-12:00	一般	20人
9	シルバー大学 美馬校 「近代美術館について」	久米千裕(学芸員)	美馬市地域交流センターミライズ(美馬市)	令和6年1月9日[火] 13:00-13:50	一般	28人
10	シルバー大学 上板校 「近代美術館について」	浅田真珠(学芸員)	上板町老人福祉センター(板野郡)	令和6年2月19日[月] 13:00-13:50	一般	30人
11	海陽町立博物館リニューアルオープン記念イベント 座談会 「どうして海陽町立博物館に影絵なの?」	安達一樹(主席)ほか	海陽町立博物館(海部郡)	令和6年3月31日[日] 13:30-15:00	一般	18人
						合計 405人

4-5 ユニバーサルミュージアム

障がいのある方や幼児、外国人、高齢者など、幅広い利用者に楽しんでもらえる美術館を目指し、活動を行っている。地域の関係者とともに、ワークショップやボランティアなど参加型の要素を重視して取り組んでいる。複合施設の立地を意識し、エントランスやサインなど共用部分の利便性向上も視野に入れている。活動は、全ての人が芸術・文化に親しめることを究極の使命とする、鑑賞支援の実践と考え方を軸にしている。

1 経緯

平成23年度に手話通訳付きの展示解説を初めて行い、地域の関係団体や特別支援学校等との連携を模索した。25年度「みんなが楽しめる美術館づくり事業」、26年度「みんなで創るユニバーサルミュージアム事業」を実施。27年度「開館25周年記念 人間表現を楽しむ25のとびら展」、28年度「暮らしの感覚」展と関連させ、展示とイベントを中心に実践・検証を重ねていった。29年度から「ユニバーサルミュージアム展開事業」の新規予算をもとに備品の整備、改修、ビデオによる発信など、活動の幅を広げ、30年度から「ユニバーサル美術館展」をシリーズ化した。令和5年3月には、第16回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰「学芸員、障害当事者、サポーターが一体となってつくるユニバーサルミュージアム」を受賞した。

*3-2「イロのひみつ展」の項を参照。

2 令和5年度の普及事業

(1) 誰にも参加しやすい内容や情報保障に配慮した催し

1	手話通訳付き展示解説(6月4日)	「境界をこえる」展プログラム
2	交流トーク「美術館でミーティングー色んなキャラがあつていい」(6月4日)	「イロのひみつ」展プログラム
3	展覧会ツアー(7月17日、8月13日)	〃
4	セミナーと相談アワー「子どもの色覚バリアフリーと美術」(7月23日)	〃
5	物語ワークショップ「その色の名を」(8月6日)	〃
6	あの手この手で交流トーク(8月20日)	〃
7	おしゃべり鑑賞アワー「色の名前を忘れてアートに出会う」(8月27日)	〃
8	音楽と色彩のワークショップ(9月3日)	〃
9	手話通訳付き展示解説(11月19日)	「ディーン・ボーエン展」プログラム
10	コラボ企画「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」(2月23日、24日)	
11	コラボ企画「レシピ持ち寄り座談会」(2月23日)	

(2) 自主的な研修・交流など

1	いろいろカルチャー講座 お花見ウォーキングin近代美術館「タングラム体験会」(4月8日)	視聴覚障がい者支援センターと協働
2	視覚障がい者有志による展覧会案内(5月10日、6月2日)	
3	だれもが文化でつながるサマーセッション2023 セッション4「来館しやすい美術館」(7月30日)	主催：東京都歴史文化財団
4	第56回全国手話通訳問題研究会サマーフォーラム inとくしま 入門講座B(8月19日)	
5	スタッフ向けユニバーサル研修「展示室のコミュニケーションいろいろ」(令和6年3月18日、19日)	
6	視察・研究協力等 2件	

(1) アクセス情報の改善

美術館ロビーデジタルサイネージの設置 令和6年3月

(2) サイン

1階エントランスホール床面サインの修繕 令和6年3月

(3) サウンドマスキング

特別展「イロのひみつ」会場マスキングノイズを設置 令和6年7月

● 関連記事等

永田晶子「徳島県立近代美術館のユニバーサルミュージアム事業」『地域創造』vol.49 株式会社文化科学研究所 令和5年12月15日

● 担当者

竹内利夫、亀井幸子、笠井優

5

資料収集保存事業

5-1 令和5年度新収蔵作品・資料

令和5年度に新収蔵となった作品・資料は、油彩画他12点（寄贈12点）、日本画1点（寄贈1点）、彫刻・立体2点（購入1点、寄贈1点）、版画77点（寄贈77点）、素描1点（寄贈1点）、二次資料267点（寄贈267点）である。

● 購入作品

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	作品種別	数量
黒川弘毅	Eros 47	2004年	ホワイトブロンズ	83.0×38.5×21.0	彫刻・立体	1

● 寄贈作品

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	作品種別	数量
伊原宇三郎	水辺の景色（仮題）	1920年頃	油彩 キャンバス	23.8×33.0	油彩画他	1
伊原宇三郎	ジョット他の模写（仮題）	1925-29年	油彩 紙	25.6×19.4（画面左） 25.2×19.2（画面右）	油彩画他	1
伊原宇三郎	ピカソ〈楽器、ボルトの瓶、ギター、トランプの模写〉	1925-29年	油彩 キャンバス	45.7×54.5	油彩画他	1
伊原宇三郎	時計のある静物	1925-26年	油彩 ボール紙	27.0×21.7	油彩画他	1
伊原宇三郎	鉄橋（モレー）	1925年頃	油彩 板	26.8×34.0	油彩画他	1
伊原宇三郎	南フランス プロヴァンスの古都アルルにて	1926年	油彩 キャンバス	53.2×65.0	油彩画他	1
伊原宇三郎	〈丘に座す〉のため習作	1931年	油彩、鉛筆 ボード	26.8×35.0	油彩画他	1
伊原宇三郎	琉球の女	1975年	油彩 キャンバス	45.5×37.8	油彩画他	1
伊原宇三郎	桜島風景	1975年	油彩 キャンバス	37.8×45.4	油彩画他	1
尾藤豊	復活	1961年	油彩 キャンバス	132.0×227.7	油彩画他	1
尾藤豊	顔のある風景2	1961年	油彩 キャンバス	130.0×182.0	油彩画他	1
福田美蘭	ふれちゃった写真（マウリッツハイス美術館）	2003年	アクリル パネル	162.0×130.3	油彩画他	1
原菊太郎	群魚図屏風	1949-50年頃	紙本着色	154.2×138.7	日本画	1
黒川弘毅	Eros 48	2004年	ホワイトブロンズ	80.5×42.0×26.0	彫刻・立体	1
谷口董美	安宅・阿波木偶	1947年	木版 紙	54.3×39.0	版画	1
伊原宇三郎	ノルマンディー風景	1958-59年	リトグラフ 紙	45.6×55.4	版画	1
伊原宇三郎	女の顔	1968年	リトグラフ、水彩 紙	42.0×30.0	版画	1
磯辺行久	ワッペン	1965年	エンボス 紙	28.3×18.7	版画	1
磯辺行久	ワッペン	1965年	エンボス 紙	23.8×17.3	版画	1

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品種別	数量
磯辺行久	ワッペン	1965年	リトグラフ 紙	47.0×32.5	版画	1
磯辺行久	フラー・ドーム	1968年	シルクスクリーン 紙	71.1×54.3	版画	1
磯辺行久	マリインタワー	1968年	シルクスクリーン 紙	45.2×27.5	版画	1
磯辺行久	航空写真	1968年	シルクスクリーン 紙	70.6×23.0	版画	1
磯辺行久	熱気球	1968年	シルクスクリーン 紙	68.0×34.8	版画	1
幾 嘯	版画集〈今日の問題点〉 レインボールームの中の一匹の虫	1969年	オフセット、シルクスクリーン 紙 (4枚組)	36.0×36.0	版画	1
池田満寿夫	版画集〈今日の問題点〉この空の上	1969年	エッチング、ルーレット 紙	16.2×14.4	版画	1
永井一正	版画集〈今日の問題点〉変点	1969年	凸板、オフセット 紙	16.6×17.2	版画	1
野田哲也	版画集〈今日の問題点〉 日記1969年2月28日	1969年	木版、シルクスクリーン 紙	15.0×15.0	版画	1
福田繁雄	版画集〈今日の問題点〉 正3面体の展開図	1969年	平凹板 紙	15.0×15.0	版画	1
横尾忠則	版画集〈今日の問題点〉写性	1969年	シルクスクリーン 紙	19.0×13.6	版画	1
吉原英雄	版画集〈今日の問題点〉 オレンジ色のしずく	1969年	リトグラフ 紙	16.5×16.6	版画	1
一原有徳	Branding	1980年頃	熱板 (紙焼き付け) 紙	24.0×17.4	版画	1
山下菊二	黄泉を識る梟	1981年	リトグラフ 紙	35.4×49.8	版画	1
久保卓治	174, Blackfriars Court	1983年	エングレービング 紙	29.8×15.2	版画	1
久保卓治	Rotherhithe Tube Station	1984年	エングレービング 紙	19.5×27.3	版画	1
久保卓治	Smithfield Market	1984年	エングレービング 紙	32.2×22.7	版画	1
久保卓治	Metropolitan Wharf	1985年	エングレービング 紙	18.5×23.8	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.2	1984-85年	インタリオ 紙	42.3×34.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.3	1984-85年	インタリオ 紙	45.5×42.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.4	1984-85年	インタリオ 紙	45.5×42.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.5	1984-85年	インタリオ 紙	44.0×36.6	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.6	1984-85年	インタリオ 紙	61.5×47.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.7	1984-85年	インタリオ 紙	61.5×44.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.8	1984-85年	インタリオ 紙	51.0×31.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.9	1984-85年	インタリオ 紙	35.0×30.9	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.10	1984-85年	インタリオ 紙	42.4×57.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.13	1984-85年	インタリオ 紙	57.0×42.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.14	1984-85年	インタリオ 紙	44.9×62.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.16	1984-85年	インタリオ 紙	60.0×42.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.17	1984-85年	インタリオ 紙	60.0×42.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.19	1984-85年	インタリオ 紙	44.5×58.3	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.22	1984-85年	インタリオ 紙	42.4×62.2	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.23	1984-85年	インタリオ 紙	44.9×62.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.24	1984-85年	インタリオ 紙	45.0×62.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.25	1984-85年	インタリオ 紙	29.9×50.0	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.26	1984-85年	インタリオ 紙	60.0×42.5	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.29	1984-85年	インタリオ 紙	61.9×44.9	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.30	1984-85年	インタリオ 紙	72.5×51.6	版画	1
加納光於	「波動説」- intaglioをめぐる No.31	1984-85年	インタリオ 紙	62.0×31.2	版画	1
柄澤齋	肖像XXVII オディロン・ルドン	1985年	木版 紙	21.5×15.6	版画	1
柄澤齋	肖像XXXVII エドワルド・ムンク	1986年	木版 紙	15.0×21.3	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉秋晝・山麓にて	1988年	エッチング 紙	36.0×30.0	版画	1

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	作品種別	数量
吉田勝彦	銅版画集〈森〉北の森(薫風)	1988年	エッチング 紙	35.7×59.3	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉風化する森	1988年	エッチング 紙	29.7×60.0	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉聖森	1988年	エッチング 紙	36.0×59.7	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉死の森(木下闇)	1988年	エッチング 紙	37.5×51.0	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉晴天好日	1988年	エッチング 紙	29.7×60.2	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉仲秋良夜	1988年	エッチング、ライン・ア クアチント 紙	26.5×60.2	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈森〉雪深き日	1988年	エッチング 紙	48.8×60.2	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 隅田川と両国	1991年	エングレービング 紙	23.8×18.0	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 月と星と(1991年、1月17日 P.M.8:40)	1991年	エングレービング 紙	18.2×29.7	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 水門のある風景	1991年	メゾチント 紙	22.4×33.7	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉勝鬃橋近辺	1991年	エングレービング 紙	23.7×36.0	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉浜離宮夕照	1991年	メゾチント 紙	24.0×36.2	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 浜町新大橋と高速6号向島線	1991年	エングレービング 紙	24.0×36.2	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 永代橋・越中島付近	1991年	エングレービング 紙	24.0×36.4	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 隅田川立夏(佃島・月島付近)	1991年	エングレービング 紙	23.0×41.3	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉 向島・言問橋春うらら	1991年	エングレービング 紙	29.7×36.3	版画	1
吉田勝彦	銅版画集〈隅田川河岸〉廃屋と運河	1991年	エングレービング 紙	36.3×45.5	版画	1
杉山晶子	Imperfect KnowledgeI (peach-blue)	1995年	白黒写真、 シルクスクリーン	74.7×51.2	版画	1
杉山晶子	Imperfect KnowledgeV (turip-blue)	1996年	白黒写真、 シルクスクリーン	72.5×54.2	版画	1
杉山晶子	in-spiralsI	1998年	タイプRプリント	160.0×160.0	版画	1
黒崎彰	はこぶね	1995年	木版 韓国楮紙	89.6×60.0	版画	1
黒崎彰	タルタロスの門	1996年	木版 韓国楮紙	89.7×60.0	版画	1
黒崎彰	族長	2002年	木版 韓国楮紙	89.5×60.0	版画	1
黒崎彰	馬のくら	2002年	木版 韓国楮紙	89.7×58.2	版画	1
黒崎彰	つむじ風	2002年	木版 韓国楮紙	89.5×60.0	版画	1
黒崎彰	禁じられたゾーン2	2009年	木版 韓国楮紙	89.0×59.5	版画	1
黒崎彰	禁じられたゾーン4	2009年	木版 韓国楮紙	89.4×59.0	版画	1
原陽子	朝に近い夜	1997年	エッチング 紙	83.3×60.6	版画	1
原陽子	夜をまつ	1998年	エッチング 紙	98.6×118.5	版画	1
尾藤豊	台車	1954年	インク、鉛筆 紙	25.2×35.4	素描	1
幸田春耕・暁冶	出品歴記録資料と書簡	1955-73年頃			二次資料	236
幸田春耕・暁冶	画材(筆、刷毛、画用ナイフ、絵具、墨、 膠)				二次資料	28
黒崎彰・資料	赤い闇5 版木A	1970年	版木	91.5×63.4×1.0	二次資料	1
黒崎彰・資料	赤い闇5 版木B	1970年	版木	91.0×63.4×1.0	二次資料	1
黒崎彰・資料	赤い闇5 版木C	1970年	版木	90.8×63.9×1.0	二次資料	1

5-2 所蔵作品・資料の現状

		昭和60年- 平成元年度			平成2年度			平成3年度			平成4年度			平成5年度			平成6年度			平成7年度			平成8年度			平成9年度			平成10年度			平成11年度		
		購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換	購	入	寄 贈 管理換			
油 彩 画 他	国内	93	14		4	18	4			6	30		6			11	5	4		20	1	9	21		11	6		8	3		2	8		
	国外	19			1					3			2						2					2			1							
	小計	112	14		5	18	4			9	30		8			11	5	4	2	20	1	9	21		13	6		9	3		2	8		
日 本 画	国内	7	2		10	24	3			1			1			3						7	3		2	1		4			11	8		
	国外																																	
	小計	7	2		10	24	3			1			1			3						7	3		2	1		4			11	8		
彫 刻・ 立 体	国内	113	16		4	10	2			4	2		11								2			1	3		1			2				
	国外	22			1		1			1			2			3											1							
	小計	135	16		5	10	3			5	2		13			3					2			1	3		2			2				
水 彩 画	国内	13				59	6			74	165		2			5					2	1		2			2			4	3			
	国外	1																																
	小計	14				59	6			74	165		2			5					2	1		2			2			4	3			
素 描	国内	12	9			190	1			8	5		1						1		4	62		5	134					1				
	国外	1																																
	小計	13	9			190	1			8	5		1						1		4	62		5	134					1				
写 真・ 映 像	国内	7														1											1			49				
	国外																							1			2							
	小計	7														1								1			3			49				
版 画	国内	825	52		27	1	104			5	1		30	2		4			1	3		41	81		7	23		2	94		4			
	国外	469			13		69			23	1		29											34			49			9				
	小計	1,294	52		40	1	173			28	2		59	2		4			1	3		41	81		41	23		51	94		13			
二 次 資 料	国内	299			64	56	1			4	13		1	14		8			93		1	855			977									
	国外	298			438		1			168			2			3														1				
	小計	597			502	56	2			172	13		3	14		11			93		1	855			977					1				
そ の 他	国内																															2		
	国外	1																																
	小計	1																														2		
計	国内	1,369	93		109	358	121			102	216		52	16		31	6	4	1	117	1	66	1,023		28	1,144		18	97		73	21		
	国外	811			453		71			195	1		35			6			2					37			53			10				
	小計	2,180	93		562	358	192			297	217		87	16		37	6	4	3	117	1	66	1,023		65	1,144		71	97		83	21		

平成12年度				平成13年度				平成14年度				平成15年度				平成16年度				平成17年度				平成18年度				平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度				
購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換	購	入	寄	贈	管理換
1	12				6	3				1					9	21	1	3	3			6					1	18			1	9				12			5	1				
					2																																							
1	12				8	3				1					9	21	1	3	3			6					1	18			1	9				12			5	1				
4					3					12	2				4	1	1	5				2		14	6			1			7				20			4						
4					3					12	2				4	1	1	5				2		14	6			1			7				20			4						
1	8				3	1																													1	3		1						
					2										1			2	1																									
1	8				5	1									1			2	1																1	3		1						
1															1			8				33		1					1				1			1								
1															1			8				33		1					1				1			1								

令和5年3月末現在

平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			小 計				計
購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	購 入	寄 贈	管理換	他							
	3	7				44		6				1	1	1	2		1	3		15		1	2		12		181	283	32						496								
											2							1		1							35	1							36								
	3	7				44		6			2	1	1	1	2		1	4		15	1		1	2		12	216	284	32						532								
	2	2		2						6	1	1		1		2	1	5		1			1			1	94	78	27						199								
	2	2		2						6	1	1		1		2	1	5		1			1			1	94	78	27						199								
1	2		3	1		1												3						1			152	39	10						201								
																											1	36	2							38							
1	2		3	1		1												3							1	1	188	41	10						239								
	1		1			56		2				1								1							123	264	59						446								
																											1									1							
	1		1			56		2				1								1							124	264	59						447								
	18		2			17												3								1	57	322	190						569								
																											2									2							
	18		2			17												3								1	59	322	190						571								
	1						1	1							1		1										80	3							83								
																											6									6							
	1						1	1							1		1										86	3							89								
				17	7	4		3	2	75		4			1					28				4		77	1,141	645	1						1,787								
			1	5						1			5	1		38			1								713	50							763								
			1	22	7	4		3	2	76		4	5	1	1	38			1	28				4		77	1,854	695	1						2,550								
	26		1	31		3		302								17		5		28				42		267	379	3,810	56	2					4,247								
																											911									911							
	26		1	31		3		302								17		5		28				42		267	1,290	3,810	56	2					5,158								
					1																						1	2							3								
																											2									2							
					1																						3	2							5								
1	53	9	7	51	8	124	1	314	3	81	1	7	1	2	4	19	3	19		73			2	48	1	359	2,208	5,447	375	2					8,032								
				1	5						1	2		5	1		38		1	1		1					1,706	52							1,758								
1	53	9	8	56	8	124	1	314	3	82	3	7	6	3	4	57	3	20	1	73	1		2	48	1	359	3,914	5,499	375	2					9,790								

5-3 寄託作品・資料

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	作品種別	備考
伊原宇三郎	南伊豆風景	1935年	油彩 キャンバス	53.0×65.2	油彩画他	令和7年3月31日まで
原鵬雲・資料	文部省辞令 (補文部省十三 等出仕)	1874年 7月15日	墨 紙		二次資料	令和7年3月31日まで
原鵬雲・資料	文部省文書 (賞金給付)	1878年 2月15日	墨 紙		二次資料	令和7年3月31日まで
原鵬雲・資料	原鵬雲写真 (洋装)	明治期	写真		二次資料	令和7年3月31日まで
原鵬雲・資料	原鵬雲写真 (洋装)	明治期	写真		二次資料	令和7年3月31日まで
一原五常	風景	1930年	油彩 キャンバス	117.0×91.2	油彩画他	令和8年3月31日まで
森堯之	梅紋の食器と盆	1941年	油彩 板	32.0×41.0	油彩画他	令和9年3月31日まで
森堯之	風景(化粧庇の あるロシア風家 屋)	1942年	油彩 板	22.7×15.5	油彩画他	令和9年3月31日まで
森堯之	無題	1930年代	水彩 紙	12.0×20.0	水彩	令和9年3月31日まで
森堯之	フィンガー・ピク チュア	1938年	ポスターカラー 紙	8.8×15.9	水彩	令和9年3月31日まで

5-4 資料収集委員会・価格評価

1 資料収集委員会

● 委員

(◎委員長 ○副委員長)

氏名

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| ◎ 宮下規久朗 | 神戸大学大学院人文学研究科教授 |
| ○ 平木 美鶴 | 徳島県美術家協会洋画部理事・徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授 |
| 井上 奈美 | 徳島県立脇町高等学校教諭・徳島県高等学校教育研究会美術学会会員 |
| 齋藤友紀子 | 鳴門教育大学附属小学校教諭・徳島県小学校教育研究会図画工作部会員 |
| 田中 佳 | 徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授 |
| 岩永 悦子 | 福岡市美術館、福岡アジア美術館館長 |
| 寺口 淳治 | 広島県現代美術館館長 |
| 山野 英嗣 | 和歌山県立近代美術館館長 |

● 開催

令和6年1月12日[金] 第45回資料収集委員会開催

2 価格評価

- 委員は利害関係を有しない者に依頼
- 開催 令和6年1月11日[木]

5-5 作品修復

令和5年度の修復作品は、計2点。

分野	作品No.等	作者名	作品名	主な処置
油彩画	1100414	山下菊二	憑憑CUBA	絵具層の剥落止め、作品全体の洗浄、絵具層の欠損部の充填と補彩を行った。画面及び裏面の鳥糞は、制作後に付着した汚損のみ除去した。複数のキャンバスが支持体となっているため、裏板の取り付けなどで構造を安定させた。
その他	1190005	大久保英治	吉野川一場の刻 6/30・9/29・12/1	作品パーツである錆びた鉄釘を脱塩処理し、形状の崩壊を防ぐため樹脂で補強した。

5-6 デジタルアーカイブ

美術作品や関連資料を撮影しデータとして保存・活用するアーカイブ事業に着手した。作品等を高精細撮影するほか、貴重ポジフィルムや音声・ビデオテープ等のデータ化も対象として想定している。

1 経緯

徳島県立図書館が既に構築していた「とくしまデジタルアーカイブ」を拡充し、文化の森の各施設も合流する案が開園30周年記念事業として取り組まれ、当館も参加することになった。令和元年度に撮影とデータ作成作業に着手し、令和2年5月、6月に公開。また11月に文化の森の各館合同で紹介展示を行った。

開館当初から運用してきた作品情報等データベースとの連携、また資料保存やレファレンスなど既存事業の中での位置づけについて、これから整備していく必要がある。

2 撮影、データ作成

(1) 高精細撮影 25点

伊原宇三郎〈白衣を纏える〉1928年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈「白衣を纏える」のためのスケッチ〉1928年頃 鉛筆 紙
伊原宇三郎〈「白衣を纏える」のための下絵〉1928年頃 鉛筆 紙
伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(8)〉1930年頃 木炭 紙
伊原宇三郎〈陰〉1946年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈「陰」に関連するもの(A)〉制作年不詳 鉛筆 紙
黒崎彰〈赤い闇6原版4〉1970年 シナベニヤ合板
黒崎彰〈赤い闇5〉1970年 木版 紙
山下菊二〈憑憑CUBA〉1968年 油彩 キャンバス
山下菊二〈顔色なし〉1977年 油彩 キャンバス
山下菊二〈王者のわかれ〉1977年 油彩 キャンバス
山下菊二〈徴兵拒否〉1977年 油彩 キャンバス
山下菊二〈覆い被さる白い塊と開けた口〉1977年 油彩 キャンバス
山下菊二〈寄せ書きを戦犯からもらった米人〉1977年 油彩 キャンバス
山下菊二〈灰色の顔〉1977年 油彩 キャンバス
山下菊二〈同行二人〉1977年 油彩 キャンバス
ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉1. いけにえ〉1922-23年 木版 紙

ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉2. 志願兵たち〉1921-23年 木版 紙

ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉3. 両親〉1923年 木版 紙

ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉4. 寡婦I〉1922-23年 木版 紙

ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉5. 寡婦II〉1922-23年 木版 紙

ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉6. 母親たち〉1922-23年 木版 紙

ケーテ・コルヴィッツ〈版画集〈7点組木版画集 戦争〉7. 民衆〉1922-23年 木版 紙

ジュール・パスキン〈下着の裸婦〉1926年 油彩 キャンバス

フェルナン・レジェ〈美しい自転車乗り〉1937年 油彩 キャンバス

(2)3D撮影 1点

アンリ・ローランス〈片腕をあげて座る女〉1930年 テラコッタ

3 コンテンツ公開

(1)とくしまデジタルアーカイブ (ADEACシステム)

閲覧方法	作品
1枚ビューア 「画家のタッチにせまる」	原鵬雲〈楠公桜井駅図〉 アルベール・グレーズ〈台所の母子〉 ヴァシリー・カンディンスキー 版画集〈響き〉の内 1.赤色の前の二人の騎手 6.〈ファゴット〉のヴィネット 7.月の風景の中の二人の婦人 13.〈即興25〉からのモチーフ 15.東洋的 16.赤と青と黒の中の三人の騎手 30.黒い斑点 32.山々 36.りんごの木 52.大いなる復活 54.かすみ マックス・ベックマン 版画集〈ベルリンへの旅1922〉10点 1.ホテルでの自画像 2.幻滅した人々I 3.夜 4.ストリップ 5.アイスクレーター 6.幻滅した人々II 7.貧しい人々 8.劇場のロビー 9.大衆酒場 10.煙突掃除夫 パウルクレー〈子供と伯母〉 イヴ・クライン〈空気の建築:ANT 119〉
1枚ビューア 「日本画の筆づかい」	横山大観〈樹下苦行〉 入江波光〈草園の図〉
重ね並べビューア 「版の迷宮」	阿波の鳴門 原版 版木 阿波の鳴門・とくしま 阿波の藍 原版 版木 阿波の藍・とくしま 迷彩風景10 原版 版木 迷彩風景10 見本刷り 迷彩風景10
3Dビューア 「彫刻360度」	パブロ・ガルガーリョ〈キキ・ド・モンパルナスのマスク〉

https://adeac.jp/tokushima-bunkanomori/top/toppg/top_modern_art.html

● 担当者

竹内利夫、久米千裕、飯田恵実

6

広報活動

6-1 広報用印刷物

(展覧会関連事業のものは、展覧会事業の項に記載)

2023年度展覧会案内:16.8×30.0cm、両面印刷、蛇腹折り

美術館ニュース(126号):A3判三つ折り6ページ 令和5年7月1日発行(7月号)

特別展 イロのひみつーなにいろに見る? 竹内利夫

所蔵作品展 2023年度Ⅱ「祈りと幻想」(前期)

普及行事、利用案内

所蔵作品紹介 利根山光人 三宅翔士

美術館ニュース(127号):A3判三つ折り6ページ 令和5年10月1日発行(10月号)

特別展 ディーン・ボーエン オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち 友井伸一

所蔵作品展 2023年度Ⅱ「祈りと幻想」(後期)

普及行事、利用案内

新収蔵作品紹介 椿貞雄〈弟茂雄像〉 宮崎晴子

美術館ニュース(128号):A3判三つ折り6ページ 令和5年12月1日発行(12月号)

所蔵作品展 2023年度Ⅲ「物語をさがしに」 宮崎晴子

フリースペースチャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル 友井伸一

コラム 作品をまもる美術館の仕事 飯田恵実

普及行事、利用案内

所蔵作品紹介 岡本信治郎〈ミノールの死〉 浅田真珠

美術館ニュース(129号):A3判三つ折り6ページ 令和6年3月31日発行(4月号)

特別展 ユーモア-おかしみの表現に潜むもの- 久米千裕

所蔵作品展 2024年度Ⅰ「新収蔵作品を中心に」

普及行事、利用案内



6-2 ホームページ

1 概要

(1) ホームページ

徳島県文化の森総合公園情報提供システムとして、1990年の開館以来、所蔵作品データベースを公開してきた。自館ホームページは2006年開設。作品や作家などの情報検索と連動させたホームページ運営に特徴がある。Webコンテンツの充実、SNS発信により、利便性を図るとともに利用者増につとめている。

(2) SNS

X(旧Twitter)は2014年、YouTubeは2017年、Instagramは2023年から運用。きめ細かい情報発信と新たな来館者層の開拓につとめている。

2 実績

(1) Instagram開設 令和5年4月15日

(2) 「境界をこえる」展特設サイト 令和5年4月15日

(3) 「ディーン・ボーエン展オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」展特設サイト 令和5年8月29日

(4) 「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭 2024」特設サイト 令和5年7月27日

*デジタルコンテンツについては4-1「美術館教育」、デジタルアーカイブについては5-6「デジタルアーカイブ」の項を参照。

6-3 サテライト・ギャラリー

平成6年度より、近代美術館の所蔵作品の複製写真を額装したものを展示してきたが、デジタル化の促進による事業の効率化を図るため、令和5年度4月より、複製写真に代えて、画像と文章で構成した映像をモニターで放映することとした。県庁1階、西部総合県民局美馬庁舎、西部総合県民局三好庁舎、南部総合県民局阿南庁舎の4ヶ所で実施した。

6-4 ニュース会員

本館の展覧会や関連事業など催しのお知らせを送付するサービス。会員の特典として、年度内に開催される特別展、所蔵作品展のどちらにも使用できる招待券(個人会員の2～8月入会者は2枚、9～1月入会者は1枚。法人会員は25枚)が送られる。

令和5年度の会員数は個人会員が19、法人会員1団体。年間4回、各種印刷物の送付を行った。主な送付物は、年間展覧会案内(年1回)、美術館ニュース(年4回)の他、展覧会のチラシ、出品リスト、月毎の美術館催し案内、「文化の森から」など。

また、ニュース会員制度が会員による美術館活動への参加等に直接結びつくものではないことや急速なインターネットの発展を踏まえて、令和5年度を最後に現行のニュース会員制度は廃止し、次年度以降はウェブサイトやSNS等によって積極的な情報発信を行うこととした。しかしながら、高齢者を中心に紙媒体の美術館ニュースへのニーズがあることも考え、対応していく予定である。

調査研究事業

館蔵作家、作品に関する調査研究や、展覧会企画、作品収集などのための調査研究を行うとともに、近現代美術や美術館教育、博物館学など本館の業務に密接につながる諸分野について、広く調査研究を行っている。

7-1 研究報告会

調査研究活動を組織的かつ継続的に推進するとともに、その成果を館員が共有するため、研究報告会を開催している。

研究報告会で取り上げるテーマには、大別して複数の職員が共同で取り組む「共同研究テーマ」と、各職員ごとに設定したテーマに取り組む「個別研究テーマ」の2つがある（いずれも年度を跨ぐ継続研究を認める）。「共同研究テーマ」は職員による作業チームで作業を進め、随時、経過を研究報告会に報告する。（7-1-1共同研究参照）「個別研究テーマ」は、必要に応じて研究会に進捗状況を報告し、出席者による討議を重ねることで、研究の深まりと館内での共通理解をはかる（7-2研究実績参照）。本年度は3回開催した。

第1回 令和5年11月22日（個別研究テーマに関する発表）

久米千裕「「平和」を冠した公共彫刻について」

三宅翔士「戦争と記憶－奉安殿を訪ねて」

浅田真珠「【修士論文概要報告】第二次イタリア独立戦争と美術－ジョバンニ・ファットーリ〈マジェンタの戦いにおけるイタリア軍野営地〉を中心に」

「イタリアの3Cについて」

「岡本信治郎〈ミノールの死〉について」

第2回 令和5年12月20日（個別研究テーマに関する発表）

森芳功「三宅克己の画業と生涯（十二）－写真と水彩画のはざままで」

友井伸一「大久保英治 初期作品調査報告」

笠井優「美術館所蔵品を用いた学校向けICT機器活用教材の事例調査」

宮崎晴子「福田美蘭〈ぶれちゃった写真（マウリッツハイス美術館）〉について」

第3回 令和6年1月25日(個別研究テーマに関する発表)

竹内利夫「カラーユニバーサルと美術鑑賞」

飯田恵実「菊畑茂久馬オブジェ作品群の調査」

「設楽知昭〈目の服4〉に発生した生成物の調査」

江川佳秀「板東敏雄をめぐって」

安達一樹「令和5年の県内美術活動等の状況についてー2018年からの動向もふまえて」

7-1-1 共同研究

徳島の美術に関する通史的研究

本館は開館以来、地域の美術を通史的に掘り起こす作業を続け、情報の蓄積に努めている。その成果は、作品や資料の収集につなげるとともに、特別展や所蔵作品展、『徳島県立近代美術館ニュース』や『徳島県立近代美術館研究紀要』等の刊行物を通じて公開している。

展覧会としては、令和5年度は各期の所蔵作品展ごとに「徳島ゆかりの美術」のコーナーを設け公開した。(3-1 常設展2023年度I～Ⅲを参照)

収蔵作家資料の調査と公開

本館では、作品だけでなく、作家の遺品や旧蔵書等のうち本館にとって特に意義深いものについては積極的に収蔵し、保管、公開している。これらの資料群は、個々の作家研究や作品研究、あるいは地域の美術に関する研究を進める上で基礎的な資料となるだけでなく、広く日本近代美術の研究に多くの知見をもたらすものである。収蔵にあたっては、基礎的な調査と整理を行い、基本的なデータを本館データベースや特別資料目録で公開するとともに、必要に応じて再調査を行っている。

令和5年度は、所蔵作品展 2023年度Ⅲにおける「徳島ゆかりの美術」のコーナーにて、伊原宇三郎や山下菊二、三宅克己の作品を展示し、会期中に、2つの美術館講座「徳島の作家に気づかされたことー伊原宇三郎と山下菊二」、「徳島で生まれた水彩画・アマチュア写真の開拓者ー三宅克己の生涯について」を開催。3人の作家に関するこれまでの調査について紹介した。

収蔵作品の再調査

当館の収蔵作品・資料は開館準備を行っていた昭和59年4月に最初の受け入れを行って以来9,000点を超えるまでに成長している。現在に至るまで、作品・資料の保存には細心の注意を払い、必要に応じて保存修復処置を施してきた。しかしながら、近代以降の作品の中には、保存修復において前例のない素材・技法を含む物が多く、それらの劣化、損傷の対策が各地の美術館で課題となっている。そのため、今後は展示や貸出の依頼時の確認に加え、定期的な状態調査を行い、作品状態の蓄積や予防的保存に努めていく予定である。

7-2 研究実績

凡例

- 1 個別研究の概要
- 2 図書、図録等
- 3 論文
- 4 報告他
- 5 解説、翻訳他

- 6 学会発表
- 7 講演会、各種研究会等での発表
- 8 社会的活動
- 9 所属学会
- 10 教育活動

1 個別研究の概要

「大久保英治 初期作品調査報告」

令和6年度開催予定の特別展「大久保英治：辺境の作家 1973-2024」(令和6年7月13日-9月23日)に関する作品調査の一環で、大久保英治の1970年代後半から80年代初め頃までの、初期の油彩、ドローイング、版画類、約300点の調査を行った。

作品は、大久保氏の大阪市の自宅、岡山県矢掛町の実家、鳥取県岩美町の元アトリエ、奈良県高取町の現アトリエなどに保管されていたものである。

これらのなかには、独自の転写技法によるトランスクリプションのシリーズのように、評価を受けてイギリスのヴィクトリア&アルバート美術館や国立国際美術館に収蔵されたものもあるが、多くはこれまでほとんど公開されることがなかったものである。内容は点、線、面の探求など、ミニマル・アートの系列にあるものが多い。大久保は、1980年代前半からランド・アートへと傾いていくが、その展開を考察する上で、これらの初期作品は示唆に富んだ興味深い作品群であると考えられる。

この研究結果については、特別展「大久保英治：辺境の作家 1973-2024」で紹介するとともに、令和6年度も引き続き調査を継続していきたいと考えている。

2 図書・図録等

- ・友井伸一、和南城愛理(共著)『ディーン・ボーエン オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち』展図録 (株)アートプランニングレイ 令和5年7月

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策79 底流に自由・独立の理念」『徳島新聞』 令和5年7月22日
- ・「ディーン・ボーエンの世界を旅する」『版画芸術』第201号 令和5年9月 p.113
- ・「美術館からのエッセイ 特別展ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年9月
<http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202309.html>
- ・「ディーン・ボーエン オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」『徳島県立近代美術館ニュース』第127号 令和5年10月 pp.2-3
- ・「美術館からのエッセイ 徳島発、未来のアーティスト発見! いくつになってもチャレンジ! フリースペース チャレンジとくしま芸術祭2024 ザ・ファイナル」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和6年1月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202401.html>

8 社会的活動

- ・徳島県美術展「クリエイター部門」審査員

9 所属学会

- ・美術史学会
- ・美学会

10 教育活動

- ・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の意義 歴史と課題」令和6年2月29日、「博物館教育論 地域連携:ボランティア コラボ企画など」令和6年3月8日

1 個別研究の概要

「カラーユニバーサルと美術鑑賞」

美術館における色に関するコミュニケーションについて、特別展「イロのひみつ」の実践を通して検討した。当館のユニバーサルミュージアムの取り組みを、色覚特性の問題に役立てることができるかを探るものである。

カラーユニバーサルデザインは、色覚特性に配慮した情報伝達の工夫である。見づらい配色を減らすことで不便や格差が解消されることを目指す、「社会モデル」の障がい論として考えることもできる。展覧会に先立って行った当事者ヒアリングでは、美術館での困りごととして、「色の名を“間違う”ので交流しづらい」、「解説文と実感が合わない」、「色の説明自体が少ない」といった声が聞かれた。(2023年。協力: CUD友の会/カラーユニバーサルデザイン機構理事伊賀氏/徳島CUDOをすすめる会)

当館の交流型鑑賞プログラムでは、多様な感覚や考え方を尊重する。“間違い”を減らすのではなく、意見に間違いはないという姿勢である。「イロのひみつ」展においても、色づかいに関する話題提供を増やしたり、見方の違いを交流するパネルを用意したりして工夫した。しかし、感覚の違いを解決するのではなく、感じた通りを認め合うために何が必要なのか、容易には答えを見つけないことができなかった。とりわけ次の2点が難しく感じられた。

- ①どこを見てそう感じたか、実感して共有するのが困難である。
 - ②絵の評価の通説を伝えるには、個々人の見え方の特性が明らかでなければ説明のしようがない。
- こうした課題を関係者の協力を得ながら、慎重に探究し続けたいと考えている。

5 解説、翻訳他

- ・「イロのひみつ-なにいろに見る?」『徳島県立近代美術館ニュース』第126号 令和5年7月 pp.1-3
- ・「美術館からのエッセイ「イロのひみつ展へようこそ」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年7月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202307.html>
- ・「アート散策80 芸術・社会 つながり広げる」『徳島新聞』 令和5年8月23日
- ・「展覧会レポート アワガミ国際ミニプリント展2023」『版画芸術』No.203 令和6年3月 pp.128-129

7 講演会、各種研究会等での発表

- ・「トークセッション4『来館しやすい美術館』」(本館亀井幸子係長と分担) だれもが文化でつながるサマーセッション アーツカウンシル東京 東京都美術館 令和5年7月30日
- ・「美術館がめざすユニバーサル事業とその未来」(B講座 入門III) 「第56回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラムinとくしま～」実行委員会 アスティとくしま 令和5年8月19日

8 社会的活動

- ・アワガミ国際ミニプリント展2023審査員
- ・徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター企画委員

9 所属学会

- ・意匠学会会員
- ・美術科教育学会会員

10 教育活動

- ・四国大学生生活科学部非常勤講師「デザイン論」
- ・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の実際と課題 諸要素の整理と紹介」令和6年3月1日、「博物館教育論 ユニバーサルミュージアム 実際と展望」令和6年3月8日

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策81 多様な人 認め合える場に」『徳島新聞』 令和5年9月26日

8 社会的活動

- ・令和5年度「第70回文化財保護強調のためのポスター」審査委員 令和5年9月15日
- ・国立アトリサーチセンター「DEAI」サーチラボ」への調査協力 令和5年9月1日-10月31日

9 所属学会

- ・美術科教育学会

10 教育活動

- ・令和5年度鳴門教育大学嘱託講師（教員養成実地指導講師）
- ・令和5年度「美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」講師 令和5年8月7日

1 個別研究の概要

「板東敏雄をめぐって」

板東敏雄（1895-1973年）は現在の徳島市新南福島に生まれ、父親の仕事の都合で宮崎県で中等教育を終えた。その後大阪で織田東禹に師事し、1914年からは川端画学校洋画部で学んだ。1918年の第12回文展から1920年の第2回帝展まで連続して入選した後、1922年に渡仏し、その後二度と帰国することがなかった。

フランスでは到着直後から各種サロンに精力的に出品し、遅くとも1926年にはシェロン画廊の契約作家となり、個展を開催している。シェロンは1931年に亡くなったが、その後も板東を支援する画商や愛好家が途切れることなく、画家として自活できた。その間にフランス人女性と結婚し、第二次世界大戦勃発時は日本大使館から在留邦人に向けて引揚げ勧告が出たが、夫人が身重だったこともありフランスにとどまった。戦後も晩年まで旺盛な制作活動を続けている。渡仏後は日本美術界と没交渉だったため、国内ではほとんど知られていないが、エコール・ド・パリで成功を収めた数少ない日本人画家の一人だった。

本館では1994年以来繰り返し回顧展の開催を検討してきたが、種々の事情が重なって実現できずにいる。板東に関する情報を館内で共有し、展覧会企画を次の世代に引き継ぐため、作品や関係者の所在を含め、板東に関する調査の現状を報告した。

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策76 作品だけは残り続ける」『徳島新聞』 令和5年4月18日
- ・「美術館からのエッセイ 徳島県立近代美術館の調査研究活動（承前）」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年11月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202311.html>

7 講演会、各種研究会等での発表

- ・美術館講座「徳島の作家に気づかされたこと－伊原宇三郎と山下菊二」 令和6年3月16日 徳島県立近代美術館

8 社会的活動

- ・新居浜市美術館収集審査委員会委員
- ・全国美術館会議広報部員
- ・全国美術館会議地域美術研究部会員

9 所属学会

- ・美術史学会
- ・明治美術学会

10 教育活動

- ・四国大学大学院文学研究科非常勤講師「美学・美術史特論」
- ・徳島大学総合科学部非常勤講師「美術概論」

森 芳功

1 個別研究の概要

「三宅克己の画業と生涯(十二) ― 克己にとって写真とは何だったのか」

近代日本の水彩画家、三宅克己(1874-1954、徳島市出身)の写真との関わりを検討した。彼は、アメリカ留学時代の1898年にカメラを購入し、写真に取り組みはじめる。大正期にはベストセラーとなった『写真のうつし方』(1916年、アルス)を刊行。以後、太平洋戦争がはじまる前年の1940年まで、アルスと雑誌『カメラ』を拠点にして、活版に撮影と執筆を続けた。大正期以降の彼は、著名な水彩画家であるとともに写真家であった。

本研究では、三宅の写真に関する事績や考え方の整理を試みた。そのなかで、明治の水彩画隆盛期においてすでに写真界と関わりを持ち、写真界に一定の影響を与えていたことも明らかとなった。

彼は、写真の「機械的」描写の機能に注目し、小型カメラを用いた「スケッチ写真」や「拡大印画法」により、現実を直視するように震災や戦争の惨禍を捉え、自然美を追求した。そして、その方法の普及により、個人としての表現に留まらず指導者たりえたことを指摘。また、彼が考えた写真と絵画の「領分」、彼の表現における写真と水彩画の関係についても検討した。

なお、その成果は、『徳島県立近代美術館研究紀要』第24号で公表した。

3 論文

- ・「三宅克己の画業と生涯(十二) ― 克己にとって写真とは何だったのか」『徳島県立近代美術館研究紀要』第24号 令和6年3月 pp.1-35
- ・「廣島晃甫―翻弄された大正期個性表現の精神」古田亮編著『列島の日本美術史』ミネルヴァ書房 令和5年執筆(令和6年刊行予定)

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策77 政治超えた故郷への思い」『徳島新聞』 令和5年5月25日
- ・「美術館からのエッセイ 徳島県立近代美術館の調査研究活動から―徳島出身の水彩画家・三宅克己について」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年10月
<http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202310.html>
- ・「小西長広〈踊妓〉1915年」「伊藤小坡〈宴の暇〉1934年」他、計68点。橋本繁美編『培広庵コレクション 美人画の雪月花Ⅱ・Ⅲ』橋本広告事務所 令和6年3月 p.10、p.13他

7 講演会、各種研究会等での発表

- ・美術館講座「徳島で生まれた水彩画・アマチュア写真の開拓者―三宅克己の生涯について」 令和5年3月20日 徳島県立近代美術館

9 所属学会

- ・明治美術学会
- ・美術科教育学会

10 教育活動

- ・鳴門教育大学学校教育学部嘱託講師「博物館経営論」

1 個別研究の概要

「徳島県内の美術状況」

県内における美術活動の状況把握と、県民の創作活動の向上への協力を目的に、県内での美術及び周辺領域(手工芸等)の作品発表を継続的に訪問し、作品調査及び助言を行っている。また、県人及び県内に在住する作家の県外での発表も一部調査を行った。概況については、館内研究報告会で報告を行った。

県内美術界の動きとして、全般的な開催数の傾向として、2023年もこれまでの回復基調を引継ぎ、コロナ禍直前の2019年と同程度の開催率となった。

コロナ渦中には、開催数が大きく下降することが危惧されたが、コロナ前程度への回復があったことから、活動は維持されてきたといえるだろう。

しかし、今年は、高齢化による指導者層の減少により、グループ等の活動の質の維持が困難となる事例が散見されるようになった。これは徳島の年齢構成からすれば、今後も続くことが容易に想定でき、このことによる作品のレベルの低下が懸念される事態が顕在化してきたといえよう。

2023年の記録として、ギャラリー花筏(美波町)、ギャラリープラム(徳島市)が閉廊、洋画の戸田あさお、清水丞悞、飯原一夫、日本画の長尾弘子、写真の西田茂雄、陶芸の矢野款一さんらが亡くなった。

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策78 眺めの中にウミガメ壁画」『徳島新聞』 令和5年6月20日
- ・「所蔵作品紹介 黒川弘毅〈Eros 46〉〈Eros 47〉〈Eros 48〉」『徳島県立近代美術館ニュース』第129号 令和6年3月 p.6

8 社会的活動

- ・相生森林美術館協議会委員
- ・久万美術館専門会議委員
- ・兵庫県「2023県展(第60回県展)」彫刻・立体部門審査員
- ・徳島障害者芸術祭エナジー審査員
- ・青美展審査員
- ・海陽町立博物館リニューアルオープン記念オープニングイベント 座談会「どうして海陽町立博物館に影絵なの?」パネラー

9 所属学会

- ・美術史学会
- ・明治美術学会
- ・文化財保存修復学会

1 個別研究の概要

「福田美蘭〈ぶれちゃった写真(マウリッツハイス美術館)〉について」

本作品は2003年にグループ展「両洋の眼 2003」(名古屋市・松坂屋美術館ほか)のために制作された。2023年の名古屋市美術館での個展にて再び出品された際、作家の意向で、本館に寄贈される運びとなった。今回の発表では、作家の画業の変遷、作品の特徴を確認した上で、画業における本作品の位置づけを試みた。

福田の作品は、イメージ(画像)が氾濫する現代における美術の意義を問うものであるといえる。その手法としては、作品発表を前提とした制作、主体性の秘匿、作家自身による解説の執筆などが特徴に挙げられることが指摘されてきた。だが、特に「主体性の秘匿」について注目すれば、2001年の9.11同時多発テロ、2011年の3.11東日本大震災、また個人的なこととして2010年に自身の祖父を喪ったことなどを契機に、作品に福田自身の主観

的なメッセージが表れているといえる。それは福田の画業における大きな変化と考えられる。

本研究では、自身の姿が描かれた本作を、以上のような変化の萌芽として捉えることを試みたが、さらなる資料による補強を今後の課題として残した。

2 図書・図録等

- ・(編著)特別展『境界をこえる』展図録 徳島県立近代美術館 令和5年4月

5 解説、翻訳他

- ・「美術館からのエッセイ 特別展「境界をこえる」 こえることは、つながること。」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年5月
<http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202305.html>
- ・「所蔵作品紹介 椿貞雄 弟茂雄像」『徳島県立近代美術館ニュース』第127号 令和5年10月 p.6
- ・「所蔵作品展 2023年度Ⅲ「物語をさがしに」」『徳島県立近代美術館ニュース』第128号 令和5年12月 pp.1-3
- ・「アート散策84 二つの視点 渦潮楽しむ」『徳島新聞』 令和5年12月14日
- ・「“あい”ランドARTギャラリー ケーテ・コルヴィッツ 7点組木版画集「戦争」3. 両親」『いのち輝く』第105号 令和6年1月 pp. 14-15
- ・「美術館からのエッセイ 所蔵作品展 2023年度Ⅲ「物語をさがしに」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年12月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202312.html>

7 講演会、各種研究会等での発表

- ・徳島県博物館協議会連携企画 博物館アワカルト講座「水を描く系譜」(共通テーマ「水」) 徳島市立考古資料館 令和5年8月20日

10 教育活動

- ・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の実際と展望1」令和6年3月1日

三宅翔士

1 個別研究の概要

「戦争と記憶－奉安殿を訪ねて」

奉安殿とは明治、大正、昭和天皇及び皇后の肖像写真－御真影と、教育勅語の謄本が収められた建物である。拝礼や勅語の奉読といった儀礼を通じ、天皇への絶対的な忠誠心と帰順を涵養する上で、多大なる役割を果たした。

戦後は一転して、日本の軍国教育を象徴する負の遺産として、GHQが発出した神道指令によりほとんどが解体、撤去された。しかし、今日も尚その遺構が全国に数百件以上残されている。それらの大半が寺社の敷地内にあり、仏像や神像のほか、先の大戦による戦死者の位牌や写真が安置されるなど、宗教的な用途への活用事例が際立って多い点が注目される。

これらの建物には、日本家屋に典型的に見られる切妻造やエンタシスを取り入れた擬洋風型など、様々なバリエーションがある。1933年には群馬県の主催で奉安殿のデザインコンペが行われており、台風や地震など自然災害の多い日本の気候風土を踏まえた機能性と、皇室の威容を外形的に表現する高い技術力が求められた。

このことは、彫刻と建築の融合を目指し1926年に発足した構造社を筆頭に、西洋を範とした日本独自のモニュメントをめぐる議論が過熱していた当時の美術界の動向も影響しているように思われる。

5 解説、翻訳等

- ・「所蔵作品紹介 利根山光人 失題」『徳島県立近代美術館ニュース』第126号 令和5年7月 p.6
- ・「美術館からのエッセイ 所蔵作品展2023年度Ⅱ 祈りと幻想」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年8月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202308.html>

- ・「アート散策82 田善を鍵に 歴史画探る」『徳島新聞』 令和5年10月21日

7 講演会、各種研究会等での発表

- ・徳島県博物館協議会連携企画 博物館アワカルト講座「奉安殿遺構を訪ねて」(共通テーマ「歩く」) 徳島県立近代美術館 令和5年10月22日

9 所属学会

- ・明治美術学会

10 教育活動

- ・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の実際と展望2」令和6年3月1日

笠井 優

1 個別研究の概要

「美術館所蔵品を用いた学校向けICT機器活用教材の事例調査」

国内の各美術館ウェブサイトを通して事例を調査するとともに、関連する先行研究の文献調査をおこなった。鑑賞教育推進プロジェクトで検討中のオンラインやICT機器を活用した教材開発の準備段階として、美術館所蔵品を用いたICT機器活用教材の現状を把握し、参考になり得る事例の傾向を抽出することを目的としている。

調査対象館は、全国美術館会議正会員館のうちウェブサイトが確認できた412館。各館ウェブサイトにおける学校連携に関する掲載内容は、団体利用・利用料減免申請書、団体利用を前提とした鑑賞マナーやQ&A、セルフガイド・ワークシート、所蔵品を用いた授業用教材(複製資料、アートカード等の紙教材)の申込案内・授業例など多岐にわたる。その中で、ICT機器活用を前提とした授業用教材には、静岡県立美術館「オンライン鑑賞教育プログラム」、名古屋市美術館「ICT機器を活用した鑑賞学習」、国立美術館「鑑賞素材BOX」などがある。しかしながら方法が確立されてはおらず、発展途上だと言える。

今後も先行事例や研究の調査を継続するとともに、美術館、学校、それぞれの立場を踏まえながら、連携することによってより良い教材開発を目指す。

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策86 筆談通して美術楽しむ」『徳島新聞』 令和6年2月27日
- ・「美術館からのエッセイ 2・3月の近代美術館は催しが目白押し」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和6年2月

9 所属学会

- ・美術科教育学会

10 教育活動

- ・九州大学芸術工学部非常勤講師「比較演劇・メディア文化演習」
- ・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館教育論 美術館と学校教育」、「博物館教育論 美術館教育」令和6年3月6日

久米千裕

1 個別研究の概要

「「平和」を冠した公共彫刻について」

第二次世界大戦後の日本に作られた「平和」を冠する公共彫刻について、県内にある作品のフィールド調査を行った。その中でも、徳島ゆかりの彫刻家・太田三郎によって作られた小便をする〈子供像〉が取り付けられた〈子供平和記念塔〉(徳島中央公園、1948年)について考察した。

戦前の軍事主義、超国家主義的思想を持つ記念碑や銅像がGHQによる指導によって排除されると、変わって、裸体像や母子像などが「平和」「自由」「建設」というような概念と結びつき公共の場に置かれはじめた。〈子供像〉が平和の象徴として〈子供平和記念塔〉に取り付けられたのも、「子ども」「裸体」という点において上記した時代の流れに位置づけることができるだろう。加えて、爆弾の導火線の火を少年が小便で消し、街を救ったという、ブリュッセルの噴水にある小便小僧の有名な逸話が関係していると推測される。

「平和」を冠した小便小僧の像は国内で数点確認することができる。他のものとの比較や、日本において平和のイメージと小便小僧が結びついたきっかけについて調査を続けたい。

5 解説、翻訳他

- ・「所蔵作品紹介 絹谷幸二 蒼空のある自画像」『徳島県立近代美術館ニュース』第125号 令和5年4月 p.6
- ・「“あい”ランドARTギャラリー パブロ・ガルガーリョ 〈キキ・ド・モンパルナスのマスク〉」『いのち輝く』第103号 令和5年5月 pp.16-17
- ・「美術館からのエッセイ 徳島県立近代美術館 所蔵作品展 2023年度 I「人のよそおい」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年4月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202304.html>
- ・「アート散策83 調査重ねた「気候風土」」『徳島新聞』 令和5年11月21日

7 講演会、各種研究会等での発表

- ・徳島県博物館協議会連携企画 博物館アワカルト講座「祈りの彫刻」(共通テーマ「祈り」) 鳴門市ドイツ館 令和6年2月18日

10 教育的活動

- ・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の実際と展望3」令和6年3月2日

飯田恵実

1 個別研究の概要

「菊畑茂久馬オブジェ作品群の調査」

昨年、オブジェ作品群のうち鉛を使用している〈画家の像〉、〈鉛の卵No.1〉、〈鉛の卵No.2〉の三点の劣化調査を実施した。三点とも木材と鉛を使用した作品であり、木材から発生する酢酸により、鉛の粉状化と変形が生じていた。

昨年度の調査の結果、空気環境に起因する劣化と推察されたため、環境改善の策を講じ、その結果の推移を記録した。測定結果から、収蔵庫内において空気の滞留が顕著な箇所を確認したため、サーキュレーターを使用して空気を循環させて一様に安定した環境を形成した。測定から半年後には、空気中の有機酸濃度が長期的保管環境の推奨基準値を下回り、現在も安定した環境を維持している。

展覧会への出品準備のために、全てのオブジェの状態を確認したところ、既に錆が発生している金属を用いたオブジェで劣化が見られた。エックス線撮影で観察すると、腐食により欠損して金属内に空洞が生じていた。錆の劣化は空気中の水分に大きく影響するため、保管環境に注意が必要である。

「設楽知昭〈目の服4〉に発生した生成物の調査」

〈目の服4〉は衣服を支持体としたテンペラ絵具を用いた作品である。当館は目の服を4点収蔵しているが、〈目の服4〉の橙色の絵具上でのみ、灰色の劣化生成物の発生が確認された。絵具上に発生する生成物は黴などの生物類、又は材料間の化学反応による生成物が多くあげられる。現状の調査では黴の可能性は低く、特定の材料間における劣化現象と考えられる。今後も劣化生成物の特定及び発生メカニズムの調査を実施する。

5 解説、翻訳ほか

- ・「アート散策75 レプリカ広がる」『徳島新聞』 令和6年1月26日
- ・「美術館からのエッセイ 災害と美術館」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和6

年2月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202403.html>

7 講演会、各種研究会等での発表

・徳島県博物館協議会連携企画 博物館アワカルト講座「作品が長生きできるように－保存・修復－」（共通テーマ「技」） 海陽町立博物館 令和5年6月25日

9 所属学会

・文化財保存修復学会
・日本文化財科学会

10 教育活動

・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「資料保存論 美術館における資料の保存と管理」令和5年9月7日

浅田真珠

1 個別研究の概要

「【修士論文概要報告】 第二次イタリア独立戦争と美術－ジョバンニ・ファットーリ〈マジェンタの戦いにおけるイタリア軍野営地〉を中心に」

修士論文の概要を報告した。

「イタリアの3Cについて」

所蔵作品であるサンドロ・キア〈ペリシテ人とボヘミア人〉に関して、その主題と技法について考察し、今後の研究方針を示した。

「岡本信治郎〈ミノートルの死〉について」

所蔵作品である岡本信治郎〈ミノートルの死〉について、先行研究を補足する形で調査を深めた。特に、3枚の絵の中央には、ピカソの生涯を通して関わりの深かった闘牛のイメージが描かれており、小説・オペラ『カルメン』の物語との関連を示した。

さらに、闘牛のイメージだけでなく、キリスト教の聖顔布のイメージも重ね合わされていると考え、ピカソのアイデンティティや、当時の日本社会におけるピカソの「聖性」が、岡本信治郎お得意のユーモアを交えて表現されていると言える。

また、当時の新聞記事や美術雑誌を調査したことで、日本の美術界においてピカソは偉大な芸術家として十分に認められていたものの、彼を乗り越えて自分たちで新たな芸術を生み出そうという動きが、20世紀半ばから起こっていたことが分かった。

したがって本作には、まるでイエス・キリストのイコンのように、“過去の”聖なる人物として、社会全体における共通のイメージとして、今は亡き巨匠ピカソの姿が描かれていると結論付けた。

3 論文

「所蔵作品調査レポート 岡本信治郎〈ミノートルの死〉について」『徳島県立近代美術館紀要』第24号 令和6年3月 pp.3-11

5 解説、翻訳他

・「所蔵作品紹介 岡本信治郎 ミノートルの死」『徳島県立近代美術館ニュース』第128号 令和5年12月 p.6

・「美術館からのエッセイ 徳島県立近代美術館 特別展「ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和5年9月

<http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202309.html>

・「アート散策87 大栗山の自然と融合」『徳島新聞』 令和6年3月20日

9 所属学会

・美術史学会

10 教育活動

・令和5年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の実際と展望3」令和6年3月2日

7-3 文献資料の整理

種別 \ 年度	59年度 平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
図書・図録 (日本語)	520	1,498	67	80	102	94	210	114	314	167	86	109	123	189	203	57	127	238	100	105	113	65	87	94	38	44	43	73	76	41	44	43	42	32	8	5,346
図書・図録 (外国語)	1,315	283	47	339	196	193	54	91	83	69	259	51	56	73	77	60	24	48	47	39	18	32	19	17	18	22	0	0	0	0	0	1	0	4	3	3,538
雑誌バック ナンバー (日本語)	3,935	2,306	932	800	444	584	502	268	85	124	1	16	209	88	2	33	91	147	1	3	25	5	3	1	45	0	79	27	37	0	2	4	2	12	2	10,815
雑誌バック ナンバー (外国語)	66	1,149	0	67	25	5	0	0	23	15	0	0	59	15	9	10	112	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,637
その他(件)	27	32	2	4	1	2	0	0	9	2	23	12	3	1	4	5	7	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	145
合計	5,863	5,268	1,048	1,290	768	878	766	473	514	377	369	188	450	366	295	165	361	519	148	147	159	102	109	112	101	66	122	102	113	41	46	48	46	48	13	21,481

*この集計表は、購入した図書と雑誌の冊数を示す。

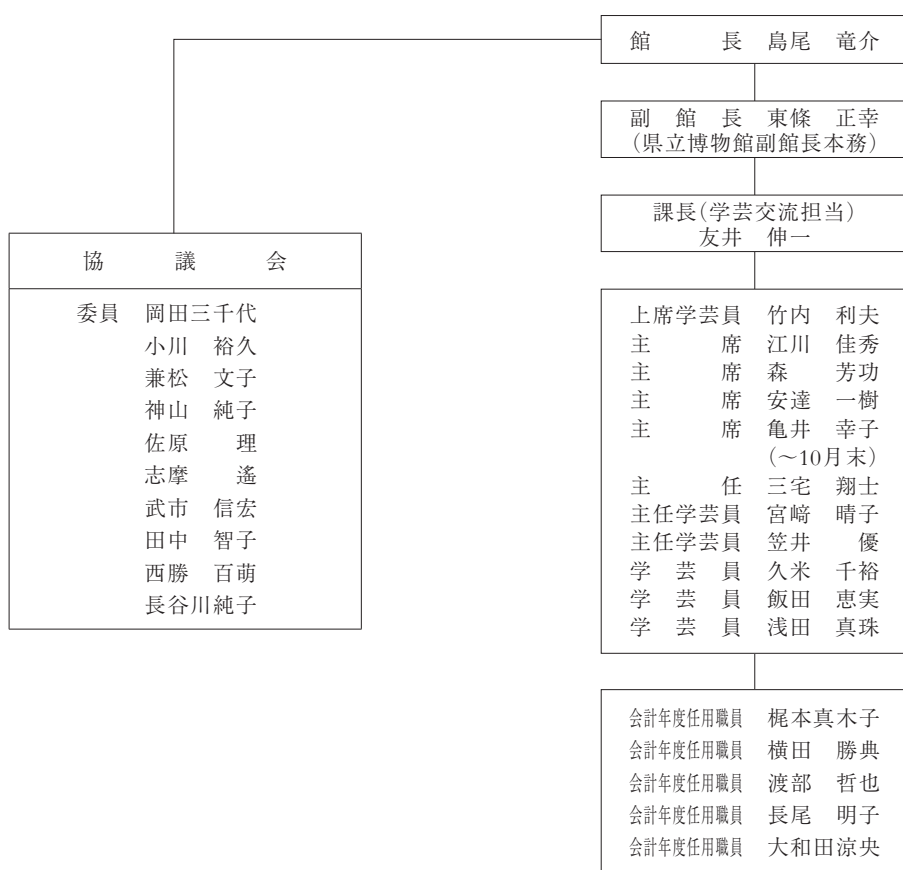
寄贈された図書と雑誌の冊数、定期購読雑誌、図書館費(平成27年以降)で購入し当館書庫に配架されている図書等の冊数は含めていない。

8

管 理 運 営

8-1 組織及び職員一覧(令和5年度)

(令和6年3月31日現在)



8-2 美術館協議会

1 委員

(令和5年11月28日現在)

2 開催

令和5年11月28日

区 分	氏 名	職 名
学 校 教 育	岡田三千代	県小学校教育研究会図画工作部会会員
	志摩 遙	県高等学校教育研究会美術学会会員
社 会 教 育	小川 裕久	徳島市立徳島城博物館主任主査兼係長
	兼松 文子	(公社)徳島県労働者福祉協議会常務理事
	長谷川純子	鳴門市市民生活部文化交流推進課ドイツ館係長
家 庭 教 育	神山 純子	一般社団法人こどもとおとな研究舎理事
学識経験者	田中 智子	四国大学文学部専任講師
	佐原 理	徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授
	武市 信宏	日本放送協会徳島放送局コンテンツセンター長
	西勝 百萌	公募委員(鳴門教育大学学生[美術科])

8-3 人権啓発展

文化の森人権啓発展 -識字活動を中心として-

- 会期 令和5年12月6日[水]-12月12日[火]
- 会場 近代美術館ギャラリー、二十一世紀館ミニシアター
- 入場無料
- 主催 徳島県立図書館、博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館、徳島県教育委員会人権教育課
- 内容
 - ・展示(近代美術館ギャラリー) 9:30-17:00
識字学級生の作品、人権啓発パネル、識字・人権啓発図書
 - ・ビデオ上映(二十一世紀館ミニシアター) 10:30～、14:00～
「パパは女子高生だった!～前田良～」、「ネット差別を許すな!～川口泰司～」
- 入場者数 展示 229名 ビデオ上映 33名

8-4 入館者数

1 令和5年度所蔵作品展入館者数

(単位:人)

月	区分	有 料 入 館 者									無 料 入 館 者				観覧者 総 数	開 館 日 数	1日 平均 入館者数
		個 人			団体(割引20%)			3館共通券(割引20%)			観 覧 料 免 除						
		大 人	高大生	小中生	大 人	高大生	小中生	大 人	高大生	小中生	学 校 教 育		個 人				
		200	100	50	160	80	40	160	80	40	校	人 数	小中高生	一 般			
4		75	7	0	32	1	0	15	5	0	1	100	44	218	497	22	23
5		36	4	0	17	0	0	16	1	0	6	184	39	1,539	1,836	26	71
6		25	6	0	30	2	0	17	0	0	2	6	33	500	619	26	24
7		42	5	0	54	0	0	16	5	0	0	0	172	654	948	26	36
8		4	0	0	5	0	0	10	1	0	3	37	447	1,673	2,177	27	81
9		32	4	1	38	0	1	13	1	0	1	24	87	967	1,168	26	45
10		22	15	1	16	8	0	15	0	1	7	536	106	973	1,693	26	65
11		9	0	0	4	0	0	2	0	0	17	621	32	1,938	2,606	23	113
12		57	3	1	39	21	0	17	5	0	1	3	44	463	653	23	28
1		79	4	0	76	1	0	17	0	0	1	15	37	254	483	23	21
2		84	14	0	69	5	0	21	2	0	6	155	23	1,546	1,919	25	77
3		94	16	1	79	1	3	22	5	0	1	23	46	337	627	27	23
合 計		559	78	4	459	39	4	181	25	1	46	1,704	1,110	11,062	15,226	300	51

2 令和5年度特別展入館者数

(単位:人)

区分 展覧会名	有 料 入 館 者												有料 入館者計	無 料 入 館 者				免除 観覧者計	観 覧 日 数	1日平均 入館者数	
	個 人			団 体			減 免			前 売 券				学校教育		個 人					
	大人	高大生	小中生	大人	高大生	小中生	障害	高齢	高大生	一般	高校生	小中生		校	人数	小中高生	一般				
境界をこえる	252	17	0	169	33	0	0	206	0				677	6	184	84	460	728	1,405	44	32
イロのひみつ	510	50	2	602	12	1	0	249	0				1,426	7	84	688	816	1,588	3,014	44	69
ディーン・ボーエン	725	55	6	930	33	11	0	518	0				2,278	27	1,280	296	864	2,440	4,718	74	64
合計	1,487	122	8	1,701	78	12	0	973	0	0	0	0	4,381	40	1,548	1,068	2,140	4,756	9,137	162	56

3 令和5年度講座等、ギャラリー等、共催事業の入館者・参加者数

(単位:人)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講座等 参加者	748	1,288	923	1,480	2,825	1,469	1,830	1,819	824	1,337	1,726	1,366	17,635
ギャラリー等 入館者	0	350	358	0	476	0	18	1,296	264	1,701	1,364	404	6,231
共催事業 参加者	509	498	0	3,450	2,253	2,160	4,858	1,865	230	1,083	2,266	1,046	20,218

4 令和5年度総入館者数

(単位:人)

所蔵作品展	特別展	講座等	貸館事業	共催事業	合計
15,226	9,137	17,635	6,231	20,218	68,447

5 総利用者累計(平成2～令和5年度)

(単位:人)

年度\区分	所蔵作品展	特別展	講座等	ギャラリー等	共催事業	計
平成2	49,885	38,764				88,649
3	63,493	21,377				84,870
4	33,353	12,122	1,779			47,254
5	25,184	11,544	2,143			38,871
6	27,398	23,264	8,146			58,808
7	64,643	64,823	4,756			134,222
8	29,054	19,245	716			49,015
9	25,086	18,766	2,834			46,686
10	21,684	16,564	3,850			42,098
11	20,098	16,954	2,055			39,107
12	27,552	24,416	3,312	42,046		97,326
13	19,853	16,496	1,858	20,123		58,330
14	29,796	31,296	1,865	21,497		84,454
15	22,830	26,023	3,386	24,258		76,497
16	26,833	29,743	4,649	32,738		93,963
17	22,969	26,910	4,420	22,947		77,246
18	24,970	24,546	4,277	29,406		83,199
19	23,276	18,403	1,407	86,823		129,909
20	17,347	12,825	1,403	18,016		49,591
21	26,736	16,209	36,122	49,168		128,235
22	18,883	11,793	54,334	16,983	35,516	137,509
23	24,871	7,704	3,213	16,760	28,931	81,479
24	23,251	10,496	3,030	20,405	13,905	71,087
25	15,580	7,686	6,200	16,694	2,896	49,056
26	16,937	7,465	22,157	36,319	6,434	89,312
27	47,312	48,154	20,301	18,750	3,463	137,980
28	17,311	5,673	39,888	20,039	39,582	122,493
29	21,347	12,256	22,990	37,071	4,135	97,799
30	22,419	14,999	25,354	23,125	4,665	90,562
令和元	19,816	12,935	20,924	20,118	4,364	78,157
2	10,531	17,279	10,425	8,894	4,478	51,607
3	14,579	5,566	22,987	12,860	2,303	58,295
4	12,364	7,169	17,306	17,632	4,143	58,614
5	15,226	9,137	17,635	6,231	20,218	68,447
合計	882,467	648,602	375,722	618,903	175,033	2,700,727

*「講座等」は、講座(4-1-1～4)、出前授業等アウトリーチ活動(4-2-3、5～7、4-4)の参加者、図書閲覧(書庫の図書利用)やレファレンスサービスなどのロビー利用者を合計したもの。ただし、平成3年度開催の講座参加者数は未算入。また、平成2年度から13年度までは、講座以外のアウトリーチ活動等の参加者数を算入していない。

*「ギャラリー等」は、平成2年度から11年度までのギャラリー観覧者数が未算入。平成25年度からは、講座室貸出による利用者数に加わる。

6 特別展等開催実績(平成2年度～令和5年度)

(単位:人)

年度	展覧会名	会期	開催日数	入場者数
平成2	ピカソと日本	11/3～12/9	31	32,838
	みずゑのあけぼの	1/26～3/10	38	5,926
	計		69	38,764
3	大正の新しき波	4/13～5/5	20	6,077
	THE HIROSIMA	5/14～6/16	30	2,356
	日本近代彫刻の一世紀	6/22～7/21	26	2,133
	現代美術'91	8/10～10/6	50	4,010
	スウェーデン現代美術展	10/26～12/8	37	3,444
	アメリカン・リアリズム	2/22～3/29	31	3,357
	計		194	21,377
4	篠原有司男展	4/3～4/26	21	1,292
	パリ・日本・メキシコ	5/2～6/14	38	3,950
	ベルリン・アート・シーン	8/1～9/13	38	2,783
	版画芸術の饗宴	10/31～12/6	32	1,829
	アフリカン・アメリカン美術展	1/23～3/7	37	2,268
	計		166	12,122
5	〈色彩〉としてのスフィンクスー加納光於	4/3～5/23	47	2,167
	斉藤義重による斉藤義重展	6/5～7/11	31	1,110
	亡命者の軌跡	8/10～9/19	36	2,410
	東四国阿波讃岐風景画展	10/2～11/14	39	3,561
	ベルギー現代美術展	1/29～3/20	43	2,296
	計		196	11,544
6	薨光ー揺れ動く時代の痕跡	4/23～6/5	37	4,233
	伊原宇三郎展ー生誕100年を記念して	7/16～8/28	38	7,705
	英国のモダン・デザイン	9/6～11/3	49	5,951
	変貌する20世紀絵画	11/12～12/25	36	3,396
	1994剣持和夫展	1/21～3/5	37	1,979
	計		197	23,264
7	清原重以知展	4/8～5/28	43	4,176
	サンパウロ美術館名品展	6/3～7/16	38	50,325
	コレクションによる特別展示ー人間像のゆくえ	7/22～10/1	60	3,085
	50年後ー彼らはなぜ戦争を表現するのか	10/17～12/17	53	2,703
	同時代のアフリカ美術	1/20～3/17	50	4,530
	計		244	64,819
8	山下菊二展	4/13～5/26	38	3,139
	ホフマンとウイーン工房展	7/5～8/18	39	3,905
	バスキンとエコール・ド・パリ	8/31～10/13	38	5,378
	ウルム美術館展	10/26～12/1	32	4,308
	ゆたかーあなたも幸せになりたいでしょう	12/14～3/9	67	2,515
	計		214	19,245
9	コレクションでみる20世紀の版画	4/12～5/18	32	2,747
	イギリス絵画と印象派	5/31～7/13	38	5,066

開館5周年
記念展

9	アントニー・ゴームリー展	7/26～9/15	45	3,037
	近代日本画への道程	10/10～11/24	40	5,710
	菊畑茂久馬1983-1998	1/24～3/15	44	2,206
	計		199	18,766
10	日本画に見る画家のまなざし	4/18～5/24	32	4,579
	一原有徳・版の世界	6/6～7/20	39	1,795
	黄金時代のポスター芸術	8/1～9/27	50	3,548
	薩摩治郎八とバリの日本人画家たち	10/17～12/6	44	4,195
	大久保英治 四国の天と地の間	1/15～3/14	51	2,445
	計		216	16,562
11	萩原守衛と朝倉文夫	4/17～6/27	62	2,723
	東アジア／絵画の近代	7/17～8/29	38	2,743
	前田寛治の芸術展	9/11～10/17	32	2,196
	東欧絵本の世界展	10/30～12/12	38	7,420
	ジョセフ・コスース	2/15～3/26	36	1,868
	計		206	16,950
12	目黒雅叙園美術館コレクション	4/22～6/4	38	5,776
	バウハウス展	7/15～8/27	38	4,662
	山本正道展	9/15～10/22	33	1,683
	近代徳島の美術家列伝	11/3～12/17	39	5,176
	四谷シモンー人形愛	1/20～3/11	44	7,119
	計		192	24,416
13	ジャポニズム展	4/28～6/3	32	3,043
	アート・イン・パラダイス	7/20～8/26	33	2,418
	キッズ・サイズ・デザイン展	9/8～10/21	38	2,474
	京都の日本画	11/3～12/9	32	4,688
	自然を見つめる作家たち	1/26～3/17	44	3,806
	計		179	16,429
14	近世フランスの絵画と版画	4/27～6/2	32	7,589
	本と美術	7/6～8/25	45	2,980
	高村光雲とその時代展	9/3～10/6	30	5,018
	ユトリロ展	10/12～11/24	38	12,553
	ゲルハルト・リヒター展	2/1～3/23	44	3,156
	計		189	31,296
15	ウィーンの夢と憧れ	4/26～6/15	44	3,512
	没後20年 中原淳一展	7/19～8/31	38	8,933
	富岡鉄斎展	9/13～10/26	38	3,240
	松岡美術館所蔵フランス近代絵画展	11/1～12/7	32	8,050
	シーニック・アイ美術と劇場	1/17～3/21	46	2,288
	計		198	26,023
16	京都画壇一世紀の輝き	4/24～6/6	38	7,739
	日本近代洋画への道	8/7～9/5	26	3,256
	ピエール・ボナール展	9/12～11/7	49	6,287
	いわむらかずお絵本の世界展	11/13～12/19	32	8,292
	マン・レイ展	1/15～3/21	57	4,169

開館10周年
記念展

16	計		202	29,743
17	富山県水墨美術館名品展	4/29～6/5	33	6,323
	黒田清輝展	7/16～9/4	45	12,118
	コレクション+αで楽しむシリーズ:音楽	9/17～11/6	44	2,520
	コレクション+αで楽しむシリーズ:文学	11/12～12/18	32	1,248
	巨匠デ・キリコ展	2/4～3/21	39	4,701
	計		193	26,910
18	日本画の魅力-美しき人と心	4/29～6/11	38	7,522
	巴里憧憬-エコール・パリと日本の画家たち	7/15～8/20	33	4,241
	吹田文明展	9/2～10/22	44	5,054
	変貌するひとのすがた ピカソの版画	11/1～12/17	41	3,510
	ハンス・ペーター・クーン	1/27～3/11	38	4,219
	計		194	24,546
19	オランダ絵本作家展	4/21～7/1	62	8,594
	美術の国徳島1 昭和の文展、帝展作家	7/21～10/8	70	3,258
	日本画-和紙の魅力を探る	11/13～12/27	39	4,273
	IWANO MASAHIITO	2/9～3/23	38	2,278
	計		209	18,403
20	大正ロマン昭和モダン展	4/26～6/22	50	5,649
	アメリカ版画の今	7/19～8/31	38	2,213
	未来に伝えたい-学芸員おすすめアート	9/13～10/13	27	1,387
	京都画壇に咲いた夢	10/25～12/7	38	3,576
	計		153	12,825
21	ヨーロッパ・ポスター芸術の開花	4/25～6/21	50	4,730
	おもろいやつら-人間像で見る関西の美術	7/18～8/30	38	2,218
	美術の国徳島II 谷口董美、山下菊二兄弟	9/5～10/12	33	2,218
	明治・大正・昭和100年の名画展	10/24～12/6	38	7,043
	スタジオジブリ・レイアウト展	2/20～4/18	50	58,769
	計		209	74,978
22	堀内誠一 旅と絵本とデザインと	4/29～6/13	40	3,338
	濱谷明夫-藍と造形	7/17～9/26	62	2,989
	徳島県立近代美術館 名品ベスト100	10/9～12/26	68	5,466
	計		170	11,793
23	森口ゆたか-あなたの心に手をさしのべて	4/29～6/26	51	2,327
	手塚治虫展	7/23～8/31	35	21,746
	スウィング・ロンドン	9/17～11/6	44	4,272
	魅力発見わたしたちの美術館	11/15～12/25	36	1,105
	計		166	29,450
24	どうぶつ集まれ	4/28～6/24	50	4,049
	「戦没画学生 生命の絵」展	7/20～9/20	40	10,616
	墨と紙が生み出す美の世界	10/13～12/9	50	5,196
	アート発見学	2/9～3/23	38	1,251
	計		178	21,112
25	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	4/27～6/30	56	4,496
	戦後@ニッポン	7/13～9/8	61	1,478

文化の森開園
20周年記念展

開館20周年
記念展

25	西洋美術との出会い	10/5～12/1	54	1,712	開館25周年 記念展
	計		171	7,686	
26	三嶽伊紗のしごと	4/26～6/15	44	2,141	
	三宅克己展	10/11～12/7	50	5,324	
	計		94	7,465	
27	美の饗宴展 西洋絵画の300年	4/26～6/15	47	33,282	
	フィギュア展	10/3～11/29	50	14,872	
	計		97	48,154	
28	暮らしの感覚	7/16～9/4	45	2,187	
	ベルギー近代美術の精華展	10/26～12/11	41	3,486	
	計		86	5,673	
29	美術に見る日本赤十字社の歩み	4/22～6/11	44	8,129	開館25周年 記念展
	広島見甫展	10/21～12/10	44	2,407	
	生の刻印 アール・ブリュット再考	2/10～3/4	20	1,720	
	計		108	12,256	
30	佐野洋子の世界	7/14～9/2	43	10,363	
	日下八光展	9/15～11/4	44	3,308	
	アール・ブリュット再考Ⅱ(仮称)	2/23～3/10	14	1,328	
	計		101	14,999	
令和元	美人画の雪月花	7/20～9/1	43	7,335	
	ニューヨークアートシーン	9/14～11/4	44	4,162	
	アール・ブリュット再考3 So Happy -やまなみ工房作品展	2/15～3/1	14	1,438	
	計		101	12,935	
2	それぞれのながめ	5/9～6/28	43	1,117	
	ドイツ 20世紀 アート	10/17～12/6	44	4,360	
	野外彫刻展	10/27～11/8	13	10,576	
	いきいきと解き放つ命の輝き	2/11～2/28	16	1,226	
	計		101	17,279	
3	自転車のある情景	7/17～9/5	44	1,629	文化の森開園 30周年記念展
	子どものころ	10/9～11/28	44	2,743	
	PICFA アートの仕事	2/10～2/27	16	1,194	
	計		101	5,566	
4	カミのかたち	4/23～6/19	50	1,789	
	日本の戦後彫刻	7/16～9/4	45	1,295	
	風土と美術-青森/徳島	10/8～11/27	44	2,395	
	思い出のアルバム-人生を語るユニバーサル展示	12/10～1/9	21	481	
	希望の園作品展	2/10～2/26	15	1,209	
	計		175	7,169	
5	境界をこえる	4/29～6/18	44	1,405	
	イロのひみつ-なにいろに見る?	7/15～9/3	44	3,014	
	ディーン・ボーエン展	9/16～12/10	74	4,718	
	計		162	9,137	

*徳島県、徳島県教育委員会が主催者に入ったスタジオジブリ・レイアウト展(平成21年度)、手塚治虫展(平成23年度)は、特別展ではなく共催事業に分類しているが、ここでは「特別展等」として両展の入館者数を加えた。

なお、「総利用者累計」(8-4-5)で「共催事業」をカウントするようになったのは平成22年度からであり、スタジオジブリ・レイアウト展の入場者数は、「総利用者累計」に含めていない。

8-5 レファレンス業務

当館では、所蔵作品・作家に関することや展覧会情報など、美術について幅広い問い合わせに対応している。一般の方に美術情報を提供するだけでなく、調査研究活動、学芸活動の成果を活かして、他の文化施設や官公庁、教育機関、マスコミへの協力も行っている。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	6	3	1	6	2	0	4	2	1	4	0	31

8-6 作品の貸出

1 油彩画他

作家名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
アルペール・グレーズ	台所の母子	1	令和6年9月10日- 令和6年7月18日	パリ ポンビドゥーセンター キュビズム展—美の革命	国立西洋美術館 京都市京セラ美術館
ジャン・メツアンジェ	自転車乗り※	1	令和6年9月10日- 令和6年7月18日	パリ ポンビドゥーセンター キュビズム展—美の革命	国立西洋美術館 京都市京セラ美術館

※令和6年6月17日、出品を取り下げた。

8-7 ギャラリー、講座室の利用状況

ギャラリー利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件 数	2	1	0	1	4	5	5	3	1	2	4	3	31
利 用 日 数	8	8	0	4	16	14	17	13	3	6	17	13	119

講座室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件 数	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	6
利 用 日 数	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	7

● ギャラリー利用内容

ギャラリーでは貸館として、一般の方々による展覧会を開催している。

展覧会名	会期
風景写真家 五島健司の世界	令和5年4月4日[火]-4月9日[日]
市尾哲 展	令和5年5月23日[火]-5月28日[日]
2023年 “我が家の天使”写真展	令和5年7月29日[土]-7月30日[日]
アスタリスク2023	令和5年8月10日[木]-8月13日[日]
第17回 写真同人「光」写真展	令和5年8月18日[金]-8月20日[日]
坂野美恵子 グラフィックアート展	令和5年8月22日[火]-8月27日[日]
第37回 徳島二紀展	令和5年8月29日[火]-9月2日[土]

第8回 障がい者アーティストの卵発掘展	令和5年9月6日[水]-9月10日[日]
第14回 Gruppo Foto 23 写真展	令和5年9月16日[土]-9月18日[月]
17th オメガフォトクラブ展 2023	令和5年9月22日[金]-9月24日[日]
徳島障がい者芸術祭 エナジー2023	令和5年10月3日[火]-10月8日[日]
第65回 硬筆書道県展	令和5年10月14日[土]-10月15日[日]
第63回 写楽会写真展	令和5年10月20日[金]-10月22日[日]
西陣美術織 伊藤若冲展	令和5年10月25日[水]-10月29日[日]
第9回 徳島県中学校総合文化祭	令和5年11月10日[金]-11月12日[日]
ユニバーサル芸術祭 スローリーライブ2023	令和5年11月17日[金]-11月18日[土]
第20回 徳島版画展	令和5年11月21日[火]-11月26日[日]
2023年度 文化の森人権啓発展 -識字活動を中心として-	令和5年12月6日[水]-12月12日[火]
第23回 幼児画展	令和6年1月6日[土]-1月7日[日]
徳島県立徳島科学技術高等学校 第15回 総合デザインコース展	令和6年1月20日[土]-1月24日[水]
四国大学 生活科学部生活科学科 人間生活科学科 デザインコース 「令和5年度 卒業制作展」	令和6年2月2日[金]-2月4日[日]
鳴門教育大学 第35回 卒業制作展 第37回 修了制作展	令和6年2月6日[火]-2月11日[日]
「ひとりひとり、いろいろで、まる。」工房まる作品展	令和6年2月21日[水]-3月3日[日]
徳島形象派展	令和6年3月8日[金]-3月10日[日]
43渡辺記世展	令和6年3月20日[水]-3月24日[日]

8-8 運営計画

徳島県立近代美術館 中期計画・目標

(令和2年度～令和6年度)

1. 使命と計画

使命にもとづいて中期目標を設定し、定期的に点検、評価を行う。

- (1) 中期計画の実施と、使命・事業方針等の周知
 - ア 中期計画(5カ年)の自己点検・自己評価の実施
 - イ 県民、美術館関係者等への使命・事業方針等の周知

2. 資料の収集・保管・活用

近代・現代美術や徳島ゆかりの資料の継続的な収集を図るとともに、良好な状態で保存し、その活用を図っていく。

- (1) 継続的な資料収集
 - ア 収集の重点ポイント設定
 - イ 予算獲得
 - ウ 作品購入
 - エ 寄贈・保管転換の受入
 - オ 寄託作品の受入

- (2) 作品調書の整備
 - ア 作品点検(状態等)
 - イ 調書整備(新規・更新)
- (3) データベース
 - ア 必須情報の完備
 - イ 外部への公開促進
 - ウ システムのメンテナンスと更改
- (4) 保管・利用
 - ア 保管・利用(貸し出し含む)の方針・手続きの整備(ソフト面)
 - イ 保管環境の点検と整備(ハード面):収蔵庫、展示室等
- (5) 保存・修復
 - ア 計画的な修復の実施
- (6) 資料整理
 - ア 未整理資料の整理

3. 調査研究

近代・現代美術や徳島ゆかりの資料に関する基礎的な調査研究、資料の保存や展示、教育普及活動等に関する調査研究を行うとともに、その成果の美術館活動への反映と地域社会への還元を図っていく。

- (1) 研究報告会、紀要
 - ア 研究報告会の定期的開催
 - イ 紀要の発行
- (2) 研究体制
 - ア 共通研究テーマの設定等、組織としての一体的な研究体制の整備
- (3) 基礎資料集
 - ア 所蔵資料等に関する基礎資料集の作成

4. 展示活動

美術作品を通じて感動や体験のできる場を提供するとともに、近・現代美術を中心とした文化活動を先導していく。

所蔵作品展は、コレクションの特徴を生かして、計画的に、できるだけ多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供し、特別展は、近代、現代、日本、海外、徳島ゆかりなど多彩な内容の展覧会を適時適切に開催する。

- (1) 特別展
 - ア 特別展開催の維持(年数回)
 - イ スtock(所蔵品・地元の遺産等)の活用
 - ウ メリハリのある開催計画
- (2) 所蔵作品展
 - ア 所蔵作品の魅力をより深く伝える工夫
 - イ 展示会場や展示替え回数の弾力的な見直しと運用
- (3) 入館者
 - ア 入館者数の維持(漸増)
- (4) 有料入館者
 - ア 有料入館者数の維持(漸増)
- (5) 図録販売数
 - ア 図録販売数維持(漸増)
- (6) ギャラリー・講座室
 - ア ギャラリー・講座室の利用促進
 - イ 利用日数の維持(漸増)

5. 教育普及活動

展示や所蔵資料に関連した各種教育普及活動を通じて、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供し、県民の生涯学習への支援を図っていく。

- (1) 学習活動の支援
 - ア 展示や資料に関連した教育普及活動により、多様な学習活動を支援する。

- (2) 学校連携
 - ア 子ども達が美術品に親しむ機会や美術(美術館)に対する認識を深める機会を提供していく
 - イ 鑑賞教育推進プロジェクト等の開催
- (3) 関係機関との連携
 - ア 社会教育機関等との連携
 - イ アウトリーチ事業

6. 利用者の安全・快適さの確保

安全で誰もが安心して、快適に利用できる、利用しやすい美術館となるよう施設や案内表示等の点検改善を図る。

来館者対応及び、危機管理マニュアルの整備・更新を行う。利用者アンケート等を通じてニーズを把握し、館運営への反映を図る。

- (1) 施設の整備・管理
 - ア 施設(ハード面)安全性の点検調査と、改善
 - イ 施設管理者への働きかけ
- (2) 対応マニュアルの整備と運用
 - ア 来館者対応マニュアルの整備・更新(感染症対策を含む(新))
 - イ 問い合わせ・相談(レファレンス含む)への対応方針の整備
- (3) 利用者ニーズの把握と反映
 - ア 各種アンケートの集計と分析
 - イ ニーズ把握と館運営への反映
 - ウ 県民の意見、ニーズの把握手法の検討

7. 広報・情報の発信と公開

美術館の催し物案内や美術館活動に関する様々な情報の積極的発信を図り、美術館に対する理解と利用の促進を図っていく。

- (1) 広報
 - ア 計画的、効果的広報の推進
- (2) ホームページ
 - ア ネット利用の情報発信の推進
- (3) ニュース会員
 - ア ニュース会員拡充
 - イ 新たな形態の検討

8. 県民参加、協働

美術館の使命や活動内容の周知と、県民の意見やニーズの把握をふまえて、ボランティアをはじめとする県民との協働を推進し、館運営の活性化と、地域との連携を図っていく。

- (1) ボランティア
 - ア ボランティアグループ活動支援
 - イ 新たなボランティアの検討
- (2) 県民参加・地域連携型事業
 - ア 県民参加・地域連携型事業の企画と実施(チャレンジとくしま芸術祭等)
 - イ SDGs関連事業の検討

9. 組織・人員

美術館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、適切な組織体制を構築し、職員意識や資質の向上を図っていく。

- (1) 学芸員の社会的理解と資質の向上
 - ア 学芸員の社会的理解を深める
 - イ 学芸員の研修機会の確保
- (2) 組織の整備・改善
 - ア 組織の整備・改善(専門職の位置づけ、総務事務等の効率的な分担等)
 - イ 館長もしくは副館長の専門職化

10. 財務・社会的支援

健全な美術館経営を行えるよう、社会的支援の拡充を図るとともに経費節減や収入増を図っていく。

- (1) 歳入源の確保
 - ア 協賛金、助成金、広告収入等による財源確保
 - イ 観覧料の見直し検討
 - ウ 図録販売促進
- (2) 経費節減
 - ア 見直しを行い、経費節減を図る

第四期重点取り組み事項(令和2年度～6年度)

- (1) 地域に根ざした活動、地域連携
- (2) 利用者サービス(対応)の向上

- (3) 資料整理
- (4) 情報発信

関係法規

徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号
最新改正 令和4年3月18日 徳島県条例第10号
(令和4年4月1日施行)
*他館に関わること、附則等は略しました。

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設(以下「文化施設」という。)を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名称	業務
徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)	(1)美術作品及び美術に関する資料(以下「美術館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。 (2)美術館資料に関する調査研究を行うこと。 (3)美術に関する講演会、講座等の教育普及事業を行うこと。 (4)美術作品の展示のためにギャラリーを利用に供すること及び美術に関する講座等の文化活動のために美術館講座室を利用に供すること。 (5)その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(利用の許可)

第3条 次の表に掲げる文化施設の施設又は用具を利用しようとする者は、あらかじめ、知事の許可(以下「利用の許可」という。)を受けなければならない。

区 分	施設又は用具
美術館	ギャラリー 美術館講座室

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

- 2 利用の許可を受けた者に対しては、別表第2に掲げる額の使用料を徴収する。
- 3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全部又は一部を免除することができる。
- 4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し、又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法(昭和25年法律第118号)及び博物館法(昭和26年法律第285号)に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 知事の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所掌事務
徳島県立近代美術館協議会	美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

- 2 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
- 4 徳島県立文書館協議会及び徳島県立二十一世紀館協議会の委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、知事が任命する。
- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。

- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。
(規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体(20人以上をいう。以下同じ。)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者	1人1回	50円	40円	知事とその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
小・中学生及び高校・大学生等以外の者(学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

別表第2(第4条関係)

区 分	単 位	金 額
ギャラリー	午 前	3,450円
	午 後	5,750円
	夜 間	4,400円
美術館講座室	午 前	1,670円
	午 後	2,710円

備 考

- 「午前」とは午前9時30分から正午までを、「午後」とは午後1時から午後5時までを、「夜間」とは午後6時から午後9時までをいう。
- 午前から午後まで、午後から夜間まで又は午前から夜間まで引き続き利用する場合の使用料の額は、この表の区分に応じたそれぞれの使用料の額を加えて得た額とする。

- 営利又は営業のための宣伝その他これらに類する目的で利用する場合の集会室1、集会室2、博物館講座室、ギャラリー、美術館講座室、イベントホール、多目的活動室、ミニシアター、スタジオ、ミーティングルーム又はすだちくん森のシアターの使用料の額は、この表及び前項の規定にかかわらず、同表の区分に応じた使用料の額又は同項の規定により算出した使用料の額に百分の5百を乗じて得た額とする。

徳島県立近代美術館管理規則

制 定 令和2年3月24日 徳島県規則第47号
最新改正 令和4年3月18日 徳島県規則第7号
(令和4年4月1日施行)

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

- (2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで

2 知事は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 美術館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、ギャラリーの供用時間は、午前9時30分から午後9時までとする。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、前2項の規定にかかわらず、前2項に規定する供用時間を変更することができる。

(用具)

第4条 美術館の情報通信技術を活用した集会等のための用具は、別表のとおりとする。

(令4規則7・追加)

(利用の許可の申請等)

第5条 徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号。以下「条例」という。)第3条の許可(以下「利用の許可」という。)を受けようとする者は、徳島県立近代美術館利用許可申請書(別記様式)を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用しようとする日(その日が引き続き2日以上に及ぶときは、その初日)の前日から起算して、ギャラリーについては6月前の日以後に、美術館講座室については3月前の日以後に提出するものとする。ただし、知事が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可をしないものとする。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) その他美術館の管理上支障があると認められるとき。

(利用の許可等の通知)

第6条 知事は、前条第一項の申請書を受理したときは、利用の許可をするかどうかを決定し、その旨を当該申請者に通知するものとする。

(利用の許可の取消し等)

第7条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可を取り消し、又は施設等の利用の中止を命ずることができる。

(1) 第5条第3項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき。

(2) 利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が利用の許可に付した条件に違反したとき。

(3) 利用者が偽りその他不正な手段により利用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。

(4) 利用者が条例又はこの規則の規定に違反したとき。

(利用の内容の変更等)

第8条 利用者は、施設等を利用できなくなったとき、又は利用の許可の内容を変更して施設等を利用しようとするときは、直ちにその旨を文書で知事に届け出なければならない。

(遵守事項)

第9条 美術館を利用する者は、条例及びこの規則並びに知事が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第10条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(1) 泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者

(2) 前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第11条 学術その他の目的のために美術館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年規則第21号）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後のそれぞれの規則の様式に相当するこの規則による改正前のそれぞれの規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができるものとする。

附 則（令和4年規則第7号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

（令4規則7・追加）

- (1) プロジェクター
- (2) パーソナルコンピュータ
- (3) タブレット
- (4) ウェブカメラ
- (5) マイクスピーカー
- (6) デイスプレイ

別記様式（第5条関係）

使 用 料 納 入 時 期	前 納 後 納	決 裁 欄			
------------------	------------	-------	--	--	--

徳島県立近代美術館利用許可申請書				※受付番号			
徳島県知事 殿 次のとおり利用したいので、申請します。							
申請年月日		年 月 日		※許可年月日		年 月 日	
申 請 者	住 所 氏 名	⑩ （ 法人その他の団体にあつては、 主たる事務所の所在地及び名称 並びに代表者の氏名 ）			※ 区 分	一 般	
	電 話					営 利	
利用の目的 （行事の名称）		利用（入場） 予定人員	人	入場料等の額 （1人につき）	円		
利用しようとする施設	利 用 の 日 時				※ 使 用 料 の 額		
	年 月 日（ ） 時 分～ 時 分				円		
	年 月 日（ ） 時 分～ 時 分				円		
~~~~~							
	年 月 日（ ） 時 分～ 時 分				円		
	年 月 日（ ） 時 分～ 時 分				円		
※ 備 考					計	円	

注意事項 ※印の欄には、記入しないこと。

## 徳島県立近代美術館協議会規則

制定 令和2年3月24日 徳島県規則第41号  
(令和2年4月1日施行)

(趣旨)

**第1条** この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号)第7条第7項の規定に基づき、徳島県立近代美術館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

**第2条** 協議会に、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第3条** 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

**第4条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 略

## 徳島県行政組織規則[抜粋]

制定 昭和42年3月28日 徳島県規則第15号  
最新改正 令和6年3月29日 徳島県規則第37号  
(令和6年4月1日施行)

*本館の設置や本館に関わる分掌事務以外のものは略しました。

### 第2章 事務部局

#### 第3節 センター等

##### 第1款 設置等

(その他の機関の設置等)

**第34条** 前条第1項に規定する機関のほか、次の表の上欄に掲げる部に、それぞれ同表の下欄に掲げる機関を設置する。

部	機関		
	名称	設置の目的 又は根拠法令	位置
観光スポーツ文化部	徳島県文化の森振興センター	徳島県文化の森総合公園文化施設の運営を総合的に推進するため	徳島市八万町

2 次の表の上欄に掲げる機関については、それぞれ同表の下欄に掲げる法令又は条例の規定により設置された機関を当該上欄に掲げる機関を構成する機関とする。

機関	法令又は条例の規定により設置された機関		
	名称	位置	所管区域
徳島県文化の森振興センター	徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)	徳島市八万町	

#### 第2款 内部組織及び分掌事務

(分掌事務)

**第36条** センター等の分掌事務は、別表第6に掲げるとおりとする。

#### 別表第6 センター等の分掌事務

センター等	分掌事務
徳島県文化の森振興センター	(1) 徳島県文化の森総合公園文化施設(以下この項において「文化施設」という。)の運営に関する施策の総合的な推進に関すること。 (2) 文化施設の予算の総合調整に関すること。 (3) 美術品等の取得に関すること。 (4) その他文化施設の運営に必要な事業の実施に関すること。

センター等	分掌事務
美術館	(1) 美術作品及び美術に関する資料（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 美術館資料に関する調査研究を行うこと。 (3) 美術に関する講演会、講座等の教育普及事業を行うこと。 (4) 美術作品の展示のためにギャラリーを利用に供すること及び美術に関する講座等の文化活動のために美術館講座室を利用に供すること。 (5) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。
二十一世紀館	(1) 図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館及び鳥居記念館（以下「文化の森各館」という。）の振興に係る企画、広報及び調整に関すること。 (5) 文化の森各館に係る庶務事務の処理に関すること。 (6) 文化の森各館に係る予算及び物品に関すること。 (7) 文化の森各館の施設管理に関すること。

**第57条** 附属機関の名称及び庶務を担当する組織は、別表第8に掲げるとおりとする。

別表第8 附属機関の名称及び庶務を担当する組織

72	徳島県立近代美術館協議会	美術館
----	--------------	-----

# 10

## 建設概要

### 建物概要

設計	———	(株)環境・建築研究所・(株)佐藤武夫設計事務所・(株)日建設計 設計共同企業体
監理	———	環境・建築研究所・岡田新一設計事務所・佐藤武夫設計事務所・日建設計 建設工事監理共同企業体
施工	———	[建築] 大成建設・フジタ工業・不動建設・熊谷組・間組 建築工事共同企業体 [電気] 四国電気工事・近畿電気工事 電気工事共同企業体 [空調] 東洋熱工業・三機工業・ナミレイ 空調工事共同企業体 [管] 朝日工業社・大成設備 管工事共同企業体 [エレベーター] (株)東芝 [家具] 富士ファニチア(株)
敷地	———	40.6ha(公園全体面積)
構造・規模	———	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階 地下1階建
延床面積	———	6,518㎡(3館合計 積層含む- 23,814㎡、積層含まず-22,382㎡)
建築面積	———	8,363㎡(3館合計)

### 設備概要

電力設備	———	受変電、自家発電、直流電源設備(蓄電池)、電灯・コンセント、避雷針
通信・情報設備	——	電話、情報(AV、スタジオ、液晶表示、他)、テレビ共聴、表示、インターホン、拡声、時計、視聴覚
防災・防犯設備	——	自動火災報知、防火戸閉鎖、ガスモレ警報、漏水警報、防犯、ITV、排煙、非常用照明、誘導灯、消火設備(屋内消火栓、スプリンクラー、ハロン化物消火、他)
空気調和設備	——	熱源機器設備(電気式ヒートポンプ、ボイラー) 空気調和設備(収蔵庫4系統、展示室3系統、一般3系統)
給排水衛生設備	——	給水設備(市水系統、雑給水系統)、排水設備(合併処理槽)、給湯、カスケード、薫蒸、中和槽装置、特殊ガス、焼却炉
監視制御設備	——	中央監視設備(監視制御点数-全館2,000点、美術館500点)
昇降機設備	———	エレベーター(乗用:750kg×1台、450kg×2台*、身体障害者用:750kg×1台、荷物用:3,000kg×2台*) *美術館用は各1台

## 仕様一覧

室名	面積 (㎡)	天井 (天井高)	壁	床	その他
展示室1	690	着色岩綿吸音板 (5m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
展示室2	204	着色岩綿吸音板 (4m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
展示室3	947	着色岩綿吸音板 (5m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
屋外展示場	1001			タイル張り	
美術館講座室	98	岩綿吸音板 (3m)	クロス貼	タイルカーペット	スクリーン、ホワイトボード、 AV設備等
アトリエ1	97	岩綿吸音板 (3m)	有孔珪酸 カルシウム板 吸音壁	ビニールシート、 アスファルト防水	流し台、地流し 収納棚等
アトリエ2	93	岩綿吸音板 (3m)	RC型	ナラフローリング ブロック	流し台、地流し 収納棚等
子供のアトリエ	57	岩綿吸音板 (3m)	RC型	タイルカーペット フリーアクセスフロアー	床暖房設備、収納棚等
レファレンスルーム	197	岩綿吸音板 (2.7m)	クロス貼	タイルカーペット・フォーム バック付防振上げ床	書架 ローパーテーション等
ギャラリー	227	着色岩綿吸音板 (4m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル
エントランスホール	243	岩綿吸音板 (4.5m)	RC型	大理石貼	
収蔵庫1	391	杉 (4.5m)	杉 落し込み	杉	絵画ラック、木製棚
収蔵庫2	182	杉 (4.5m)	杉 落し込み	杉	木製棚
一時保管庫	71	杉 (4m)	杉 落し込み	ナラフローリング	絵画ラック

# 11

## 利用案内

開館時間 ————— 9:30-17:00

休館日 ————— 毎週月曜日 ただし月曜日あるいはそれに続く日が、祝日または振替休日にあたるときはその翌日。

阿波踊り期間中の月曜日は開館します。

年末年始[12月29日-1月4日]

*このほか、展示替など必要に応じて休館することがあります。

観覧料 ————— ●常設展(所蔵作品展)

一般200円[160円]

高校生・大学生及びこれらに準ずる者100円[80円]

小学生・中学生50円[40円]

[ ]内は団体[20人以上]の場合。

*65歳以上の方で証明できるものをご提示いただいた方、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示いただいた方とその介助をされる方1名、未就学児は、それぞれ無料になります。

*大学生・一般は、祝日および振替休日の観覧料が無料になります。

*小・中・高生は土・日・祝日・振替休日および長期休暇中の観覧料が無料になります。

### ●特別展

知事がその都度定める額

交通のご案内 ————— ●JR徳島駅から

徳島市営バス「文化の森」行き直通バスにて 「文化の森」下車(約20分)

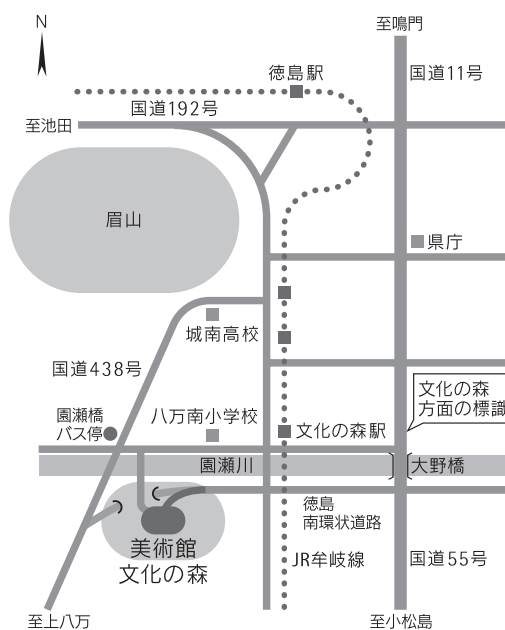
徳島市営バス・徳島バスにて 「園瀬橋」で下車(約20分)+徒歩(10分)

●JR牟岐線文化の森駅から

徒歩(約35分)

*文化の森駅からバスやタクシーの便はありません。

*上八万、一宮方面からは南環状道路経由で「文化の森」にお越しになれません。



徳島県立近代美術館年報  
令和5年度(2023年度)

発行  
令和6年10月18日

編集  
徳島県立近代美術館  
770-8070 徳島市八万町向寺山  
文化の森総合公園  
tel : 088-668-1088  
fax : 088-668-7198  
e-mail : art@bunmori.tokushima.jp

印刷  
グランド印刷株式会社

この印刷物は再生紙を  
使用しています。